



Dell 3330dn レーザープリンタ

ユーザーズガイド

目次

安全に関する情報	9
本機について	11
プリンタの情報とその入手先.....	11
プリンタの構成.....	12
プリンタ操作パネルについて.....	14
標準排紙トレイと用紙ストッパーを使用する.....	17
プリンタの追加セットアップ	19
プリンタの設置場所を選ぶ.....	19
内蔵オプションを取り付ける.....	20
使用可能な内蔵オプション.....	20
システムボードにアクセスして内蔵オプションを取り付ける.....	20
メモリカードを取り付ける.....	21
フラッシュメモリカードまたはファームウェアカードを取り付ける.....	23
ハードウェアオプションを取り付ける.....	25
オプションのドロワーを取り付ける.....	25
ケーブルを接続する.....	26
有線ネットワークにプリンタをインストールする.....	27
プリンタソフトウェアをインストールする.....	29
プリンタのセットアップを確認する.....	30
メニュー設定ページを印刷する.....	30
ネットワーク設定ページを印刷する.....	30
用紙および専用紙をセットする	32
用紙サイズと用紙のタイプを設定する.....	32
ユニバーサル用紙の設定を指定する.....	32
用紙をカセットにセットする.....	33
多目的フィーダを使用する.....	38
カセットをリンクする/カセットのリンクを解除する.....	42
カセットをリンクする.....	42
カセットのリンクを解除する.....	42
ユーザ定義タイプ<x>名を割り当てる.....	43
ユーザ定義タイプ<x>名を変更する.....	43
用紙および専用紙について	45
用紙に関するガイドライン.....	45

用紙特性.....	45
使用できない用紙.....	46
用紙を選択する.....	46
プレプリントフォームとレターヘッド紙を選択する.....	46
再生紙およびその他の事務用紙の使用.....	47
用紙の保管.....	47
対応している用紙のサイズ、タイプ、重さ、容量.....	48
プリンタでサポートされている用紙サイズ.....	48
プリンタでサポートされている用紙のタイプと重さ.....	49
用紙の容量.....	50
ソフトウェア概要.....	51
状況監視センター.....	51
ドライバプロファイラ.....	51
デルプリンタ警告ユーティリティ.....	51
オプションの XPS ドライバをインストールする.....	52
Dell Toner Management System.....	53
印刷ステータスウィンドウ.....	53
デルプリンタ消耗品再注文アプリケーション.....	53
印刷.....	54
ドキュメントを印刷する.....	54
専用紙に印刷する.....	55
レターヘッド紙を使用する際のヒント.....	55
OHP フィルムを使用する際のヒント.....	56
封筒を使用する上でのヒント.....	56
ラベルを使用する上でのヒント.....	57
グリーティングカード使用のヒント.....	58
コンフィデンシャルジョブおよびその他の保持ジョブを印刷する.....	58
プリンタにジョブを保持する.....	58
コンフィデンシャルジョブおよびその他の保持ジョブを印刷する.....	59
情報ページを印刷する.....	60
フォントのサンプルリストを印刷する.....	60
ディレクトリリストを印刷する.....	61
印刷品質テストページを印刷する.....	61
印刷ジョブを取り消す.....	61
プリンタの操作パネルから印刷ジョブをキャンセルする.....	61
コンピュータから印刷ジョブをキャンセルする.....	61
紙づまりを除去する.....	63
紙づまりを防ぐ.....	63

紙づまり箇所にアクセスする.....	64
200 紙づまり.....	65
201 紙づまり.....	66
202 紙づまり.....	67
231 紙づまり.....	69
233 紙づまり.....	70
234 紙づまり.....	70
235 紙づまり.....	71
242 紙づまり.....	71
251 紙づまり.....	72

プリンタのメニューについて.....74

メニュー一覧.....	74
[用紙]メニュー.....	75
[標準設定給紙源]メニュー.....	75
[用紙サイズ/タイプ]メニュー.....	75
[多目的フィーダ設定]メニュー.....	78
[代替サイズ]メニュー.....	79
[用紙表面粗さ]メニュー.....	79
[用紙重さ(厚さ)]メニュー.....	80
[用紙セット方法]メニュー.....	82
[ユーザ定義タイプ]メニュー.....	83
[ユニバーサルサイズ設定]メニュー.....	83
[レポート]メニュー.....	84
「レポート」メニュー.....	84
[ネットワーク/ポート]メニュー.....	85
[アクティブ NIC]メニュー.....	85
[標準ネットワーク]または[ネットワーク< x >]メニュー.....	85
[レポート]メニュー([ネットワーク/ポート]メニュー内).....	87
[ネットワークカード]メニュー.....	87
[TCP/IP]メニュー.....	88
[IPv6]メニュー.....	89
[AppleTalk]メニュー.....	89
[NetWare]メニュー.....	90
USB メニュー.....	91
[パラレル]メニュー.....	92
[SMTP 設定]メニュー.....	94
[セキュリティ]メニュー.....	96
その他のメニュー.....	96
[コンフィデンシャル印刷]メニュー.....	96
[セキュリティ監査ログ]メニュー.....	97

[日時設定]メニュー.....	98
[設定]メニュー.....	99
[一般設定]メニュー.....	99
[セットアップ]メニュー.....	102
[仕上げ]メニュー.....	103
[印刷品質]メニュー.....	104
[ユーティリティ]メニュー.....	105
[XPS]メニュー.....	106
[PDF]メニュー.....	106
[PostScript]メニュー.....	107
[PCL]メニュー.....	107
[HTML]メニュー.....	110
[イメージ]メニュー.....	111
プリンタのメッセージについて.....	112
状況メッセージとエラーメッセージの一覧.....	112
プリンタのメンテナンス.....	126
プリンタの表面を清掃する.....	126
消耗品の保管.....	126
消耗品を節約する.....	127
ネットワーク上のコンピュータから消耗品の状況を確認する.....	127
消耗品を注文する.....	127
ネットワークに接続されたプリンタ.....	127
コンピュータにローカル接続されたプリンタ.....	128
消耗品を交換する.....	128
トナーカートリッジを交換する.....	128
感光体キットを交換する.....	130
プリンタを移動する.....	133
プリンタを別の場所に移動する.....	133
管理サポート.....	134
内蔵 Web サーバを使用する.....	134
仮想ディスプレイを確認する.....	134
デバイス状況をチェックする.....	134
レポートの表示.....	134
消耗品通知を設定する.....	135
コンフィデンシャル印刷の設定を変更する.....	135
電力節約を調整する.....	135
E メール警告を設定する.....	136

出荷時標準設定を復元する.....	137
-------------------	-----

トラブルシューティング.....138

プリンタで発生する基本的な問題を解決する.....	138
プリンタ操作パネルの画面に何も表示されないか、ひし形の記号のみが表示される.....	138
印刷の問題を解決する.....	138
ジョブが印刷できない.....	138
コンフィデンシャルジョブまたはその他の保持ジョブが印刷できない.....	139
複数言語の PDF が印刷されない.....	139
ジョブの印刷に予想以上の時間がかかる.....	140
ジョブが誤ったカセットまたは用紙に印刷される.....	140
印刷される文字が正しくない.....	140
カセットがリンクしない.....	140
大きなジョブで丁合ができない.....	141
予期せずに印刷が中断する.....	141
印刷時に封筒の封がされる.....	141
オプションの問題を解決する.....	141
オプションが正しく動作しないか、取り付け後に停止する.....	141
ドロワー.....	142
フラッシュメモリカード.....	142
メモリカード.....	142
給紙の問題を解決する.....	143
紙づまりが頻繁に発生する.....	143
紙詰りを除去した後も紙詰りのメッセージが表示されている.....	143
紙づまりを除去した後で紙づまりが発生したページが再印刷されない.....	143
印刷品質の問題を解決する.....	144
印刷品質に関する問題を特定する.....	144
空白のページが出力される.....	145
文字の端がぎざぎざしている.....	145
イメージがクリッピングされる.....	145
背景が薄いグレーになる.....	146
ゴースト.....	146
余白が正しくない.....	147
用紙のカール.....	147
印刷が濃すぎる.....	148
印刷が薄すぎる.....	149
印刷が傾く.....	150
ページ上にトナーフォグ(背景のシェーディング)が出る.....	150
トナーが剥がれ落ちる.....	150
トナーの汚れ.....	151
OHP フィルムの印刷品質が悪い.....	151
横方向のすじ.....	151
縦方向のすじ.....	152

OHP フィルムや用紙で、黒または白のすじが入る	153
内蔵 Web サーバが開かない.....	153
ネットワークの接続を確認します	153
ネットワーク設定を確認します	153
付録.....	154
索引.....	156

安全に関する情報

電源コードは、製品に近く、抜き差しが容易な、正しくアースされた電源コンセントに接続してください。

⚠ 危険！感電の恐れあり：雷のときは、AC アダプタ、USB ケーブル、電話線の接続など、本製品のセットアップを一切行わないでください。

取扱説明書に記載されていないサービスまたは修理については、専門のサービス担当者にお問い合わせください。

本機は、特定のメーカーのコンポーネントとともに使用した場合に、安全性に関する厳しい世界標準を満たすように設計されています。一部の部品の安全性に関する機能は開示されていない場合があります。メーカーは、他の交換部品の使用については責任を負わないものとします。

⚠ 危険！感電の恐れあり：Ethernet および電話線の接続など、すべての外部接続が表示どおりのポートに正しく行われていることを確認してください。

⚠ 危険！ケガの恐れあり：本製品はレーザーを使用しています。ここに記載されている手順以外の制御、調整などを行うと、有害な放射にさらされる恐れがあります。

本製品は印刷処理において印刷用紙を加熱するため、この熱が原因で用紙から有害ガスが発生する可能性があります。操作説明書に記載されている、用紙選択についてのセクションをよく読み、有害ガスが放出されないようにしてください。

⚠ 危険！表面は高温です：フューザとプリンタ内部でフューザに近い部分は高温になっている場合があります。高温になったコンポーネントで火傷などを負わないように、表面が冷えてからここにある用紙を取り除いてください。

⚠ 危険！ケガの恐れあり：持ち上げるときには、プリンタの両側にある持ち手を使用してください。また、プリンタを下ろすときは指がプリンタの下に挟まれないように注意してください。

⚠ 危険！ケガの恐れあり：電源コードを結んだり、束ねたり、傷を付けたりしないでください。また、コードの上に重いものを置いたりしないでください。電源コードがこすれたり、引っ張られたりする状態で使用しないでください。電源コードを家具や壁などの間に挟まないでください。電源コードの使用方法を誤ると、火災や感電の原因になる恐れがあります。電源コードが正しく使用されているかどうか、定期的に確認してください。確認の前には、電源コードをコンセントから抜いてください。

⚠ 危険！感電の恐れあり：プリンタの設定後にオプションのドロワーを取り付ける場合は、以下の手順を実行する前に、プリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

⚠ 危険！感電の恐れあり：プリンタを設定した後に、システムボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを取り付けたりする場合は、プリンタの電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてから、以下の手順を実施してください。プリンタに他のデバイスを接続している場合は、それらのデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているコードを抜いてください。

⚠ 危険！感電の恐れあり：プリンタの外側を掃除する場合に感電の危険を避けるため、掃除を始める前に電源コードをコンセントから抜き、プリンタのすべてのケーブルを外します。

リチウム電池の交換は慎重に行ってください。

⚠ 危険！ケガの恐れあり：リチウム電池の交換を誤ると破裂する危険性があります。同型または同種のリチウム電池とのみ交換してください。リチウム電池の充電、解体、焼却はしないでください。使用済みの電池を廃棄する際は、製造元の指示およびお使いの地域の法律に従ってください。

⚠ 危険！ケガの恐れあり：人体への傷害やプリンタの損傷を避けるために、プリンタを移動する前に次のガイドラインに従ってください。

- プリンタの電源を切り、コンセントから電源コードを抜きます。
- プリンタを移動する前に、プリンタからコードやケーブル類をすべて取り外します。

- プリンタとオプションカセットを一緒に持ち上げようとせず、オプションカセットをプリンタから取り外し、脇に置きます。

メモ: オプションカセットを取り外すには、プリンタの両側面にある持ち手を使用します。

本機について

プリンタの情報とその入手先

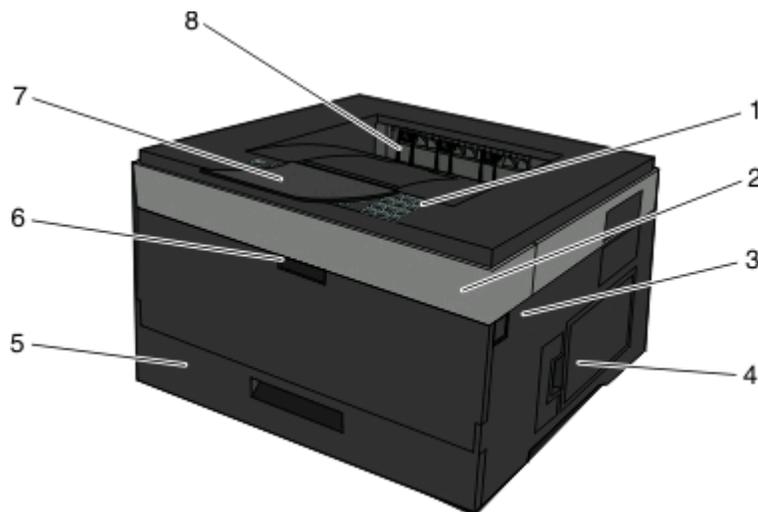
必要な情報	入手先
初期セットアップの手順: <ul style="list-style-type: none">プリンタの接続プリンタソフトウェアのインストール	セットアップマニュアル - セットアップマニュアルはプリンタに付属しています。
追加のセットアップとプリンタの使用手順 <ul style="list-style-type: none">用紙および専用紙の選択と保管用紙のセットプリンタ機種に応じた印刷、コピー、スキャン、FAX作業プリンタ設定の構成原稿や写真の表示と印刷プリンタソフトウェアのセットアップと使用ネットワークに接続されたプリンタのセットアップと設定(対応機種の場合)プリンタのお手入れとメンテナンス問題のトラブルシューティングと解決	ユーザーズガイド - 『ユーザーズガイド』は、『ソフトウェアおよびマニュアル CD』に収録されています。 最新版については、Web サイト(support.dell.com)で確認してください。
プリンタソフトウェアのヘルプ	Windows または Mac のヘルプ - プリンタソフトウェアのプログラムまたはアプリケーションを開いて、[ヘルプ]をクリックします。 状況に即した情報を表示するには、  をクリックします。 メモ: <ul style="list-style-type: none">ヘルプは、プリンタソフトウェアとともに自動的にインストールされます。プリンタソフトウェアのある場所は、お使いのオペレーティングシステムによって、プリンタのプログラムフォルダまたはデスクトップのどちらかになります。
最新の補足情報、更新、および技術サポートは以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">マニュアルドライバのダウンロード製品のアップグレード修理サービスへの連絡と修理情報オーダーステータスライブチャットによるサポートEメールによるサポート電話によるサポート	Dell のサポート用 Web サイト - support.dell.com メモ: 該当する地域と製品を選択すると、適切なサポートサイトが表示されます。 お住まいの地域または国にあるサポート窓口の電話番号と受付時間は、サポート用 Web サイトに記載されています。 より迅速なサポートの提供のため、お問い合わせになる際には、あらかじめ以下の情報を用意してください。 <ul style="list-style-type: none">サービスタグエクスプレスサービスコード メモ: サービスタグとエクスプレスサービスコードは、プリンタに貼付されたラベルに記載されています。

必要な情報	入手先
<ul style="list-style-type: none"> ソフトウェアとドライバー – 正規のプリンタドライバと、デルプリンタのソフトウェアのインストーラ Readme ファイル – 技術上の最終的な変更点、上級ユーザまたは技術者向けの詳細な技術資料 	ソフトウェアおよび説明書類 CD メモ: デル製のコンピュータとプリンタを同時にご購入いただいた場合には、マニュアルおよびドライバはコンピュータにインストールされています。
<ul style="list-style-type: none"> プリンタの消耗品およびアクセサリ 交換用カートリッジ 	デルのプリンタ消耗品用 Web サイト – dell.com/supplies プリンタの消耗品は、オンライン、電話、または一部の販売店で購入できます。
<ul style="list-style-type: none"> プリンタを準備する際の安全に関する情報 規制に関する情報 保証に関する情報 	製品情報ガイド  メモ: 『製品情報ガイド』は、お住まいの国または地域によっては入手できない場合があります。

プリンタの構成

基本機種

以下の図は、プリンタ前面の基本的な機能や各部の名称を示しています。

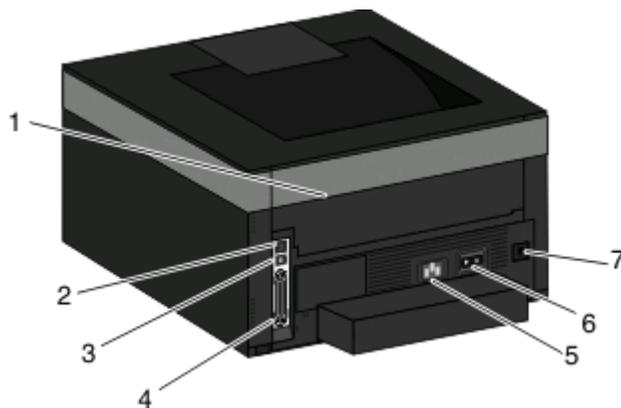


1	プリンタ操作パネル
2	前面ドア
3	前面ドアリリースボタン
4	システムボードドア

本機について

5	標準の 250 枚カセット(カセット 1)
6	多目的フィーダドア
7	用紙ストッパー
8	標準排紙トレイ

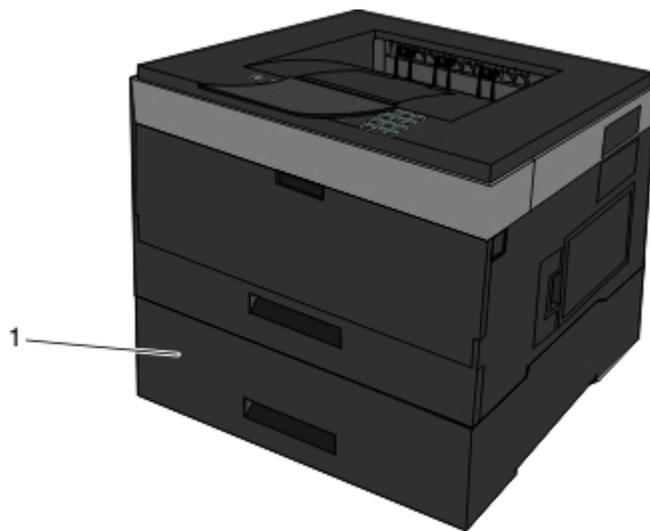
以下の図は、プリンタ背面の基本的な機能や各部の名称を示しています。



1	背面ドア
2	Ethernet ポート
3	USB ポート
4	パラレルポート
5	電源コードソケット
6	電源スイッチ
7	ロックデバイス

構成済み機種

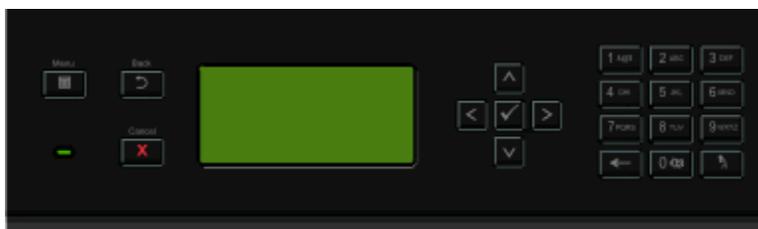
以下の図は、オプションのドロワーを取り付けたプリンタを示しています。



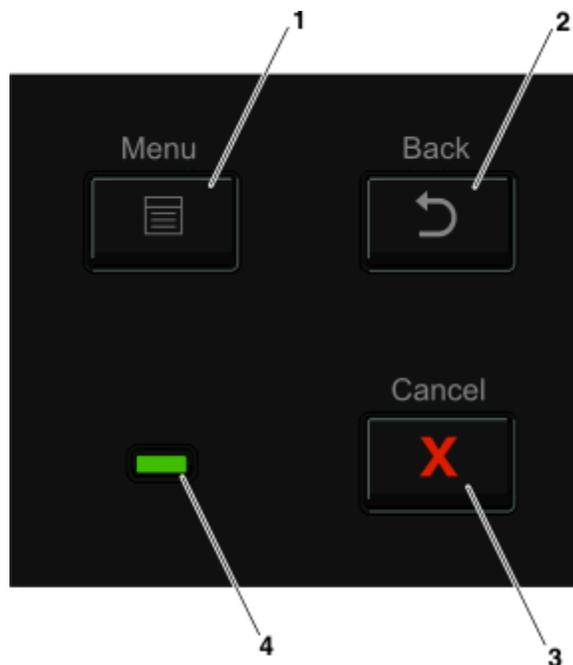
1 オプションカセット(カセット 2)

プリンタ操作パネルについて

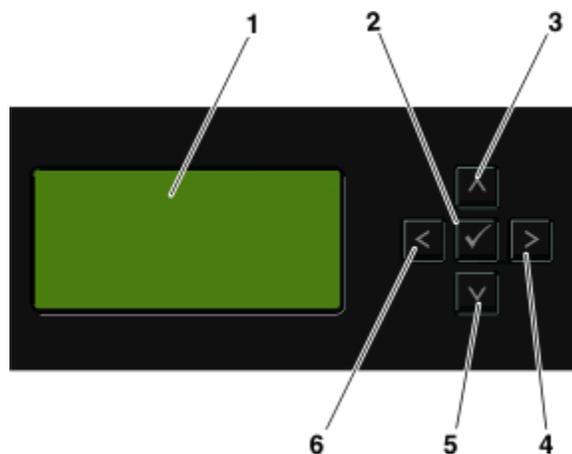
以下の図は、プリンタ操作パネルを示しています。



以下の図と表は、プリンタ操作パネルの各部についての詳細です。



項目	説明
1 [メニュー]ボタン (📄)	メニューを開きます。 メモ: これらのメニューは、プリンタが「準備完了」状態のときにのみ使用できます。
2 [戻る]ボタン (↶)	前の画面に戻ります。
3 [キャンセル]ボタン (❌)	プリンタの動作をすべて停止します。 印刷時に❌を押すと、「停止中」メッセージが短かく表示されます。その後、「停止中」画面が、選択可能な設定と共に表示されます。
4 インジケータライト	プリンタの状態を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 消灯 - 電源が切れています。 • 緑に点滅 - プリンタが準備中、データ処理中、印刷中です。 • 緑に点灯 - プリンタの電源は入っていますが、待機中です。 • 赤に点灯 - ユーザーの操作が必要です。



項目		説明
1	ディスプレイ	プリンタの状態や、プリンタで発生している解決すべき問題を示したメッセージが表示されます。また、[表示]画面を表示して、紙づまりの除去方法などの説明を図で確認することができます。
2	[設定]ボタン(☑)	<ul style="list-style-type: none"> メニューを開き、メニューの最初の項目(メニュー項目)を表示します。 メニュー項目を開き、使用可能な値や設定を表示します。現在適用されている標準設定には、アスタリスク(*)が付いています。 表示されたメニュー項目を新しいユーザ標準設定として保存します。 <p>メモ: ユーザ標準設定として保存した新しい値は、別の値を保存するか、出荷時標準設定を復元するまで有効です。ソフトウェアプログラムで選択した設定は、プリンタ操作パネルで選択したユーザ標準設定よりも優先されます。</p>
3、4、5、6	ナビゲーションボタン	<p>上矢印ボタンまたは下矢印ボタンを押して、メニュー、メニュー項目、設定(値やオプション)をスクロールしたり、画面とメニューオプションをスクロールしたりできます。</p> <p>メモ: 上矢印ボタンまたは下矢印ボタンを押すたびに、一覧の項目を1ずつ移動できます。</p> <p>右矢印ボタンまたは左矢印ボタンを押すと、値を増減したり、別の画面にまたがるテキストをスクロールして表示することができます。</p>



項目	説明
1	キーパッド 画面に入力フィールドがある場合に、数字や記号を入力します。

標準排紙トレイと用紙ストッパーを使用する

標準排紙トレイは、150枚までの用紙(約9kg)を保持することができます。印刷ジョブは印刷面が下を向くように排紙されます。標準排紙トレイには、たまった用紙がトレイの前方から滑り落ちるのを防ぐために用紙ストッパーが付いています。用紙ストッパーは、用紙をきちんと積み重ねるのにも役立ちます。

用紙ストッパーを開くには、用紙ストッパーを引いて前に出します。



メモ:

- OHP フィルムに印刷する場合は、用紙ストッパーを開いた状態で印刷しないでください。用紙支えを斜めにするとう、OHP フィルムが折れる可能性があります。
- プリンタを別の場所に移動する場合は、用紙ストッパーを必ず閉じてください。

プリンタの追加セットアップ

プリンタですべての追加セットアップが完了したら、メニュー設定ページを印刷してすべてのプリンタオプションが正しく取り付けられていることを確認してください(⇒「30 ページの「メニュー設定ページを印刷する」」)。正しく取り付けられている場合は、オプション名がこのページに表示されます。まだ設定を変更していないため、ページには出荷時標準設定が示されます。メニューで他の設定を選択して保存した後で、このページを印刷すると、ユーザー標準設定が示されます。

ユーザーが値を選択し、新しい設定として保存した設定はユーザー標準設定と言います。

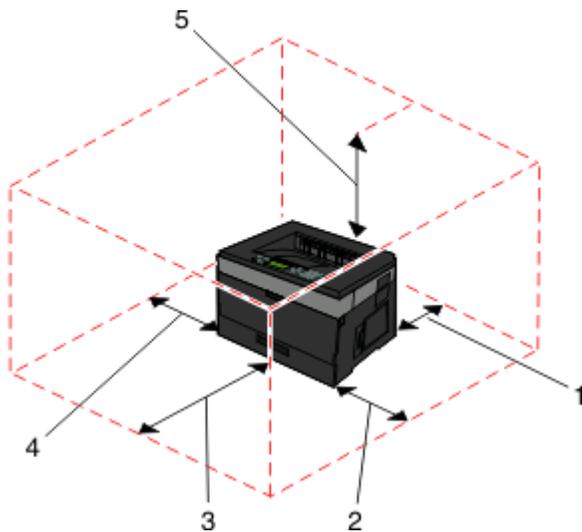
ユーザ標準設定は、メニューに再度アクセスして別の値を選択し、保存するまでは有効です。画面には出荷時標準設定の横にアスタリスク(*)が表示されますが、ユーザー標準設定が有効になるとユーザー標準設定の横にアスタリスクが表示されるようになります。

出荷時標準設定は復元することができます(⇒「137 ページの「出荷時標準設定を復元する」」)。

プリンタの設置場所を選ぶ

プリンタの設置場所を選ぶときは、カセット、カバー、ドアを開くための十分なスペースを確保します。オプションを取り付ける予定がある場合は、それらの分のスペースも確保します。以下の点が重要です。

- 室内の空気の流れが最新改訂版の ASHRAE 62 基準を満たしていることを確認します。
- 設置面が平らかつ丈夫で、安定していることを確認します。
- プリンタを以下の状態に保ちます。
 - エアコン、ヒーター、換気装置の風が直接当たらないようにする
 - 直射日光、極度の湿気、激しい気温の変動を避ける
 - 清潔で乾燥した、ほこりのない状態にする
- 適切な通気を保つために、プリンタの周囲に以下のスペースを確保することをお勧めします。



1	背面	300 mm(12.0 インチ)
2	前面	300 mm(12.0 インチ)
3	右側	200 mm(8.0 インチ)

4	左側	12.7 mm (0.5 インチ)
5	上部	300 mm (12.0 インチ)

内蔵オプションを取り付ける

⚠ 危険！感電の恐れあり： プリンタを設定した後に、システムボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを取り付けたりする場合は、プリンタの電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてから、以下の手順を実施してください。プリンタに他のデバイスを接続している場合は、それらのデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているコードを抜いてください。

オプションカードを追加して、プリンタ接続およびメモリ容量をカスタマイズできます。このセクションでは、使用可能なカードの取り付け方法について説明します。この説明を参考にして、取り外すオプションを見つけることもできます。

使用可能な内蔵オプション

メモリカード

- プリンタメモリ
- フラッシュメモリ
- フォント

ファームウェアカード

- バーコード
- フォームカード
- PrintCryption™

システムボードにアクセスして内蔵オプションを取り付ける

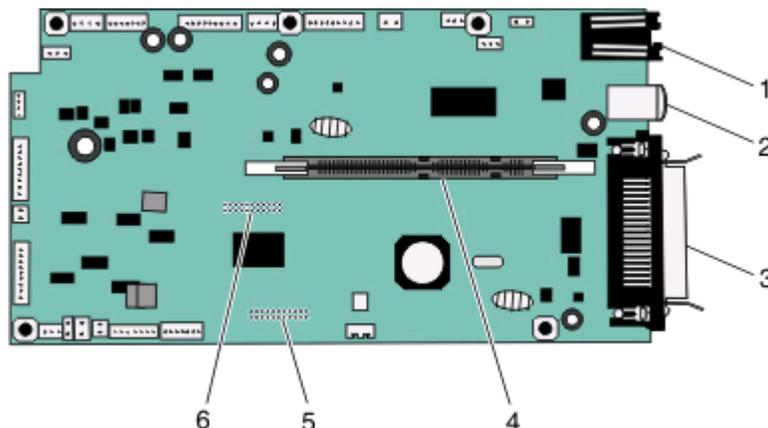
⚠ 危険！感電の恐れあり： プリンタを設定した後に、システムボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを取り付けたりする場合は、プリンタの電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてから、以下の手順を実施してください。プリンタに他のデバイスを接続している場合は、それらのデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているコードを抜いてください。

- 1 プリンタの正面から見て右側にシステムボードドアがあります。システムボードドアを開きます。



2 以下の図を参照し、コネクタの正しい位置を確認します。

警告！ 破損の恐れあり：システムボードの電子部品は静電気によって損傷するおそれがあります。システムボードの電子部品またはコネクタに触れる前に、プリンタの金属部分に触れてください。



1	Ethernet コネクタ メモ： Ethernet ポートはネットワーク対応機種にのみ搭載されています。
2	USB ポート
3	パラレルコネクタ
4	メモリカードコネクタ
5	オプションのカードコネクタ
6	オプションのカードコネクタ

メモリカードを取り付ける

⚠ 危険！ 感電の恐れあり：プリンタを設定した後に、システムボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを取り付けたりする場合は、プリンタの電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてから、以下の手順を実施してください。プリンタにその他のデバイスを接続している場合は、それらのデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているコードを抜いてください。

警告！ 破損の恐れあり：システムボードの電子部品は静電気によって損傷するおそれがあります。システムボードの電子部品またはコネクタに触れる前に、プリンタの金属部分に触れてください。

オプションのメモ리카ードを別途購入して、システムボードに取り付けることができます。メモ리카ードを取り付けるには、次の手順に従います。

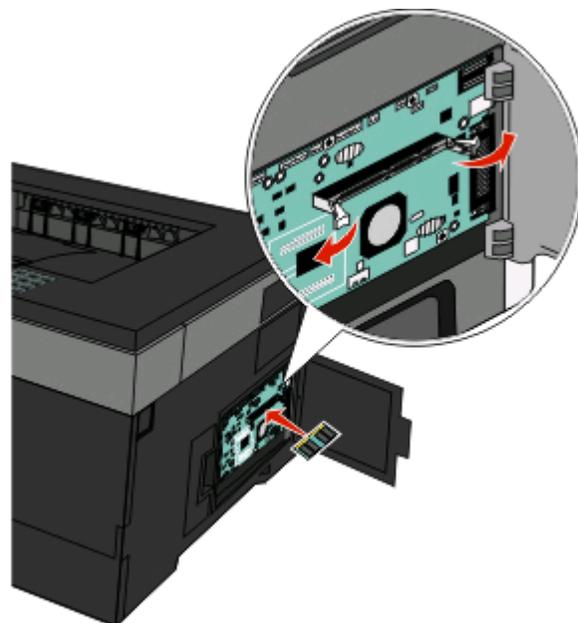
1 システムボードにアクセスします



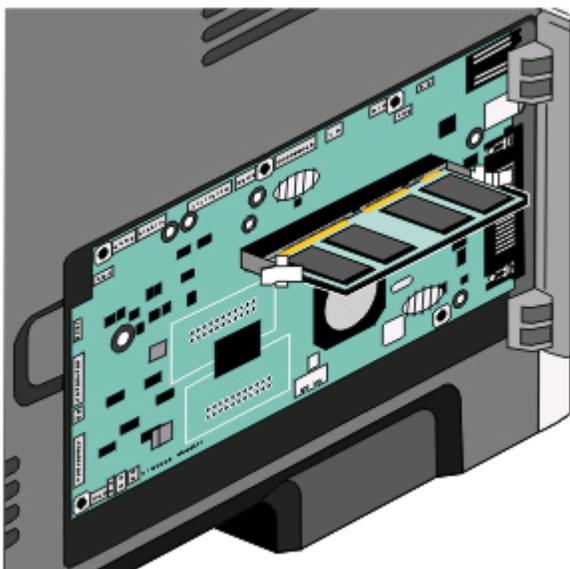
2 メモ리카ードを梱包から取り出します。

メモ: カードの端にある接点には触れないでください。

3 メモ리카ードをシステムボードのコネクタに合わせます。コネクタのラッチが開いていない場合は、ラッチを開きます。



4 ラッチが所定の位置にはまるまで、メモリカードをコネクタに押し込みます。



5 システムボードのドアを閉じます。

フラッシュメモリカードまたはファームウェアカードを取り付ける

システムボードには、オプションのフラッシュメモリカードまたはファームウェアカード用のコネクタが2つあります。どちらか一方のみ取り付けることができますが、コネクタは互換性があります。

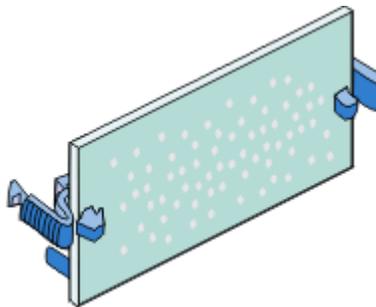
⚠ 危険！感電の恐れあり： プリンタを設定した後に、システムボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを取り付けたりする場合は、プリンタの電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてから、以下の手順を実施してください。プリンタに他のデバイスを接続している場合は、それらのデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているコードを抜いてください。

警告！破損の恐れあり： システムボードの電子部品は静電気によって損傷するおそれがあります。システムボードの電子部品またはコネクタに触れる前に、プリンタの金属部分に触れてください。

1 システムボードドアを開きます。



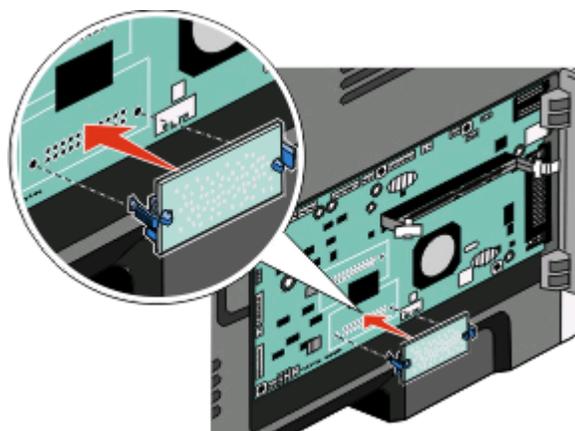
2 カードを梱包から取り出します。



メモ: カードの端にある接点には触れないでください。

3 カードの側面を持ち、カードをシステムボードのコネクタに合わせます。

4 カードを所定の位置にしっかりと押し入れます。



メモ:

- カードのコネクタ全体がシステムボードに触れ、水平になっている必要があります。
- コネクタを損傷しないように注意してください。

5 システムボードのドアを閉じます。

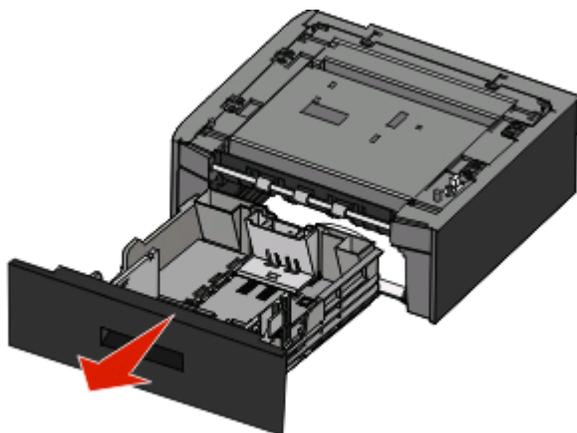
ハードウェアオプションを取り付ける

オプションのドロワーを取り付ける

このプリンタでは、オプションのドロワーをサポートしています。一度に1つのドロワーのみをプリンタに取り付けることができます。

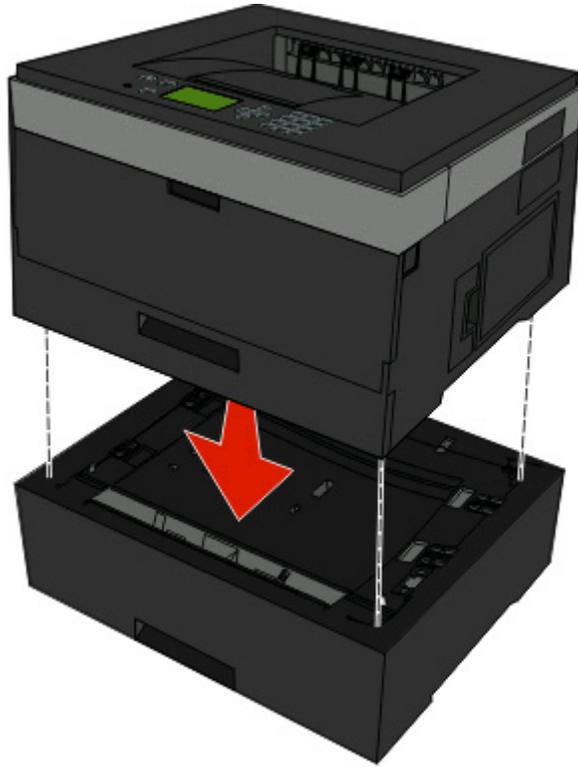
⚠ 危険！感電の恐れあり： プリンタの設定後にオプションのドロワーを取り付ける場合は、以下の手順を実行する前に、プリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

- 1 ドロワーを箱から出し、ドロワーを覆っている梱包材をすべて取り除きます。
- 2 サポートユニットからカセットを取り外します。



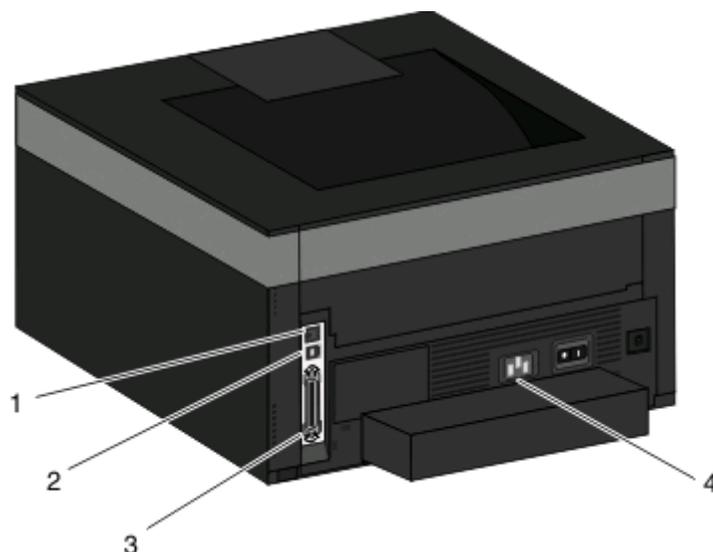
- 3 カセットの中から梱包材やテープをすべて取り除きます。
- 4 カセットをサポートユニットに挿入します。
- 5 プリンタを設置する場所にこのドロワーを置きます。

6 プリンタをドロワーに合わせ、プリンタを所定の位置まで下げます。



ケーブルを接続する

- 1 プリンタをコンピュータまたはネットワークに接続します。
 - ローカル接続の場合は、USB またはパラレルケーブルを使用します。
 - ネットワーク接続の場合は、Ethernet ケーブルを使用します。
- 2 電源コードをプリンタに接続してからコンセントに差し込みます。



1	Ethernet ポート
2	USB ポート
3	パラレルポート
4	電源コードソケット

有線ネットワークにプリンタをインストールする

以下の手順に従って、有線ネットワークにプリンタをインストールします。この手順は、Ethernet ネットワーク接続および光ファイバネットワーク接続に適用します。

有線ネットワークにプリンタをインストールする前に、以下のことを確認してください。

- プリンタの初期設定が完了している。
- プリンタが適切な種類のケーブルでネットワークに接続されている。

Windows ユーザの場合

1 ソフトウェアおよび説明書類 CD を挿入します。

[ようこそ]画面が表示されるまで待ちます。

少し間を置いて CD が起動しない場合は、次の手順に従います。

a をクリックするか、[スタート]をクリックして[ファイル名を指定して実行]をクリックします。

b [検索開始]ボックスまたは[実行]ボックスに「D:\setup.exe (D は CD または DVD ドライブ文字)」と入力します。

2 [プリンタおよびソフトウェアをインストール]をクリックします。

3 [同意する]をクリックして使用許諾契約に同意します。

4 [推奨]を選択してから、[次へ]をクリックします。

メモ: 固定 IP アドレス、IPv6、またはスクリプトを使ってプリンタを設定するには、[カスタム]をクリックし、画面に表示される指示に従います。

- 5 **[有線ネットワーク接続]** を選択してから、**[次へ]** をクリックします。
- 6 一覧でプリンタメーカーを選択します。
- 7 一覧からプリンタ機種を選択し、**[次へ]** をクリックします。
- 8 ネットワーク上に検出されたプリンタの一覧からプリンタを選択し、**[完了]** をクリックします。
メモ: 検出されたプリンタの一覧に、設定したプリンタが表示されない場合は、**[ポートを追加]** をクリックして表示される手順に従います。
- 9 画面に表示される指示に従い、インストールを完了します。

Macintosh ユーザの場合:

- 1 ネットワークの DHCP サーバがプリンタに IP アドレスを割り当てられるようにします。
- 2 プリンタでネットワーク設定ページを印刷する ネットワーク設定ページの印刷の詳細については、30 ページの「ネットワーク設定ページを印刷する」を参照してください。
- 3 ネットワーク設定ページの **[TCP/IP]** セクションでプリンタの IP アドレスを探します。プリンタとは異なるサブネット上にあるコンピュータ用にアクセスを設定している場合は、IP アドレスが必要になります。
- 4 ドライバをインストールしてプリンタを追加します。
 - a 以下の手順に従って、コンピュータに PPD ファイルをインストールします。
 - 1 CD または DVD ドライブにソフトウェアおよび説明書類 CD を挿入します。
 - 2 プリンタのインストーラパッケージをダブルクリックします。
 - 3 [ようこそ] 画面で **[続行]** をクリックします。
 - 4 Readme ファイルを読んでから、**[続行]** をクリックします。
 - 5 使用許諾契約を確認してから **[続ける]** をクリックし、契約条件に同意したら **[同意します]** をクリックします。
 - 6 インストール先を選択し、**[続行]** をクリックします。
 - 7 簡易インストール画面で **[インストール]** をクリックします。
 - 8 ユーザパスワードを入力し、**[OK]** をクリックします。
必要なファイルがコンピュータにすべてインストールされます。
 - 9 インストールが終了したら、**[再起動]** をクリックします。
 - b 以下の手順でプリンタを追加します。
 - IP 印刷用

Mac OS X バージョン 10.5 以降の場合

- 1 アップルメニューから、**[システム環境設定]** を選択します。
- 2 **[プリントとファックス]** をクリックします。
- 3 **[+]** をクリックします。
- 4 **[IP]** をクリックします。
- 5 **[アドレス]** フィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。
- 6 **[追加]** をクリックします。

Mac OS X 10.4 以前の場合

- 1 Finder のデスクトップから **[実行] > [アプリケーション]** の順に選択します。
- 2 **[ユーティリティ]** をダブルクリックします。
- 3 **[プリンタ設定ユーティリティ]** または **[プリントセンター]** をダブルクリックします。
- 4 **[プリンタリスト]** から、**[追加]** をクリックします。

- 5 [IP]をクリックします。
 - 6 [アドレス]フィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。
 - 7 [追加]をクリックします。
- AppleTalk の印刷機能用

Mac OS X 10.5 の場合

- 1 アップルメニューから、[システム環境設定]を選択します。
- 2 [プリントとファックス]をクリックします。
- 3 [+]をクリックします。
- 4 [AppleTalk]をクリックします。
- 5 リストからプリンタを選択します。
- 6 [追加]をクリックします。

Mac OS X 10.4 以前の場合

- 1 Finder のデスクトップから[実行] > [アプリケーション]の順に選択します。
- 2 [ユーティリティ]をダブルクリックします。
- 3 [プリントセンター]または[プリンタ設定ユーティリティ]をダブルクリックします。
- 4 [プリンタリスト]から、[追加]をクリックします。
- 5 [既定のブラウザ]タブを選択します。
- 6 [ほかのプリンタ]をクリックします。
- 7 最初のポップアップメニューで[AppleTalk]を選択します。
- 8 2 番目のポップアップメニューで[ローカルの AppleTalk ゾーン]を選択します。
- 9 リストからプリンタを選択します。
- 10 [追加]をクリックします。

メモ: プリンタがリストに表示されない場合は、IP アドレスを使用してプリンタを追加する作業が必要になる場合があります。詳細については、システムサポート担当者にお問い合わせください。

プリンタソフトウェアをインストールする

プリンタドライバは、コンピュータをプリンタと通信させるためのソフトウェアです。プリンタソフトウェアは、通常、プリンタの初期設定時にインストールします。セットアップ後にソフトウェアをインストールする必要がある場合は、次の手順に従います。

Windows の場合

- 1 動作中のソフトウェアプログラムはすべて終了します。
- 2 ソフトウェアおよび説明書類 CD を挿入します。
- 3 メインインストールダイアログで、[Install (インストール)]をクリックします。
- 4 画面に表示される指示に従います。

Macintosh の場合

- 1 動作中のソフトウェアアプリケーションはすべて終了します。
- 2 ソフトウェアおよび説明書類 CD を挿入します。

- 3 Finder デスクトップで、自動的に表示されるプリンタ CD アイコンをダブルクリックします。
- 4 「Install(インストール)」アイコンをダブルクリックします。
- 5 画面に表示される指示に従います。

インターネットを使用する

プリンタソフトウェアのアップデートは www.support.dell.com から入手できます。

プリンタのセットアップを確認する

すべてのハードウェアオプションを取り付け、すべてのソフトウェアオプションをインストールしてから、プリンタの電源を入れたら、次を印刷して、プリンタが正しくセットアップされていることを確認します。

- **メニュー設定ページ** - このページを使用して、すべてのプリンタオプションが正しく取り付けられていることを確認します。ページの下部に取り付けられているオプションの一覧が表示されます。取り付けたオプションが一覧に表示されていない場合、そのオプションは正しく取り付けられていません。オプションを取り外してから、再び取り付けます。
- **ネットワーク設定ページ** - プリンタがネットワークモデルで、ネットワークに接続されている場合は、ネットワーク設定ページを印刷してネットワーク接続を確認します。このページには、ネットワーク印刷の設定に役立つ重要情報も表示されます。

メニュー設定ページを印刷する

メニュー設定ページを印刷して、現在のメニュー設定を調べ、プリンタオプションが正しく取り付けられていることを確認します。

メモ: メニュー項目の設定を変更したことがない場合は、メニュー設定ページにすべての出荷時標準設定が一覧表示されます。メニューから他の設定を選択して保存すると、出荷時標準設定がユーザ標準設定に置き換わります。ユーザ標準設定は、メニューに再度アクセスして別の値を選択し、保存するまでは有効です。出荷時標準設定を復元する方法については、137 ページの「出荷時標準設定を復元する」を参照してください。

- 1 プリンタの電源が入った状態で、「準備完了」と表示されていることを確認します。
- 2 プリンタ操作パネルで  を押します。
- 3 「レポート」の横に  が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。
✓「メニュー設定ページ」が表示されます。
- 4  を押します。
メニュー設定ページの印刷が終了すると、「準備完了」と表示されます。

ネットワーク設定ページを印刷する

プリンタがネットワークに接続されている場合は、ネットワーク設定ページを印刷してネットワーク接続を確認します。このページには、ネットワーク印刷の設定に役立つ重要情報も表示されます。

- 1 プリンタの電源が入った状態で、「準備完了」と表示されていることを確認します。
- 2 プリンタの操作パネルで  を押します。
- 3 「レポート」の横に  が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。

- 4 「ネットワーク設定」の横に ✓ が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、🔍 を押します。
ネットワーク設定ページの印刷が終了すると、「準備完了」と表示されます。
- 5 ネットワーク設定ページの最初のセクションで、ステータスが「接続」になっていることを確認します。
接続されていない場合は、LAN が使用できないか、ネットワークケーブルが誤動作している可能性があります。
解決方法をシステムサポート担当者に問い合わせ、もう一度ネットワーク設定ページを印刷してください。

用紙および専用紙をセットする

このセクションではカセットと多目的フィーダに用紙をセットする方法について説明しています。また、用紙の向き、用紙サイズと用紙のタイプの設定、カセットのリンクとリンク解除についても説明します。

用紙サイズと用紙のタイプを設定する

任意のカセットの用紙サイズと用紙タイプの設定が他のカセットと同じ場合は、それらのカセットは自動的にリンクされます。

メモ: カセットに以前と同じサイズの用紙をセットする場合は、[用紙サイズ]設定を変更する必要はありません。

- 1 プリンタの電源が入った状態で、「準備完了」と表示されていることを確認します。
- 2 プリンタ操作パネルで  を押します。
✓ [用紙]メニューが表示されます。
- 3  を押します。
- 4 [用紙サイズ/タイプ]の横に ✓ が表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 5 正しいカセットまたはフィーダが表示されるまで上または下の矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 6 正しいサイズが表示されるまで左または右の矢印ボタンを押してから、 を押します。
[用紙のタイプ]が表示されます。
- 7 正しいタイプが表示されるまで左または右の矢印ボタンを押してから、 を押します。
[選択内容を送信中]が表示された後に、[用紙サイズ/タイプ]が表示されます。

ユニバーサル用紙の設定を指定する

[ユニバーサル用紙のサイズ]はユーザ定義設定であり、プリンタメニューに存在しない用紙サイズで印刷できます。必要なサイズが[用紙サイズ]メニューにない場合、指定したカセットの用紙サイズを[ユニバーサル]に設定します。次に、用紙に対して、次のユニバーサル設定をすべて指定します。

- 測定単位(インチまたは mm)
- ポートレートの縦の長さとポートレートの横の長さ
- 用紙取込み方向

メモ: 印刷可能なユニバーサルサイズの最小値は 76.2 x 127 mm(3 x 5 インチ)で、最大値は 216 x 356 mm(8.5 x 14 インチ)です。

測定単位を指定します。

- 1 プリンタの電源が入った状態で、「準備完了」と表示されていることを確認します。
- 2 プリンタ操作パネルで  を押します。
✓ [用紙]メニューが表示されます。
- 3  を押します。

- 4 [グローバル設定]の横に ✓ が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 5 [測定単位]が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 6 正しい測定単位の横に ✓ が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。
[選択内容を送信中]と表示された後に、[グローバル設定]メニューが表示されます。

用紙の高さおよび幅を指定する

ユニバーサル用紙サイズに対して特定の高さと幅(縦方向)を定義すると、両面印刷や1枚への複数ページの印刷などの標準機能のサポートを含め、プリンタはそのサイズをサポートできるようになります。

メモ: [ポートレートの縦の長さ]を選択して用紙の高さ設定を調整するか、[ポートレートの横の長さ]を選択して用紙の幅を設定するか、またはその両方を調整します。両方を調節するには以下の手順に従います。

- 1 [グローバル設定]メニューで、[ポートレートの横の長さ]の横に ✓ が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 2 左矢印ボタンを押して設定値を減らすか、右矢印ボタンを押して設定値を増やしてから  を押します。
[選択内容を送信中]と表示された後に、[グローバル設定]メニューが表示されます。
- 3 [グローバル設定]メニューで、[ポートレートの縦の長さ]の横に ✓ が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 4 左矢印ボタンを押して設定値を減らすか、右矢印ボタンを押して設定値を増やしてから  を押します。
[選択内容を送信中]と表示された後に、[グローバル設定]メニューが表示されます。
- 5 「準備完了」が表示されるまで、 を押してから放します。

用紙の取り込み方向を指定する

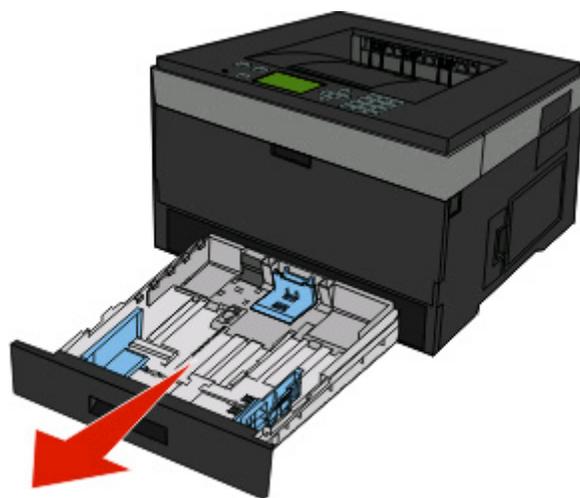
[ユニバーサル]用紙のサイズの出荷時の取り込み方向の標準設定は[短辺]です。[長辺]が設定可能になるまで、[グローバル設定]メニューに[用紙取り込み方向]メニューは表示されません。必要であれば、用紙の短辺と長辺のどちらを先にプリンタに挿入するか指定します。

- 1 [グローバル設定]メニューで、[用紙取り込み方向]の横に  が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、を押します。
- 2 [短辺]の横に ✓、または[長辺]の横に ✓ が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。

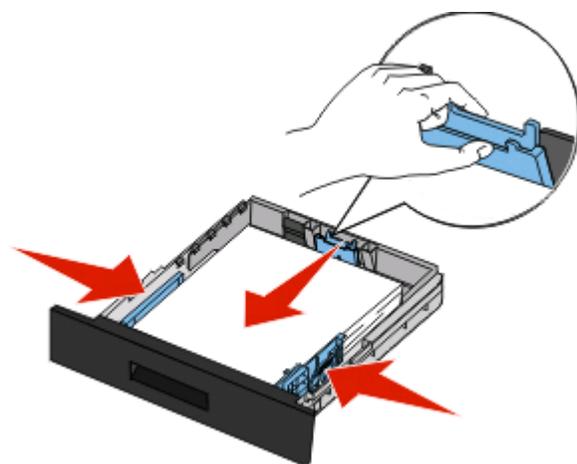
用紙をカセットにセットする

- 1 カセットを完全に引き出します。

メモ: ジョブの印刷中、または操作パネルに「ビジー」と表示されているときは、カセットを取り外さないでください。このような操作は紙づまりの原因となります。

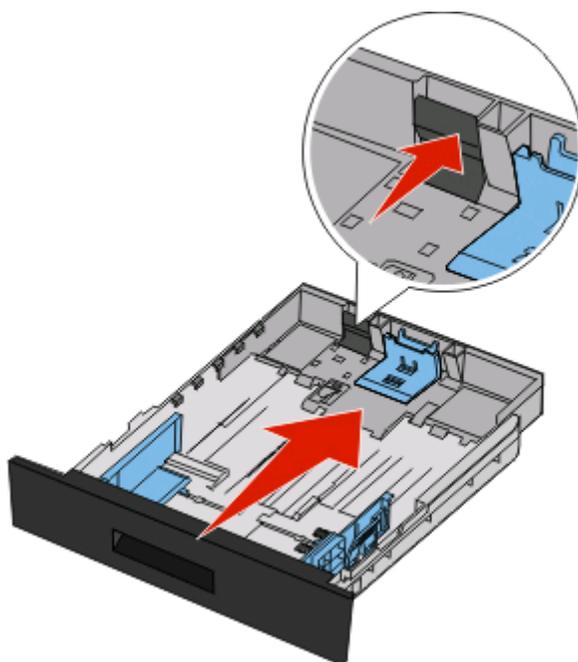


2 ガイドをつまんで、セットする用紙のサイズの正しい位置までスライドさせます。



用紙および専用紙をセットする

A4 またはリーガルなど、長い用紙をセットする場合は、長さガイドをつまんで、セットする用紙の長さに合った位置まで後方へスライドさせます。

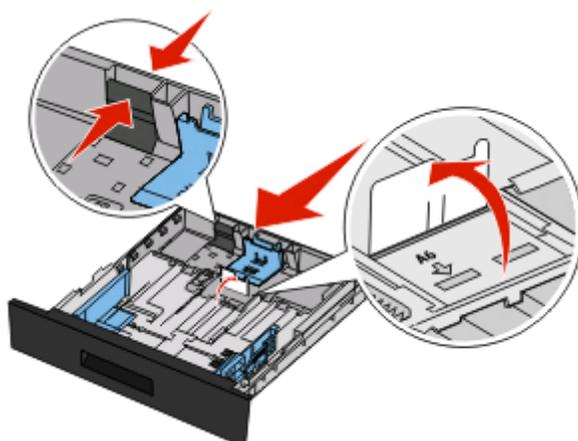


A6 用紙をセットする場合：

- a 長さガイドをつまんで、A5 サイズの位置までカセットの中央に向かってスライドさせます。
- b A6 バックストップを起こします。

メモ：

- 標準のカセットには、A6 サイズの用紙を 150 枚までセットすることができます。A6 バックストップの高さ制限ラインは A6 サイズの用紙をセットできる最大の高さを示しています。カセットに用紙を積み重ねすぎないでください。
- A6 サイズの用紙はオプションカセットにはセットできません。



メモ：

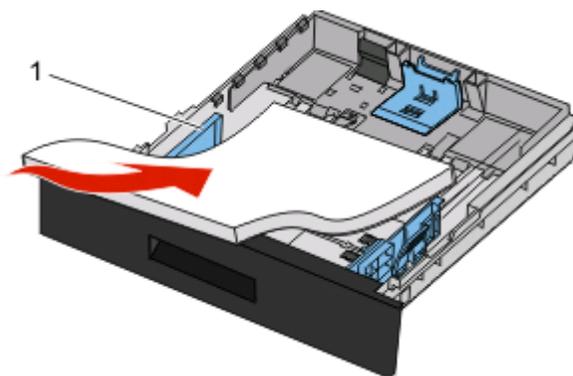
- カセットの下部にあるサイズインジケータで位置を合わせます。
- セットアップとして、お住まいの国または地域の標準サイズ(レターまたは A4)の用紙をセットします。

3 用紙は上下にまげてほぐし、パラパラめくります。用紙を折ったり畳んだりしないでください。平らな面で端を揃えます。



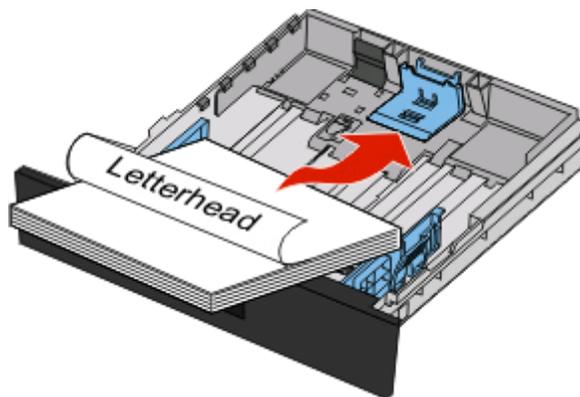
4 図に示すように、用紙の束は、推奨される印刷面を下にしてカセットの背面の方にセットします。

メモ：幅ガイドにある高さ制限ラインは、用紙をセットできる最大の高さを示します。A6 サイズの用紙は、高さ制限ラインまでセットしないでください。カセットには、A6 サイズの用紙を 150 枚 までしかセットできません。

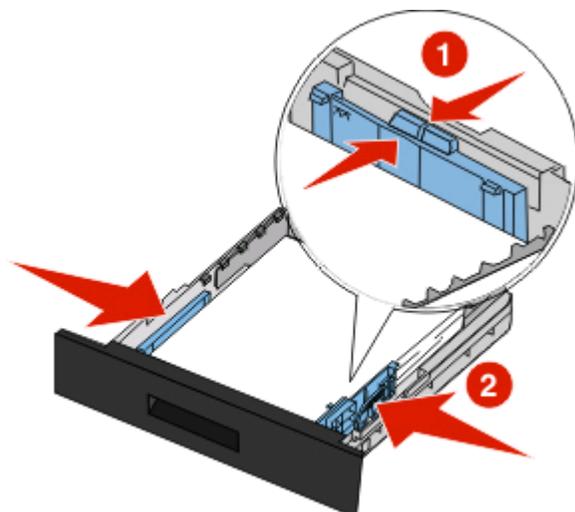


1 高さ制限ライン

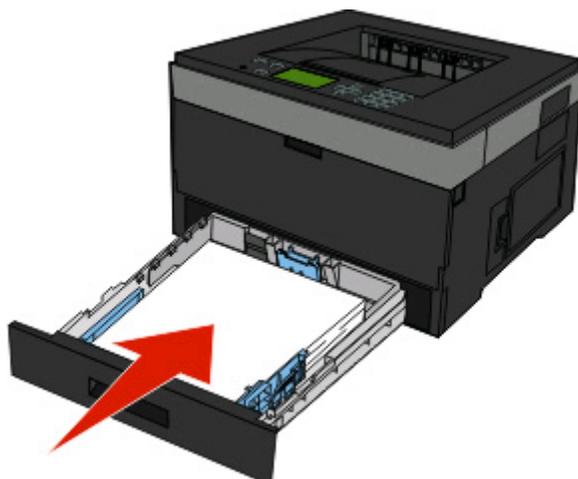
レターヘッドは、用紙の上端をカセットの前に向け、デザイン面を下に向けてセットします。



5 ガイドをつまんで、用紙の端に軽く触れる位置までスライドさせます。



6 カセットを挿入します。

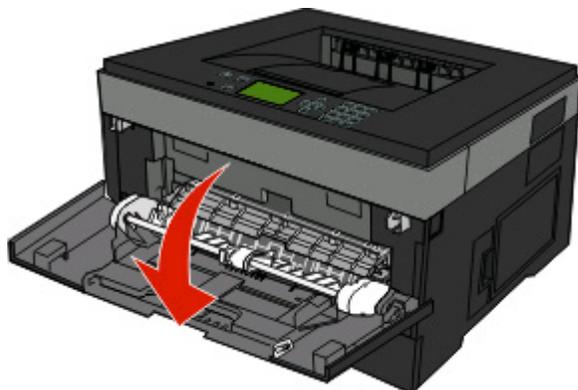


7 以前までカセットにセットされていたタイプとは異なるタイプの用紙をセットした場合は、カセットの[用紙のタイプ]設定を変更します。

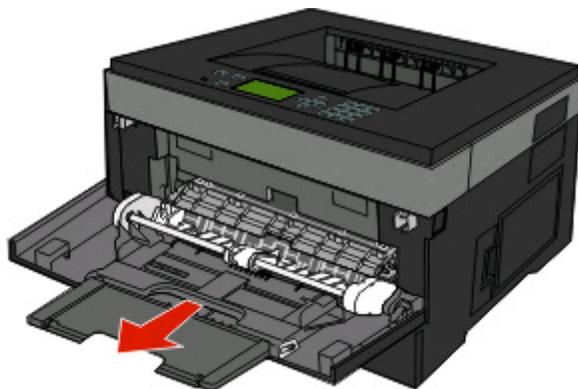
多目的フィーダを使用する

多目的フィーダを開く

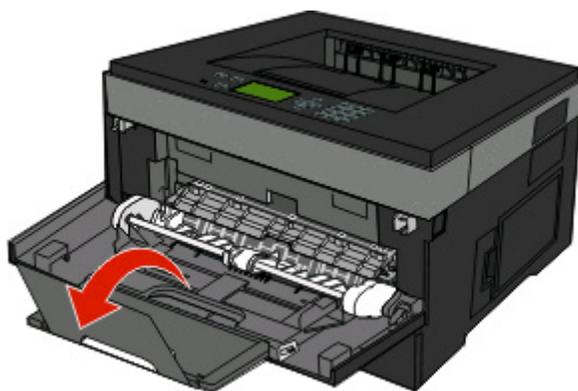
1 ハンドルを握り、多目的フィーダのドアを下に引きます。



2 上げたハンドルを握り、拡張ガイドを前方に引き出します。

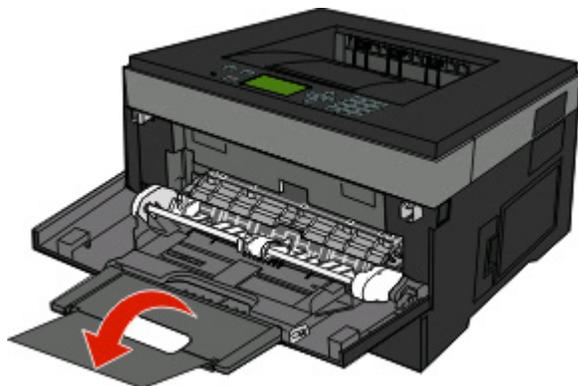


3 ハンドルを握り、拡張ガイドを前方に反転させます。



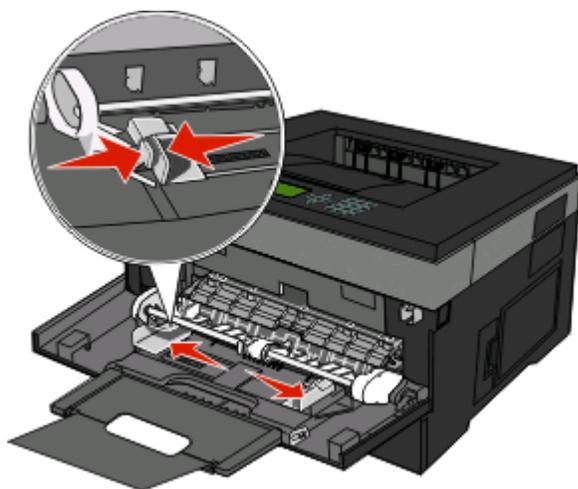
用紙および専用紙をセットする

4 拡張ガイドをゆっくりと下に動かして多目的フィーダを完全に伸ばして開きます。



多目的フィーダに用紙をセットする

1 右の幅ガイドタブをつまんで、ガイドを完全に外側に出します。



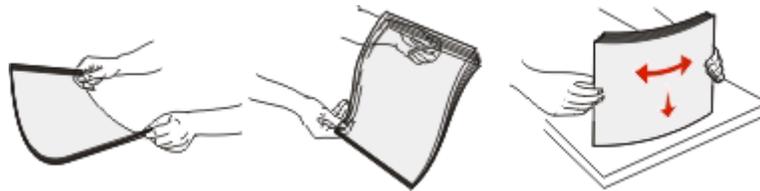
2 セットする用紙または専用紙を準備します。

- 用紙または用紙ラベルを上下にまげてほぐし、パラパラめくります。用紙またはラベルを折ったり畳んだりしないでください。平らな面で端を揃えます。



- OHP シートの端を持ち、パラパラめくります。平らな面で端を揃えます。

メモ: OHP シートの印刷面には触れないようにしてください。OHP シートに傷をつけないように注意してください。



- 封筒の束を上下にまげてほぐし、パラパラめくります。平らな面で端を揃えます。

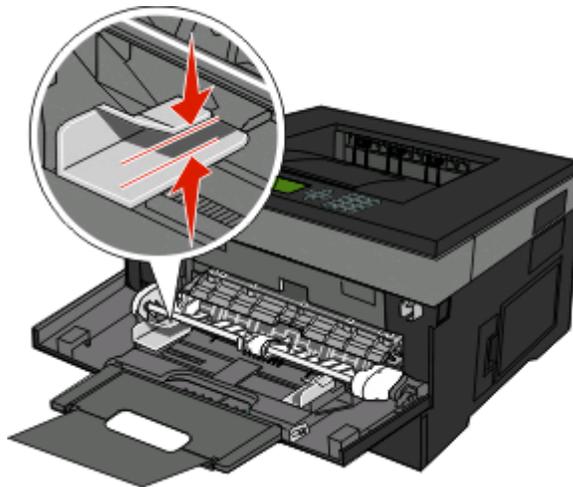


メモ: ほぐすことで封筒の端がくっつくのを防ぎ、給紙を円滑にします。これにより、用紙が適切に給紙され、紙づまりを防ぐことができます。封筒を折ったり畳んだりしないでください。

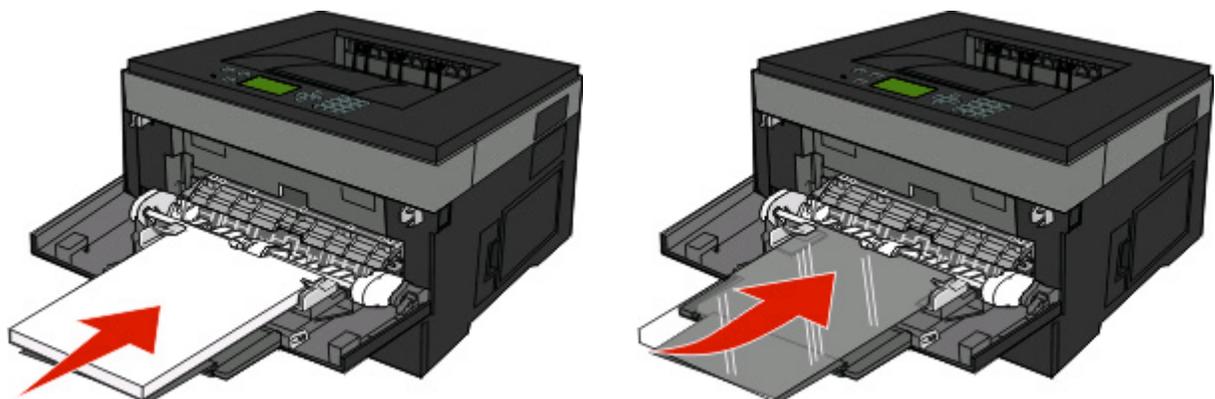
3 用紙または専用紙をセットします。

メモ:

- 多目的フィーダに用紙を押し込まないでください。用紙の枚数が多すぎると、紙づまりの原因となります。
- 用紙または専用紙の高さがガイドの印よりも下になるようにして、高さの上限を超えないようにしてください。

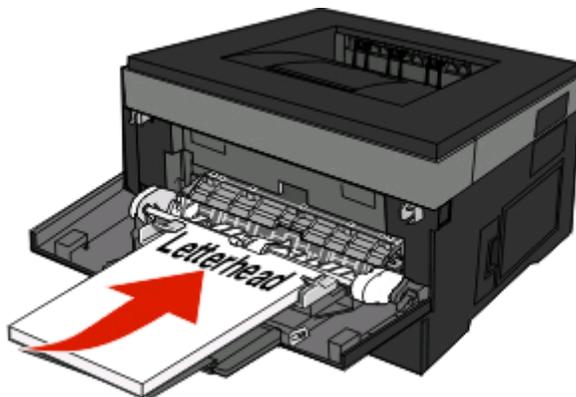


- 用紙、OHP シート、または厚紙は、推奨される印刷面を上向きにして上端から先にセットします。OHP シートのセット方法の詳細については、OHP シートの包装に記載されている情報を参照してください。

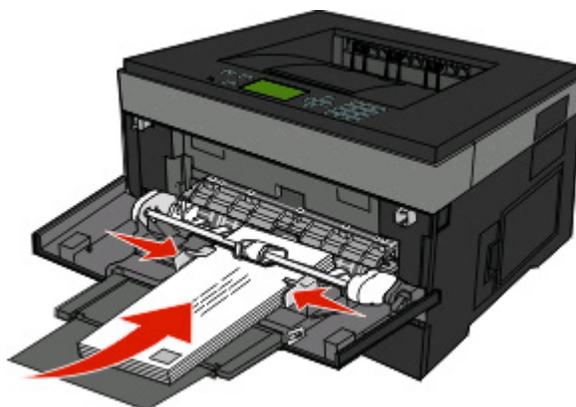


用紙および専用紙をセットする

- レターヘッド紙は、ロゴ面を上向きにして上端から先にセットします。

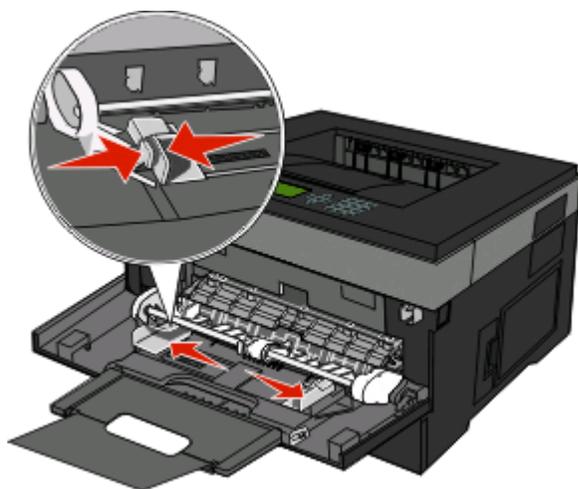


- 封筒は、封をする側を下にして切手を貼る位置が示された位置になるようにセットします。封筒をセットする正しい方向を説明するために切手と住所が示されています。

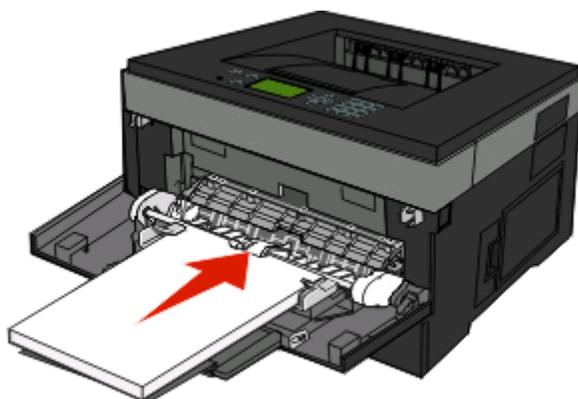


警告！破損の恐れあり：切手、留め金、スナップ、窓、つや出し加工された内張り、封かん用口糊の付いた封筒は絶対に使用しないでください。このような封筒はプリンタに深刻な損傷を与える可能性があります。

- 4 右の幅ガイドタブをつまんで、用紙の端に軽く触れるように幅ガイドを調節します。



- 5 用紙が止まるまで、多目的フィーダ内部にゆっくりとスライドさせます。用紙は多目的フィーダに平らに置きま
す。用紙が多目的フィーダに余裕を持って収まり、曲がったり、しわになったりしていないことを確認します。



- 6 プリンタの操作パネルで用紙サイズと用紙のタイプを設定します。

カセットをリンクする/カセットのリンクを解除する

カセット同士をリンクさせるだけでなく、多目的フィーダをカセットにリンクさせることもできます。

カセットをリンクする

カセットのリンクは大きな印刷ジョブや多くの部数を印刷する場合に便利です。リンクされている1つのカセットが空になると、リンクされている次のカセットから給紙されます。複数のカセットの用紙サイズと用紙タイプの設定が同じ場合は、それらのカセットは自動的にリンクされます。各カセットの用紙サイズと用紙タイプは、[用紙メニュー]で設定する必要があります。

カセットのリンクを解除する

他のカセットと設定が異なるカセットはリンクされません。[用紙メニュー]を使用してカセットのリンクを解除するには、用紙タイプと用紙サイズの設定を変更して、他のカセットの設定と一致しないようにします。

- 1 [用紙]メニューで、リンクを解除するカセットの用紙のタイプ設定(普通紙、レターヘッド、ユーザ定義タイプ < x > など)が他のカセットのタイプ設定と一致していないことを確認します。

用紙に最適な名前が、リンクされたカセットで使用されている場合は、カセットに別の用紙タイプ名(ユーザ定義タイプ < x > など)を割り当てるか、独自のユーザ定義名を割り当てます。

- 2 リンクを解除するカセットのサイズ設定(レター、A4、ステートメントなど)が、他のカセットのサイズ設定と一致していないことを確認します。

メモ: 用紙サイズの設定は自動では行われません。[用紙]メニューから手動で行う必要があります。

警告！破損の恐れあり: カセットにセットされている用紙のタイプと異なる用紙タイプ名を割り当てないでください。フューザの温度は、指定した用紙タイプに合わせて変化します。誤った用紙タイプを選択すると、用紙が正しく処理されない場合があります。

ユーザ定義タイプ< x >名を割り当てる

カセットをリンクするまたはリンクを解除するには、カセットにユーザ定義タイプ< x >名を割り当てます。リンクする各カセットに同じユーザ定義< x >名を関連付けます。同じユーザ定義名を割り当てられたカセットのみがリンクされます。

- 1 プリンタの電源が入った状態で、「準備完了」と表示されていることを確認します。
- 2 プリンタ操作パネルで  を押します。
- 3 [用紙メニュー]の横に  が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 4 [用紙サイズ/タイプ]の横に  が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 5 カセット名の横に  が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。
[用紙サイズ]メニューが表示されます。
- 6 もう一度  を押します。
[用紙タイプ]メニューが表示されます。
- 7 [ユーザ定義タイプ< x >]またはその他のユーザ定義名の横に  が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。
「選択内容を送信中」と表示された後に、「用紙メニュー」と表示されます。
- 8 適切な用紙タイプがユーザ定義名に関連付けられていることを確認します。
メモ: すべてのユーザ定義タイプ < x >名とユーザ定義名に関連付けられている出荷時標準設定の用紙タイプは「普通紙」になっています。
 - a [用紙メニュー]で、[ユーザ定義タイプ]の横に  が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。
 - b 43 ページの手順 7 で選択したユーザ定義の用紙タイプ名の横に  が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。
 - c 設定する用紙タイプの横に  が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。

ユーザ定義タイプ< x >名を変更する

プリンタがネットワークに接続されている場合は、内蔵 Web サーバを使用して、セットされている用紙のユーザ定義タイプにユーザ定義タイプ< x >以外の名前を定義することができます。ユーザ定義タイプ< x >名を変更すると、メニューには、ユーザ定義タイプ< x >の代わりに新しい名前が表示されます。

ユーザ定義タイプ< x >を変更するには、以下の手順に従います。

- 1 Web ブラウザのアドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。
メモ: お使いのプリンタの IP アドレスがわからない場合は、ネットワーク設定ページを印刷し、TCP/IP のセクションに記載されている IP アドレスを確認してください。
- 2 [設定]をクリックします。
- 3 [用紙メニュー]をクリックします。
- 4 [ユーザ定義名]をクリックします。

- 5 ユーザ定義名 < x > ボックスに、用紙タイプの名前を入力します。
メモ: 入力したユーザ定義名は、[ユーザ定義タイプ]および[用紙のサイズとタイプ]メニューの、ユーザ定義タイプ< x >名を置き換えます。
- 6 [送信]をクリックします。
- 7 [ユーザ定義タイプ]をクリックします。
[ユーザ定義タイプ]と表示された後に、ユーザ定義名が表示されます。
- 8 ユーザ定義名の横に表示されている選択リストから、[用紙のタイプ]設定を選択します。
- 9 [送信]をクリックします。

用紙および専用紙について

用紙および専用紙は、普通紙、厚紙、封筒、用紙ラベル、OHP フィルムのことを指します。印刷する前に用紙と専用紙に関連する多くの事柄を考慮する必要があります。この章では、用紙の選択方法と取り扱い方法について説明します。

用紙や専用紙を大量に購入する前に、数枚のサンプルに試し印刷を行ってみることをお勧めします。

用紙に関するガイドライン

適切な用紙を選択することで印刷の問題を減らすことができます。最適な印刷品質を得るため、用紙や専用紙を大量に購入する前に、サンプルを印刷してみてください。

用紙特性

以下の用紙特性は、印刷の品質と信頼性に影響します。新しい用紙を評価する場合は、これらの特性を考慮してください。

重さ

プリンタのカセットは、重さが 90 g/m² (24 lb ボンド) までの縦目の用紙を自動的に取込みます。多目的フィーダは、重さが 163 g/m² (43 lb ボンド) までの縦目の用紙を自動的に取り込みます。60 g/m² (16 lb) より軽い用紙は、適切に取り込むには堅さが足りず、紙づまりの原因となります。最適なパフォーマンスを実現するには、75 g/m² (20 lb ボンド) の縦目の用紙を使用してください。182 x 257 mm (7.2 x 10.1 インチ) より小さい用紙の場合は、90 g/m² (24 lb) 以上の重さの用紙をお勧めします。

メモ: 両面印刷では、60 ~ 90 g/m² (16 ~ 24 lb ボンド) の用紙のみがサポートされています。

カール

カールとは、用紙の先端が丸まる現象のことです。カールが大きすぎると、用紙の取り込み時に問題が発生することがあります。カールは、高温になっているプリンタ内部を用紙が通過した後に発生することがあります。包装されていない用紙を高温、多湿、低温、または乾燥した状態で保管すると、それがカセット内であっても印刷前に用紙がカールすることがあり、取り込み時の問題となる場合があります。

平滑度

用紙の平滑度は、印刷品質に直接影響します。用紙のきめが粗すぎる場合、トナーが適切に定着しません。用紙が滑らかすぎると、用紙の取り込み時や印刷品質に対して問題となることがあります。必ず 100 ~ 300 シェフィールドポイントの用紙を使用してください。ただし、最高の印刷品質は 150 ~ 250 シェフィールドポイントの平滑度で実現されます。

含水率

用紙に含まれる水分の量は、印刷品質とプリンタの適切な用紙取り込みの両方に影響します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れたままにしておいてください。これにより、用紙が湿度の変化にさらされてパフォーマンスが低下する可能性を最小限に抑えることができます。

印刷時の 24 ~ 48 時間前から、用紙を元の包装に入れたままプリンタと同じ環境に保管し、用紙の状態を調整してください。保管または輸送環境がプリンタ環境と大きく異なる場合は、時間を数日延ばしてください。厚い用紙の場合も、より長時間の調整が必要になる場合があります。

紙目

紙目とは、用紙に含まれる繊維の方向のことです。紙目には、用紙の縦方向に延びる縦目と用紙の横方向に延びる横目があります。

60 ~ 90 g/m² (16 ~ 24 lb ポンド) の用紙の場合は、縦目の用紙をお勧めします。

繊維含有率

最高品質のゼログラフィ用紙は、100% の化学処理済みパルプ木材から作られています。この含有率により、用紙の安定度が高まるとともに、用紙の取り込みの問題が減少し、印刷品質が向上します。コットンなどの繊維を含む用紙は、用紙の処理に悪影響を与えるおそれがあります。

使用できない用紙

次の種類の用紙は、プリンタで使用しないでください。

- ノーカーボン紙、感圧複写紙 (CCP)、またはカーボン不要 (NCR) 紙とも呼ばれる、コピーの作成に使用される化学処理済みの用紙
- プリンタを汚染する可能性のある化学薬品を使用したプレプリント用紙
- プリンタフューズの温度の影響を受ける可能性のあるプレプリント用紙
- 光学式文字認識 (OCR) フォームなど、±2.3 mm (±0.9 インチ) よりも高い精度で位置合わせする必要があるプレプリント用紙

場合によっては、ソフトウェアアプリケーションで位置合わせを調整して、これらのフォームに正常に印刷できることがあります。

- コーティングされた用紙 (消去可能ボンド)、合成紙、感熱紙
- 縁がざざざな用紙、表面のきめが粗い用紙、ざらつきのある用紙、またはカールした用紙
- EN12281:2002 (欧州) に準拠していない再生紙
- 重量が 60 g/m² (16 lb) 未満の用紙
- マルチパートフォームまたはドキュメント

用紙を選択する

適切な用紙を使用すると、紙づまりを防ぎ、問題のない印刷を行うことができます。

紙づまりと印刷品質の低下を防ぐには

- 必ず新しく損傷のない用紙を使用する。
- 用紙をセットする前に、推奨印刷面を確認する。通常、この情報はパッケージに記載されています。
- 手で切った用紙、用紙ラベル、厚紙は使用しない。
- サイズ、タイプ、重さが異なる用紙を 1 つのカセットにセットしない。これらを混在させると紙づまりが発生します。
- 電子写真印刷用に特に設計されていない限り、コーティングされた用紙を使用しない。

プレプリントフォームとレターヘッド紙を選択する

プレプリントフォームとレターヘッド紙を選択する場合は、以下のガイドラインに従ってください。

- 60 ~ 90g/m² の縦目用紙を使用する。
- オフセットリトグラフ印刷または写真版印刷処理を使用して印刷されたフォームおよびレターヘッド紙のみ使用する。
- 表面のきめが粗い用紙やざらつきが大きい用紙は避ける。

ゼログラフィコピー機用に設計された耐熱インクを使用して印刷された用紙を使用する。このインクは、溶解したり有毒ガスを放出したりせずに 230°C (446° F) までの温度に耐えられる必要があります。トナーの樹脂に影響されないインクを使用してください。酸化状態または石油を主成分としたインクは一般にこれらの要件を満たしています。ラテックス製インクはこれらの要件を満たしていない場合があります。判別できない場合は、用紙の供給元に問い合わせてください。

レターヘッド紙などのプレプリントされた用紙は、溶解や有毒ガスの放出を伴わずに 230°C (446° F) までの温度に耐えられる必要があります。

再生紙およびその他の事務用紙の使用

- 低い含水率 (4 ~ 5%)
- 適切な平滑度 (100 ~ 200 シェフィールド単位または 140 ~ 350 ベントセン単位、ヨーロッパ)

メモ: 著しく滑らかな用紙 (プレミアム 24 lb レーザー用紙、50 ~ 90 シェフィールド単位など) や著しく粗い用紙 (プレミアムコットン紙、200 ~ 300 シェフィールド単位) の中には、ざらつきがあってもレーザープリンタできわめてきれいに印刷できるように設計されているものもあります。こうした種類の用紙を使用する前に、用紙の供給元に問い合わせてください。

- 適切な紙間の摩擦係数 (0.4 ~ 0.6)
- 給紙方向への十分な剛軟度

再生紙、軽量の用紙 (60 g/m² [16 lb ボンド] 以下) および薄い用紙 (3.8 mils [0.1 mm] 以下) および縦方向 (または短辺) に給紙されるプリンタで横目に裁断された用紙は、確実な給紙に必要な剛軟度が不足していることがあります。このような種類の用紙をレーザー (電子写真) 印刷に使用する場合は、前もって用紙の製造元に問い合わせてください。これらは一般的なガイドラインに過ぎず、これらのガイドラインを満たす用紙でもレーザープリンタで給紙の問題が発生することがあります (たとえば、通常の印刷条件で用紙が過度にカールしている場合など)。

用紙の保管

紙づまりを防いで印刷品質を安定させるため、用紙の保管に関する以下のガイドラインに従ってください。

- 最良の印刷結果を得るため、温度 21°C (70° F)、相対湿度 40% の場所に用紙を保管してください。ほとんどのラベルメーカーは、温度が 18 ~ 24°C (65 ~ 75° F) で、相対湿度が 40 ~ 60% で印刷することを推奨しています。
- 可能な場合は、用紙をダンボール箱に入れ、台の上か棚において床より高い場所で保管してください。
- 梱包された用紙を平らな場所に保管してください。
- 梱包された用紙の上には何も置かないでください。

対応している用紙のサイズ、タイプ、重さ、容量

以下の表に、標準およびオプションの給紙源、対応する用紙のタイプと容量を示します。

メモ: 表に記載されていないサイズの用紙については、次に大きいサイズの用紙を選択してください。

プリンタでサポートされている用紙サイズ

用紙サイズ	寸法	標準の 250 枚力セット	オプションのカセット	多目的フィーダ	両面印刷経路
A4	210 x 297 mm (8.3 x 11.7 インチ)	✓	✓	✓	✓
A5	148 x 210 mm(5.8 x 8.3 インチ)	✓	✓	✓	X
A6 ¹	105 x 148 mm(4.1 x 5.8 インチ)	✓	X	✓	X
エグゼクティブ	184 x 267 mm (7.3 x 10.5 インチ)	✓	✓	✓	X
フォリオ	216 x 330 mm(8.5 x 13 インチ)	✓	✓	✓	✓
JIS B5	182 x 257 mm (7.2 x 10.1 インチ)	✓	✓	✓	X
リーガル	216 x 356 mm(8.5 x 14 インチ)	✓	✓	✓	✓
レター	216 x 279 mm(8.5 x 11 インチ)	✓	✓	✓	✓
Oficio(メキシコ)	216 x 340 mm (8.5 x 13.4 インチ)	✓	✓	✓	✓
ステートメント	140 x 216 mm(5.5 x 8.5 インチ)	✓	✓	✓	X
ユニバーサル ²	76.2 x 127 mm(3 x 5 インチ) ~ 216 x 356 mm (8.5 x 14 インチ)	✓	✓	✓	X ³
B5 封筒	176 x 250 mm(6.9 x 9.8 インチ)	X	X	✓	X
C5 封筒	162 x 229 mm(6.4 x 9 インチ)	X	X	✓	X
DL 封筒	110 x 220 mm(4.3 x 8.7 インチ)	X	X	✓	X

¹ A6 は縦目用紙のみサポートしています。

² 使用する用紙サイズが一覧にない場合は、ユニバーサル用紙のサイズを設定します(⇒「32 ページの「ユニバーサル用紙の設定を指定する」」)。

³ 両面印刷の経路でサポートされるユニバーサル用紙のサイズは、210 x 279 mm(8.3 x 11 インチ)以上に制限されません。

用紙サイズ	寸法	標準の 250 枚カセット	オプションのカセット	多目的フィーダ	両面印刷経路
7 3/4 封筒 (Monarch)	98 x 191 mm (3.9 x 7.5 インチ)	X	X	✓	X
9 封筒	98 x 225 mm (3.9 x 8.9 インチ)	X	X	✓	X
10 封筒	105 x 241 mm (4.1 x 9.5 インチ)	X	X	✓	X
その他の封筒	216 x 356mm (8.5 x 14 インチ)	X	X	✓	X

¹ A6 は縦目用紙のみサポートしています。

² 使用する用紙サイズが一覧にない場合は、ユニバーサル用紙のサイズを設定します (⇒「32 ページの「ユニバーサル用紙の設定を指定する」」)。

³ 両面印刷の経路でサポートされるユニバーサル用紙のサイズは、210 x 279 mm (8.3 x 11 インチ) 以上に制限されません。

プリンタでサポートされている用紙のタイプと重さ

プリンタエンジンと両面印刷の経路は、重さが 60 ~ 90 g/m² (16-24 lb) の用紙に対応しています。多目的フィーダは、重さが 60 ~ 163 g/m² (16-43 lb) の用紙に対応しています。

用紙のタイプ	標準の 250 枚カセット	オプションのカセット	多目的フィーダ	両面印刷経路
用紙 <ul style="list-style-type: none"> • 普通紙 • 軽い • 重い • ラフ/コットン紙 • 再生紙 • ユーザー定義 	✓	✓	✓	✓
ボンド紙	✓	✓	✓	✓
レターヘッド紙	✓	✓	✓	✓
プレプリント紙	✓	✓	✓	✓
色付き紙	✓	✓	✓	✓
厚紙	X	X	✓	X
光沢紙	X	X	X	X
用紙ラベル ¹	✓	✓	✓	X
OHP フィルム	✓	X	✓	X
封筒 (滑らか) ²	X	X	✓	X

¹ レーザープリンタ専用の片面のラベル用紙は、臨時的に使用できます。印刷する枚数は、月 20 ページ以下を推奨します。ビニール、薬剤、および両面ラベルには対応していません。

² それぞれの封筒を下に向けてテーブルに置いた場合、平らになる封筒を使用してください。

用紙の容量

カセットと多目的フィーダの容量は、75 g/m²(20 lb)用紙を基準にしています。

セット可能な容量	備考
カセット 1 用紙 250 枚 A6 サイズ用紙 150 枚 ラベル 50 枚 OHP フィルム 50 枚	メモ: ビニール、薬剤、両面ラベルには対応していません。用紙ラベルのみが使用できます。レーザープリンタ専用の片面のラベル用紙は、臨時的に使用できます。印刷する枚数は、月 20 ページ以下を推奨します。
カセット 2 用紙 550 枚 ラベル 50 枚	メモ: 一度に 1 つのオプションのドロワーのみをプリンタに取り付けることができます。
多目的フィーダ 用紙 50 枚 ラベル 15 枚 OHP フィルム 10 枚 厚紙 10 枚 封筒 7 枚	メモ: 用紙の先端が用紙ガイドに触れるところまで用紙を多目的フィーダに挿入します。用紙をフィーダに押し込まないでください。

ソフトウェア概要

プリンタに付属の Drivers and Utilities CD を使用して、お使いのオペレーティングシステムに応じた一連のソフトウェアアプリケーションをインストールします。

メモ: プリンタとコンピュータを別々に購入した場合は、これらのソフトウェアアプリケーションを Drivers and Utilities CD からインストールする必要があります。

メモ: これらのアプリケーションは、Macintosh® では利用できません。

状況監視センター

メモ: ローカルの状況監視センターを正常に動作させるには、プリンタとコンピュータが通信できるように、双方向通信がサポートされている必要があります。状況監視センターは、プリンタが USB ケーブルでコンピュータにローカルで接続されている場合にのみ機能します。

状況監視センターを使用して、複数の状況モニタを管理します。

- プリンタ名をダブルクリックしてそのプリンタの状況モニタを開きます。または、[実行]を選択して特定のプリンタの状況モニタを開きます。
- プリンター一覧の表示方法を変更するには、[更新]を選択します。

ドライバプロファイル

ドライバプロファイルを使用して、ユーザー指定のドライバ設定を含んだドライバプロファイルを作成します。ドライバプロファイルには、一組の保存されたプリンタドライバ設定と以下のようなデータを含めることができます。

- 印刷方向および N アップ印刷(文書設定)
- 排紙トレイの取り付け状況(プリンタオプション)
- ユーザー定義用紙サイズ(カスタム用紙)
- 簡易テキストおよび透かし
- オーバーレイ参照
- フォント参照
- 用紙割り当て

デルプリンタ警告ユーティリティ

メモ: このアプリケーションは、Windows 2000 では使用できません。

デルプリンタ警告ユーティリティは、ユーザーの対応が必要なエラーが発生したことを知らせます。エラーが発生するとバブルが表示され、エラーの内容と適切な回復方法を示します。

メモ: デルプリンタ警告ユーティリティを正常に動作させるには、プリンタとコンピュータが通信できるように、双方向通信がサポートされている必要があります。この通信は、例外として許可されるよう Windows Firewall に追加されます。

デルプリンタ警告ユーティリティをプリンタソフトウェアとともにインストールした場合は、インストール終了時にユーティリティが自動的に有効になります。ユーティリティが有効の場合、システムトレイに  が表示されます。

デルプリンタ警告ユーティリティを無効にするには、以下の手順に従います。

- 1 システムトレイ内の  アイコンを右クリックします。
- 2 [Exit(終了)]を選択します。

デルプリンタ警告ユーティリティを再度有効にするには、以下の手順に従います。

- 1 Windows Vista 以降の場合：
 - a  → [プログラム]の順にクリックします。
 - b [Dell Printers(デルプリンタ)]をクリックします。
 - c [Dell 3330dn Laser Printer(デル 3330dn レーザープリンタ)]をクリックします。

Windows XP の場合：

[スタート]→ [プログラム]または[すべてのプログラム]→ [Dell Printers(デルプリンタ)]→ [Dell 3330dn Laser Printer(デル 3330dn レーザープリンタ)]の順にクリックします。

- 2 [Printer Alert Utility(プリンタ警告ユーティリティ)]をクリックします。

オプションの XPS ドライバをインストールする

XPS(XML Paper Specification)ドライバは、オプションのプリンタドライバで、XPS の高度なカラーとグラフィックス機能を利用するためのものです。この機能は、Windows Vista 以降でのみ使用できます。XPS 機能を使用するには、プリンタをインストールした後に、XPS ドライバを追加のドライバとしてインストールする必要があります。

メモ: XPS ドライバをインストールする前に、プリンタとコンピュータを接続してください。

ドライバをインストールするには、以下の手順に従います。

- 1  → [コントロールパネル]をクリックします。
- 2 [ハードウェアとサウンド]で、[プリンタ]をクリックし、[プリンタの追加]をクリックします。
- 3 [プリンタの追加]ダイアログボックスから、次のいずれかの手順を実行します。
 - USB 接続の場合は、USB ケーブルがコンピュータおよびプリンタに接続されていることを確認してから、以下の手順に従います。
 - a [ローカルプリンタを追加します]をクリックします。
 - b [既存のポートを使用]ドロップダウンメニューから、[USB の仮想プリンタポート]を選択し、[次へ]をクリックします。
- 4 [ディスク使用]をクリックします。

[フロッピー ディスクからインストール]ダイアログボックスが開きます。
- 5 [参照]をクリックし、コンピュータの XPS ドライバファイルに移動します。次の手順に従います。
 - a [コンピュータ]をクリックし、[(C:)]をダブルクリックします。
 - b [ドライバ]をダブルクリックし、[プリンタ]をダブルクリックします。
 - c 名前にお使いのプリンタの機種番号があるフォルダをダブルクリックし、[ドライバ]をダブルクリックします。
 - d [xps]をダブルクリックし、[開く]をクリックします。
 - e [フロッピー ディスクからインストール]ダイアログボックスで、[OK]をクリックします。
- 6 その後に表示される 2 つのダイアログボックスで、[次へ]をクリックします。

XPS ドライバの詳細については、ソフトウェアおよび説明書類 CD に収録されている XPS **readme** ファイルを参照してください。このファイルは **xps** フォルダにあり、**setupxps** バッチファイルもあります (D:\Drivers\xps\readme)。

Dell Toner Management System

印刷ステータスウィンドウ

メモ: 印刷ステータスウィンドウを正常に動作させるには、プリンタとコンピュータが通信できるように、双方向通信がサポートされている必要があります。この通信は、例外として許可されるよう Windows® Firewall に追加されます。

印刷ステータスウィンドウはプリンタの状況 ([プリンタ準備完了]、[プリンタオフライン]、[エラー、プリンタを調べる]) および送信した印刷ジョブの名前を表示します。

また、印刷ステータスウィンドウにはトナーの残量も表示されるので、以下のことが可能になります。

- プリンタのトナー残量を監視する。
- **[消耗品を注文]** をクリックして、交換トナーカートリッジを注文する。

デルプリンタ消耗品再注文アプリケーション

[消耗品を注文] ダイアログボックスは印刷ステータスウィンドウ、プログラムウィンドウ、またはデスクトップアイコンで起動できます。

電話またはインターネットでトナーを注文できます。

- オンラインで注文する場合は、デルプリンタ消耗品再注文アプリケーションを起動します。
 - 1 Windows Vista 以降の場合：
 - a  → **[プログラム]** の順にクリックします。
 - b **[Dell Printers (デルプリンタ)]** をクリックします。
 - c **[Dell 3330dn Laser Printer (デル 3330dn レーザープリンタ)]** をクリックします。Windows XP および 2000 の場合は、以下の手順に従います。

[スタート] → **[プログラム]** または **[すべてのプログラム]** → **[Dell Printers (デルプリンタ)]** → **[Dell 3330dn Laser Printer (デル 3330dn レーザープリンタ)]** の順にクリックします。
 - 2 **[Dell Printer Supplies Reorder Application (デルプリンタ消耗品再注文アプリケーション)]** をクリックします。

[Order Supplies (消耗品を注文)] ダイアログボックスが表示されます。
 - 3 「**Multiple Printers Found (複数のプリンタが見つかりました)**」が表示された場合、注文する消耗品に対応するプリンタを選択します。
 - 4 画面に表示される指示に従います。
- インターネットで注文する場合は、「**Order Online (オンライン注文)**」のタイトルの下にあるリンクをクリックします。
- 電話で注文する場合は、「**Order by Phone (電話で注文)**」に表示されている番号に電話します。

印刷

この章では、印刷、プリンタレポート、ジョブの取り消しについて説明します。用紙および専用紙の選択と取り扱いは、印刷の信頼性に影響します。詳細については、63 ページの「紙づまりを防ぐ」および 47 ページの「用紙の保管」を参照してください。

ドキュメントを印刷する

- 1 カセットまたはフィーダに用紙をセットします。
- 2 [Paper(用紙)]メニューで、セットした用紙に応じて用紙タイプと用紙サイズを設定します。
- 3 次のいずれかの手順に従います。

Windows の場合

- a ドキュメントを開いて[ファイル] → [印刷]の順に選択します。
- b [プロパティ]、[設定]、[オプション]、または[セットアップ]をクリックします。
- c [Form Source(給紙源)]リストボックスで、セットした用紙が含まれている給紙源を選択します。
- d [Form Type(用紙タイプ)]リストボックスで、用紙タイプを選択します。
- e [Form Size(用紙サイズ)]リストボックスで、用紙サイズを選択します。
- f [OK]、[印刷]の順にクリックします。

Macintosh の場合

Mac OS X:

- a 「ページ設定」ダイアログボックスで、設定を必要に応じてカスタマイズします。
 - 1 ドキュメントを開き、「ファイル」→「ページ設定」の順に選択します。
 - 2 「用紙サイズ」ポップアップメニューで、用紙サイズを選択するか、セットした用紙に合ったユーザ定義サイズを作成します。
 - 3 「OK」をクリックします。
- b 「プリント」ダイアログボックスで、設定を必要に応じて変更します。
 - 1 ドキュメントを開いて、「ファイル」→「印刷」の順にクリックします。
必要に応じて、左端の三角形をクリックすると、さらにオプションが表示されます。
 - 2 印刷オプションまたは「印刷部数と印刷ページ」ポップアップメニューで、「プリンタの機能」を選択します。
 - 3 「機能セット」ポップアップメニューで、「用紙」を選択します。
 - 4 「用紙のタイプ」ポップアップメニューで、用紙タイプを選択します。
 - 5 「プリント」をクリックします。

Mac OS 9:

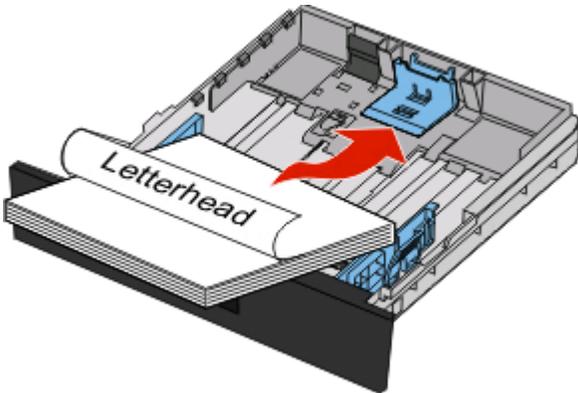
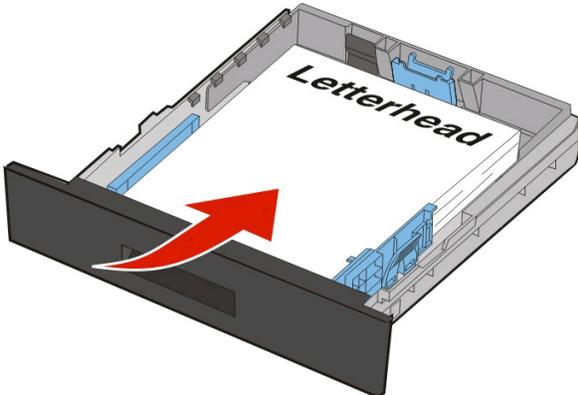
- a 「ページ設定」ダイアログボックスで、設定を必要に応じてカスタマイズします。
 - 1 ドキュメントを開き、「ファイル」→「ページ設定」の順に選択します。
 - 2 「用紙」ポップアップメニューで、用紙サイズを選択するか、セットした用紙に合うユーザ定義サイズを作成します。
 - 3 「OK」をクリックします。

- b 「プリント」ダイアログボックスで、設定を必要に応じて変更します。
- 1 ドキュメントを開いて、「ファイル」→「印刷」の順に選択します。
 - 2 給紙源オプションを選択し、適切な用紙がセットされたカセットを選択します。
 - 3 「プリント」をクリックします。

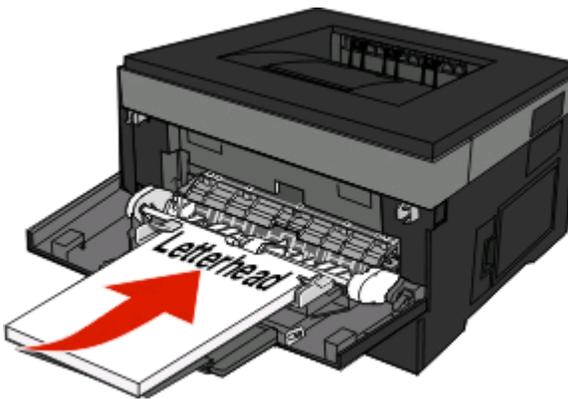
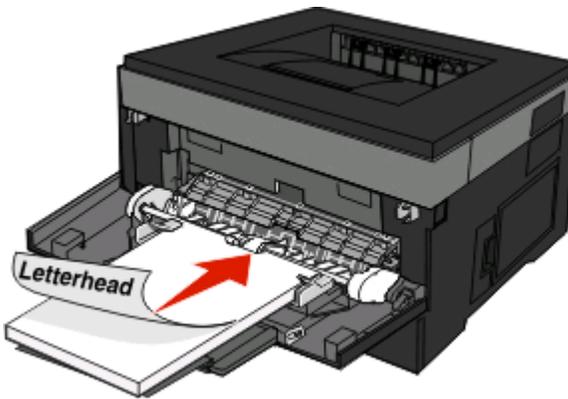
専用紙に印刷する

レターヘッド紙を使用する際のヒント

レターヘッド紙に印刷する場合は、用紙の向きが重要です。次の表を参照して、レターヘッド紙をセットする方向を決定します。

給紙源または処理	印刷面	用紙方向
<ul style="list-style-type: none"> • 標準の 250 枚カセット • オプションのカセット 	レターヘッド紙のデザイン面は下に向けま す。	<p>ロゴが付いた用紙の上端を、カセットの前面に向けてセットします。</p> 
カセットからの両面印刷	レターヘッド紙のデザイン面は上に向けま す。	<p>ロゴが付いた用紙の上端を、カセットの背面に向けてセットします。</p> 

メモ: 選択したプレプリントレターヘッド紙をレーザープリンタで使用できるかどうかを判断するには、製造元または販売店に問い合わせてください。

給紙源または処理	印刷面	用紙方向
多目的フィーダを使用した片面印刷	レターヘッド紙のデザイン面は上に向けます。	<p>ロゴが付いた用紙の上端を先に多目的フィーダに入れます。</p> 
多目的フィーダ(両面印刷)	レターヘッド紙のデザイン面は下に向けます。	<p>ロゴが付いた用紙の上端を後に多目的フィーダに入れます。</p> 
<p>メモ: 選択したプレプリントレターヘッド紙をレーザープリンタで使用できるかどうかを判断するには、製造元または販売店に問い合わせてください。</p>		

OHP フィルムを使用する際のヒント

使用を検討している OHP フィルムを大量に購入する前に、その OHP フィルムにサンプルを印刷してください。

OHP フィルムに印刷する場合

- OHP フィルムは、250 枚カセットまたは多目的フィーダから給紙する。
- レーザープリンタ用に設計された OHP フィルムを使用する。メーカーまたはベンダに問い合わせ、OHP フィルムが溶解、退色、ずれ、または有毒ガスの放出を伴わずに 175°C (350° F) までの温度に耐えられることを確認する。

メモ: [OHP フィルム重さ]を[重い]に設定し、[OHP フィルム粗さ]を[粗い]に設定した場合、OHP フィルムは 180° C (356° F) までの温度で印刷できます。内蔵 Web サーバを使用するか、プリンタ操作パネルの[用紙]メニューからこれらの設定を選択します。

- 印刷品質に関する問題を防ぐために、OHP フィルムに指紋が付着しないようにする。
- OHP フィルムをセットする前に、フィルムの束をパラパラめくって、くっつかないようにする。

封筒を使用する上でのヒント

使用を検討している封筒を大量に購入する前に、その封筒にサンプルを印刷してください。

封筒に印刷する場合

- レーザープリンタ用に設計された封筒を使用する。メーカーまたはベンダに問い合わせ、封筒が封印、しわ、過度のカール、または有毒ガスの放出を伴わずに 210°C (446° F) までの温度に耐えられることを確認する。
メモ: [封筒の重さ]を[重い]に設定し、[封筒の粗さ]を[粗い]に設定した場合、封筒は 220° C (428° F) までの温度で印刷できます。内蔵 Web サーバを使用するか、プリンタ操作パネルの[用紙]メニューからこれらの設定を選択します。
- 最適なパフォーマンスを実現するには、90 g/m² (24 lb ボンド) の用紙から作られた封筒を使用する。コットン含有率が 25% 以下の場合、105 g/m² (28 lb ボンド) までの重量の封筒を使用する。コットン 100% の封筒は重量が 90 g/m² (24 lb ボンド) 以下である必要がある。
- 新しい封筒のみ使用する。
- パフォーマンスを最適化し、紙づまりを最小限にするため、以下のような封筒は使用しない。
 - カールやねじれが大きい封筒
 - 封筒同士が張り付いているものや、何らかの損傷のある封筒
 - 窓、穴、ミシン目、切り抜き、またはエンボスのある封筒
 - 金属製の留め具、ひも、または折れ筋のある封筒
 - かみ合わせのデザインのある封筒
 - 切手が貼付されている封筒
 - 垂れ蓋に封をしたとき、または閉じたときに接着剤がはみ出る封筒
 - 角が折れ曲がった封筒
 - きめの粗い、しわのある、またはすの目仕上げの封筒
- 幅ガイドを調節して、封筒の幅に合わせる。

メモ: 高い湿度 (60% 以上) と高い印刷温度が組み合わさると、封筒にしわがよったり封がされたりすることがあります。

ラベルを使用する上でのヒント

使用を検討しているラベルを大量に購入する前に、そのラベルにサンプルを印刷してください。

メモ: レーザープリンタ専用の片面のラベル用紙は、臨時的に使用できます。印刷する枚数は、月 20 ページ以下を推奨します。ビニール、薬剤、両面ラベルには対応していません。

ラベルに印刷する場合

- レーザープリンタ用に設計されたラベルを使用する。メーカーまたはベンダに以下の点を確認する。
 - ラベルが封印、過度のカール、しわ、または有毒ガスの放出を伴わずに 210°C (410° F) までの温度に耐えられること。
メモ: [ラベルの重さ]が[重い]に設定されている場合、ラベルは最大 220° C (428° F) の高い融解温度で印刷されます。内蔵 Web サーバを使用するか、プリンタ操作パネルの[用紙]メニューからこの設定を選択します。
 - ラベルの接着剤、前面シート (印刷用ストック)、表面コーティングが、剥離、端のにじみ、または有毒ガスの放出を伴わずに 25 psi (172 kPa) の圧力に耐えられること。
- 裏面がつやのある素材でできているラベルは使用しない。
- ラベル用紙全体を使用する。用紙の一部だけを使用すると、印刷時にラベルがはがれ、紙づまりが発生することがあります。また、接着剤でプリンタやカートリッジが汚染され、プリンタやカートリッジの保証対象外となることもあります。
- 接着剤が露出しているラベルは使用しない。

- ラベルの端やミシン目から 1 mm(0.04 インチ) 以内の範囲、またはラベルのダイカットの間には印刷しない。
- 粘着性の背面が用紙の端からはみ出ないようにする。接着剤のゾーンコーティングが、端から少なくとも 1 mm (0.04 インチ) 離れているラベルの使用をお勧めします。接着剤によってプリンタが汚染され、保証対象外となることがあります。
- 接着剤のゾーンコーティングが不可能な場合は、リーディングエッジとドライバエッジで 1.6 mm(0.06 インチ)の細片を取り除き、にじみ出てこない接着剤を使用する。
- バーコードを印刷する場合は、必ず縦方向に印刷する。

グリーティングカード使用のヒント

グリーティングカードは、重量紙で、一層の特殊用紙です。湿気の含有量、厚さ、表面仕上げなどがさまざま、ムラがでやすく、印刷品質に重大な影響を与える可能性があります。使いたいグリーティングカードは、大量購入する前にまず試し刷りをしてください。

グリーティングカードに印刷する場合は、以下の操作を行います。

- [用紙の種類]が[グリーティングカード]になっていることを確認します。
- [用紙の表面仕上げ]で適切な設定を選択します。
- 印刷済みのカードおよび目打ちや折り目のあるカードは、印刷品質に重大な影響を与えたり、紙詰まりやその他の用紙処理上の問題を引き起こす可能性があります。
- グリーティングカードが有害な排気物を出さずに 210° C(410° F)まで耐えられるかどうか、製造元または販売元に確認してください。
- プリンタに汚れが付くような薬品を使用して製造された(印刷済み)グリーティングカードは、使用しないでください。印刷済みの用紙を使用すると、半液体および揮発性の成分がプリンタに付着します。
- 可能な場合は、横目のグリーティングカードを使用してください。

コンフィデンシャルジョブおよびその他の保持ジョブを印刷する

プリンタにジョブを保持する

プリンタにジョブを送信するときに、操作パネルでジョブを開始するまでジョブをプリンタのメモリに保持するよう指定することができます。ユーザがプリンタで開始できる印刷ジョブのことを保持ジョブといいます。

メモ: 保持されたジョブを新たに処理するために追加のメモリが必要となる場合、コンフィデンシャル印刷ジョブ、確認印刷ジョブ、予約印刷ジョブおよび繰り返し印刷ジョブが削除されることがあります。

ジョブの種類	説明
コンフィデンシャル	コンフィデンシャル印刷ジョブをプリンタに送信する場合は、コンピュータ上で暗証番号を作成する必要があります。暗証番号は 0 ~ 9 までの数字 4 桁にする必要があります。プリンタの操作パネルで暗証番号を入力してジョブの印刷または削除を選択するまで、ジョブはプリンタのメモリに保持されます。
確認	確認印刷ジョブを送信すると、1 部だけが印刷され、残りの部数はプリンタのメモリに保持されます。確認印刷により、最初に 1 部印刷し、間違いがないかどうかを確認してから残りの部数を印刷できます。すべての部数が印刷されると、ジョブは自動的にプリンタのメモリから削除されます。
予約	予約印刷ジョブを送信しても、すぐには印刷されません。ユーザが後で印刷できるよう、ジョブはメモリに保存されます。[保持されたジョブ]メニューでジョブを削除するまで、ジョブはメモリに格納されます。

ジョブの種類	説明
繰り返し	繰り返し印刷ジョブを送信すると、ジョブで要求したすべての部数が印刷され、さらに、追加の部数を後で印刷できるようにジョブがメモリに格納されます。ジョブがメモリに格納されている間は、追加の部数を印刷することができます。

その他の保持されたジョブには、以下の種類があります：

- キオスクから送信されるフォーム
- ブックマーク
- 印刷されていない常駐ジョブ

コンフィデンシャルジョブおよびその他の保持ジョブを印刷する

コンフィデンシャルジョブおよび確認印刷ジョブは、印刷後にメモリから自動的に削除されます。繰り返しジョブおよび予約ジョブは、削除を選択するまでプリンタに保持され続けます。

Windows の場合

- 1 ドキュメントを開いて[ファイル] → [印刷]の順に選択します。
- 2 [プロパティ]、[設定]、[オプション]、または[セットアップ]をクリックします。
- 3 [Other Options(その他のオプション)]をクリックし、次に[Print and Hold(送信して保持)]をクリックします。
- 4 ジョブの種類(コンフィデンシャル、予約、繰り返し、確認、プロファイル、キオスクから入手したフォーム、ブックマーク、パークジョブ)を選択し、ユーザ名を割り当てます。コンフィデンシャルジョブの場合は、4桁の暗証番号も入力します。
- 5 [OK]または[プリント]をクリックします。ジョブはプリンタの操作パネルから印刷します。
- 6 プリンタ操作パネルで、[保持されたジョブ]の横に ✓ が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 7 ユーザ名の横に ✓ が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 8 ジョブのタイプまたはジョブ名の横に ✓ が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。
ジョブ名を選択した場合は、59 ページの手順 11 に進みます。
- 9 ジョブのタイプを選択したら、キーパッドを使用して暗証番号を入力します。
無効な暗証番号を入力すると、[無効な暗証番号]画面が表示されます。
 - 暗証番号を再度入力するには、[再試行]の横に ✓ が表示されてから、 を押します。
 - 暗証番号をキャンセルするには、[キャンセル]の横に ✓ が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 10 印刷するジョブの横に ✓ が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 11 印刷部数の横に ✓ が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。
メモ： 必要に応じて、キーパッドを使用して部数を入力します。

Macintosh の場合

- 1 ドキュメントを開いて「ファイル」→「プリント」の順に選択します。
必要に応じて、左端の三角形をクリックすると、さらにオプションが表示されます。
- 2 印刷オプションのポップアップメニューから「**Job Routing (ジョブ振分け)**」を選択します。
- 3 ジョブの種類(コンフィデンシャル、予約、繰り返し、確認、プロファイル、キオスクから入手したフォーム、ブックマーク、パークジョブ)を選択し、ユーザ名を割り当てます。コンフィデンシャルジョブの場合は、4桁の暗証番号も入力します。
- 4 「**プリント**」をクリックします。ジョブはプリンタの操作パネルから印刷します。
- 5 プリンタ操作パネルで、[**保持されたジョブ**]の横に ✓ が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 6 ユーザ名の横に ✓ が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 7 ジョブの横に ✓ が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 8 コンフィデンシャルジョブの場合は、数値キーパッドを使用して暗証番号を入力します。
無効な暗証番号を入力すると、「無効な暗証番号」画面が表示されます。
 - 暗証番号を再度入力するには、[**再試行**]の横に ✓ が表示されてから、 を押します。
 - 暗証番号をキャンセルするには、[**キャンセル**]の横に ✓ が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 9 印刷するジョブの横に ✓ が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。

情報ページを印刷する

これらのページの印刷の詳細については 30 ページの「メニュー設定ページを印刷する」および 30 ページの「ネットワーク設定ページを印刷する」を参照してください。

フォントのサンプルリストを印刷する

プリンタで現在使用可能なフォントを印刷するには、以下の手順に従います。

- 1 プリンタの電源が入った状態で、「**準備完了**」と表示されていることを確認します。
- 2 プリンタのコントロールパネルから  を押します。
- 3 ✓ [レポート] が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 4 ✓ [フォント一覧を印刷] が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 5 [PCL フォント] または [PostScript フォント] の横に ✓ が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。
フォントのサンプルリストの印刷が終了すると、[準備完了]と表示されます。

ディレクトリリストを印刷する

ディレクトリリストには、フラッシュメモリに保存されているリソースが表示されます。

- 1 プリンタの電源が入った状態で、「準備完了」と表示されていることを確認します。
- 2 プリンタの操作パネルで  を押します。
- 3 「レポート」の横に ✓ が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 4 「ファイルディレクトリ」の横に ✓ が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。
ディレクトリリストの印刷が終了すると、「準備完了」と表示されます。

印刷品質テストページを印刷する

印刷品質に関する問題を特定するには、印刷品質テストページを印刷します。

- 1 プリンタの電源を切ります。
- 2  と右矢印ボタンを押しながらプリンタの電源を入れます。
- 3 時計が表示されたらボタンを放し、[構成設定メニュー]が表示されるのを待ちます。
- 4 ✓ [印刷品質ページ]が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。
印刷品質テストページが印刷されます。
- 5 ✓ [設定メニューを終了]が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。
[プリンタのリセット]と短く表示されてから、[準備完了]と表示されます。

印刷ジョブを取り消す

プリンタの操作パネルから印刷ジョブをキャンセルする

ジョブが書式設定中か印刷中の場合は、画面の最初の行に「ジョブを削除」と表示されます。

- 1 [キャンセル]の横に ✓ が表示されるまで矢印ボタンを押します。
ジョブのリストが表示されます。
- 2 取り消すジョブの横に ✓ が表示されるまで矢印ボタンを押してから、 を押します。

メモ: 印刷ジョブが送信された後でジョブを簡単に取り消すには、 を押します。[停止]画面が表示されます。[ジョブを削除]の横に ✓ が表示されるまで矢印ボタンを押してから、 を押します。

コンピュータから印刷ジョブをキャンセルする

印刷ジョブをキャンセルするには、以下のいずれかの手順を実行します。

Windows ユーザの場合

- 1  をクリックするか、[スタート]をクリックして[ファイル名を指定して実行]をクリックします。
- 2 [検索開始]ボックスまたは[実行]ボックスに「プリンタの制御」と入力します。

3 **Enter** キーを押すか、**[OK]**をクリックします。

プリンタフォルダが開きます。

4 プリンタアイコンをダブルクリックします。

5 キャンセルするジョブを選択します。

6 キーボードの **Delete** キーを押します。

Windows のタスクバーから：

印刷ジョブを送信すると、小さなプリンタアイコンがタスクバーの右側に表示されます。

1 プリンタアイコンをダブルクリックします。

プリンタウィンドウに印刷ジョブのリストが表示されます。

2 キャンセルするジョブを選択します。

3 キーボードの **Delete** キーを押します。

Macintosh ユーザの場合：

Mac OS X バージョン 10.5 以降の場合：

1 アップルメニューから、**[システム環境設定]**を選択します。

2 **[プリントとファクス]**で、プリンタアイコンをダブルクリックします。

3 プリンタウィンドウから、キャンセルするジョブを選択します。

4 ウィンドウ上部のアイコンバーから**[Delete (削除)]**アイコンをクリックします。

Mac OS X バージョン 10.4 以前：

1 **[移動]**メニューから、**[アプリケーション]**を選択します。

2 **[ユーティリティ]**をダブルクリックし、**[プリントセンター]**または**[プリンタ設定ユーティリティ]**をダブルクリックします。

3 プリンタアイコンをダブルクリックします。

4 プリンタウィンドウから、キャンセルするジョブを選択します。

5 ウィンドウ上部のアイコンバーから**[Delete (削除)]**アイコンをクリックします。

紙づまりを除去する

適切な用紙および専用紙を選択して正しくセットすれば、ほとんどの紙詰りを防ぐことができます(⇒「63 ページの「紙づまりを防ぐ」)。紙づまりが発生した場合は、この章に示されている手順に従ってください。

警告！破損の恐れあり：紙づまりを取り除くのに工具を使用しないでください。工具を使用するとフューザが損傷するおそれがあります。

紙づまりのメッセージを解決するには、用紙経路全体から紙づまりを除去してから  を押してメッセージを消去し、印刷を再開します。[紙づまり後の処理]が[オン]または[自動]に設定されている場合、プリンタは紙づまりが発生したページを新しく 1 部印刷します。ただし、[自動]に設定されていてもページの印刷が保証されるわけではありません。

メモ：[紙づまり後の処理]の出荷時の標準設定は[自動]です。紙づまりが発生したページは、ページの保持に必要なメモリが他の印刷タスクで必要とされない場合に限り、再印刷されます。

紙づまりを防ぐ

以下の事項に従うことで紙づまりを防ぐことができます。

用紙カセットに関する推奨事項

- 用紙が用紙カセットに水平に置かれていることを確認する。
- 印刷中は用紙カセットを取り外さない。
- 印刷中は用紙カセットに用紙をセットしない。印刷前に用紙をセットするか、用紙をセットするよう指示が表示されるまで待ちます。
- セットする用紙の量が多すぎないようにする。重ねた用紙の高さが、設定されている高さ制限を超えないようにしてください。
- 用紙カセットまたは手差しフィーダのガイドが正しい位置にあり、用紙または封筒をきつく固定していないことを確認する。
- 用紙をセットしたら用紙カセットをしっかり押し込む。

用紙に関する推奨事項

- 推奨用紙または専用紙のみを使用する
- しわ、折り目のある用紙、湿っている用紙、曲がっている用紙はセットしない。
- ほぐしたり、パラパラめくったり、端を揃えたりしてから用紙をセットする。

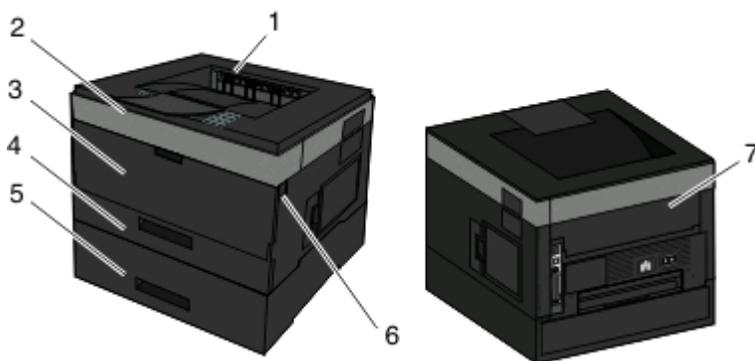


- 手で切った用紙は使用しない。
- 用紙のサイズ、重さ、タイプが異なる用紙を 1 つのカセットにセットしない。

- プリンタ操作パネルメニューで、用紙サイズと用紙タイプがすべて正しく設定されていることを確認する。
- メーカーが推奨する方法で用紙を保管する。

紙づまり箇所アクセスする

紙づまり箇所へアクセスするには、ドアを開いてカセットを取り外します。以下の図に、紙づまりする可能性のある場所を示します。



アクセス箇所	説明
1	標準排紙トレイ
2	前面ドア
3	多目的フィーダドア
4	標準カセット(カセット 1)
5	オプションカセット(カセット 2)
6	ボタンを押して、前面ドアを開きます。このドアの中には、トナーカートリッジと感光体キットを格納したユニットがあります。
7	背面ドア

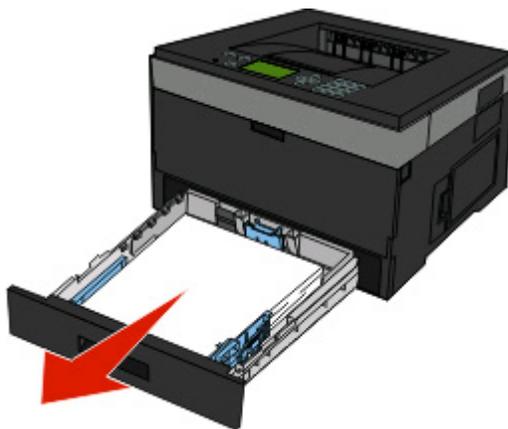
紙づまりメッセージの番号と紙づまり箇所へアクセスする方法

紙づまり番号	紙づまり箇所へアクセスする方法
200	以下の方法をいくつか試します。 <ul style="list-style-type: none"> • カセット 1 を取り外します。 • 前面ドアを開いてから、感光体キットを取り外します。
201	前面ドアを開いてから、感光体キットを取り外します。
202	前面ドアを開いてから、背面ドアを開きます。
231	前面ドアを開いてから、背面ドアを開きます。 メモ: カセット 1 を取り外し、レバーを押し下げても紙づまり箇所へアクセスできます。
233	カセット 1 を取り外して、レバーを押し下げます。 メモ: 前面ドアを開いてから、背面ドアを開く方法でも紙づまり箇所へアクセスできます。

紙づまり番号	紙づまり箇所にアクセスする方法
234	以下の方法をいくつか試します。 <ul style="list-style-type: none"> • 前面ドアを開いてから、背面ドアを開きます。 • カセット 1 を取り外して、レバーを押し下げます。
235	標準排紙トレイから紙づまりを取り除きます。
242	カセット 2 を取り外します。
251	以下の方法をいくつか試します。 <ul style="list-style-type: none"> • 多目的フィーダから用紙が見える場合は、多目的フィーダの前面から用紙をゆっくりと引き出します。 • 用紙が見えない場合は、前面ドアを開いてからユニットを取り外します。プリンタの前面にあるフラップを持ち上げ、つまった用紙を取り除きます。

200 紙づまり

1 プリンタからカセットを取り外します。



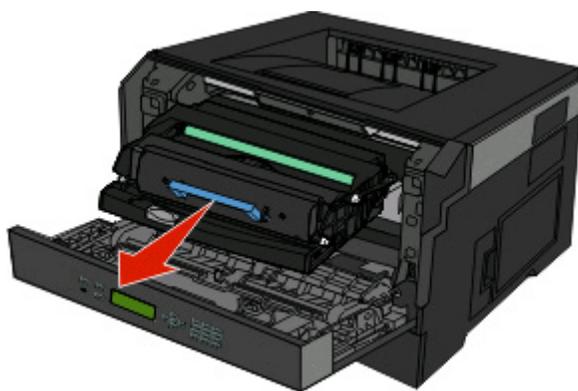
2 ここで紙づまりが見える場合は取り除きます。



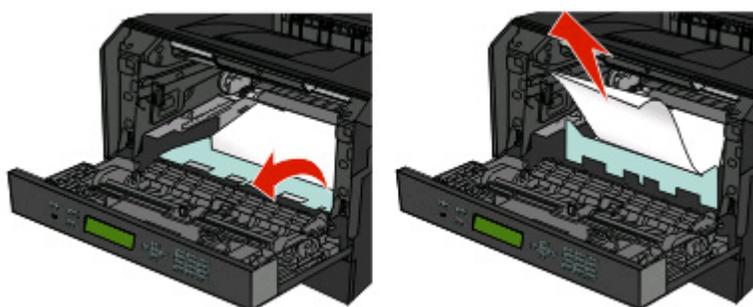
3 紙づまりが見えない場合は、前面ドアを開いてから、感光体キットとトナーカートリッジ(ユニット)を取り外します。

メモ: 感光体キットとトナーカートリッジが一体になっている場合は、ユニットと言います。

紙づまりを除去する



4 プリンタ前面にあるフラップを持ち上げ、つまった用紙を取り除きます。



5 ユニットの位置を合わせて挿入します。

6 前面ドアを閉じます。

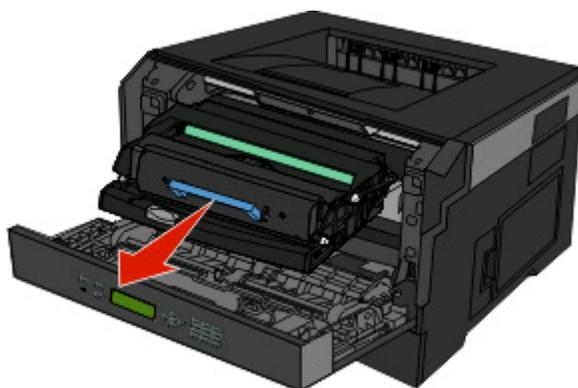
7 カセットを挿入します。

8  を押します。

201 紙づまり

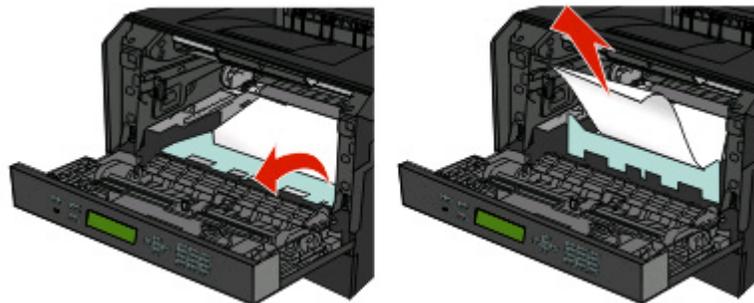
 **危険！表面は高温です：**フューザとプリンタ内部でフューザに近い部分は高温になっている場合があります。高温になったコンポーネントで火傷などを負わないように、表面が冷えてからここにある用紙を取り除いてください。

1 前面ドアを開き、ユニットを取り外します。



紙づまりを除去する

2 プリンタの前面にあるフラップを持ち上げ、つまった用紙を取り除きます。



3 ユニットの位置を合わせて挿入します。

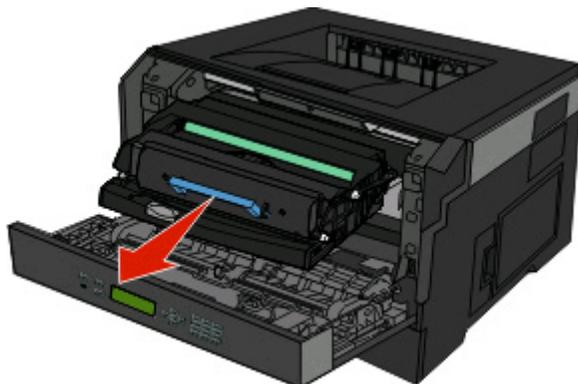
4 前面ドアを閉じます。

5  を押します。

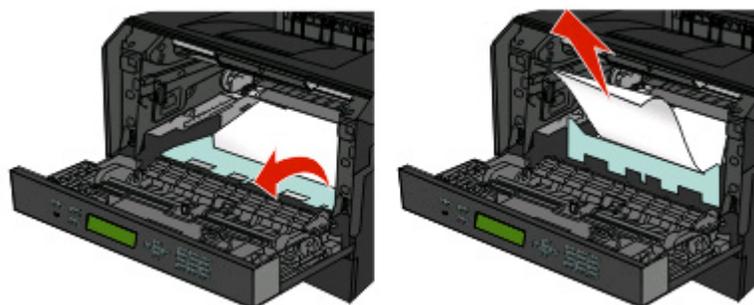
202 紙づまり

 **危険！表面は高温です：**フューザとプリンタ内部でフューザに近い部分は高温になっている場合があります。高温になったコンポーネントで火傷などを負わないように、表面が冷えてからここにある用紙を取り除いてください。

1 前面ドアを開き、ユニットを取り外します。



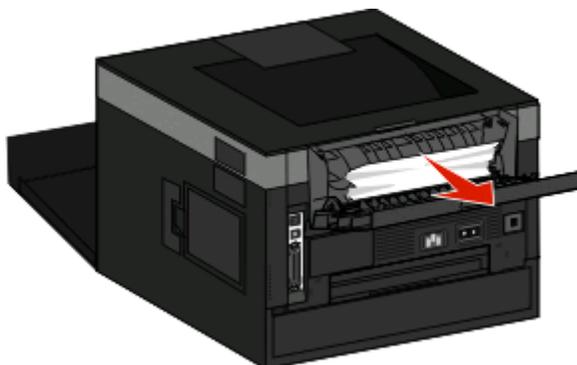
2 プリンタの前面にあるフラップを持ち上げ、つまった用紙を取り除きます。



3 背面ドアを開きます。



4 紙づまりを除去します。



5 背面ドアを閉じます。

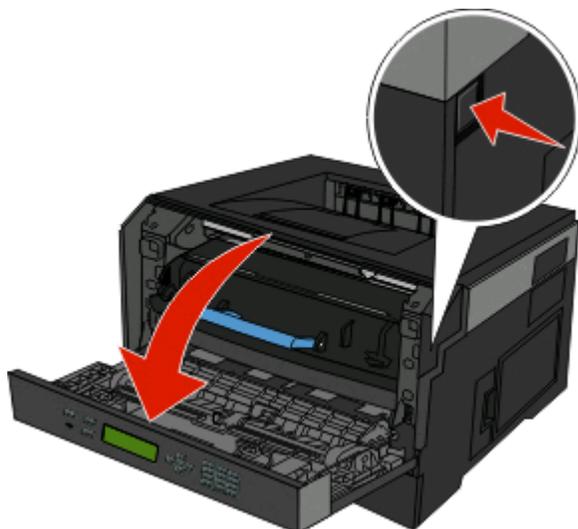
6 前面ドアを閉じます。

7  を押します。

231 紙づまり

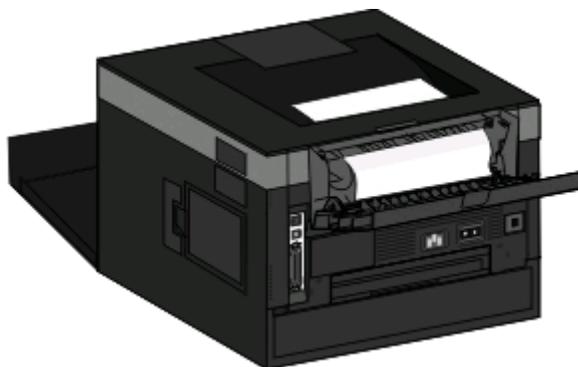
危険！表面は高温です： フューザとプリンタ内部でフューザに近い部分は高温になっている場合があります。高温になったコンポーネントで火傷などを負わないように、表面が冷えてからここにある用紙を取り除いてください。

1 前面ドアを開きます。



2 背面ドアを開きます。

3 紙づまりを除去します。



4 背面ドアを閉じます。

紙づまりを除去する

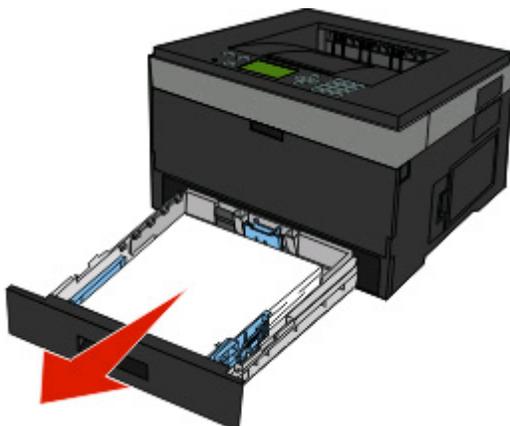
5 前面ドアを閉じます。

6  を押します。

紙づまりを除去できない場合は、70 ページの「233 紙づまり」の手順に従います。

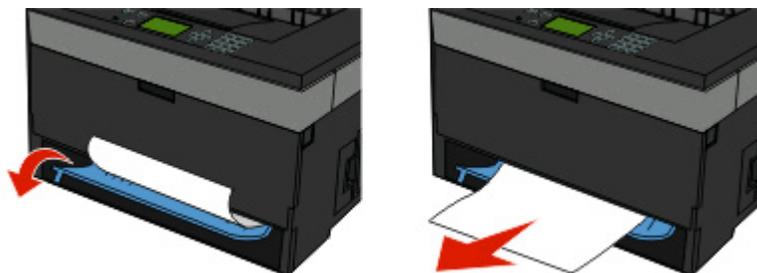
233 紙づまり

1 プリンタからカセットを取り外します。



2 図に示されているレバーの位置を確認します。レバーを引き下げて、紙づまりを除去します。

3 両面印刷経路から、つまった用紙を引き出します。



4 カセットを挿入します。

5  を押します。

紙づまりを除去できない場合は、69 ページの「231 紙づまり」の手順に従います。

234 紙づまり

プリンタの電源を入れたときに、プリンタの両面印刷経路で 1 枚または複数枚の紙づまりが発生することがあります。紙づまりの位置を確認して、つまった用紙を取り除くには、以下のすべての手順を実施します。

- 69 ページの「231 紙づまり」
- 70 ページの「233 紙づまり」

235 紙づまり

両面印刷でサポートされていない用紙サイズを使用した両面印刷ジョブがプリンタに送信されると、用紙が標準排紙トレイでつまります。

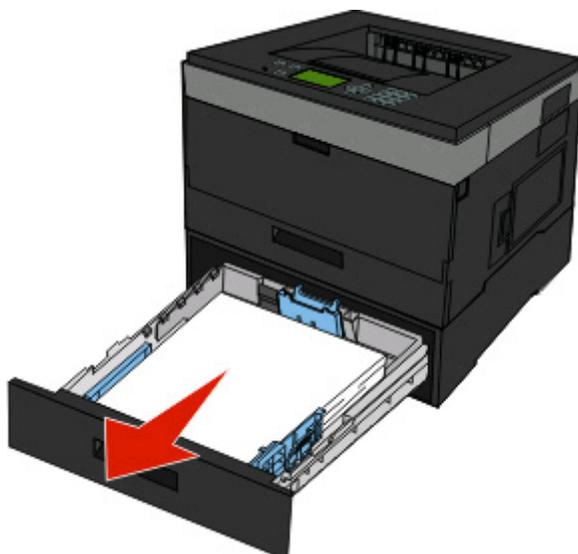
- 1 紙づまりを解決するには、つまった用紙を標準排紙トレイからゆっくり引き出します。



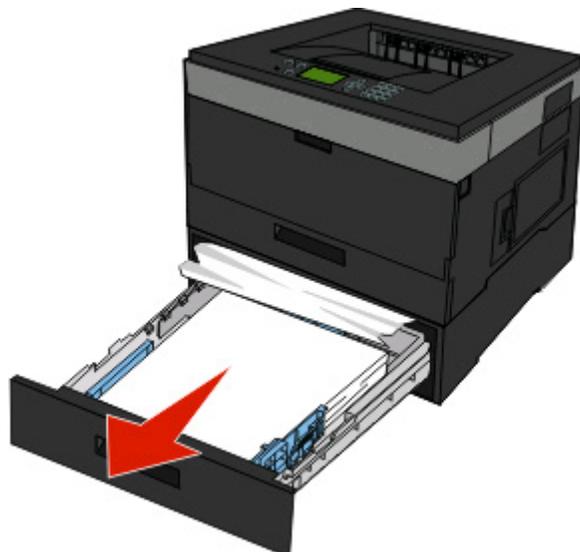
- 2  を押します。

242 紙づまり

- 1 プリンタからオプションのカセットを取り外します。



2 紙づまりを除去します。

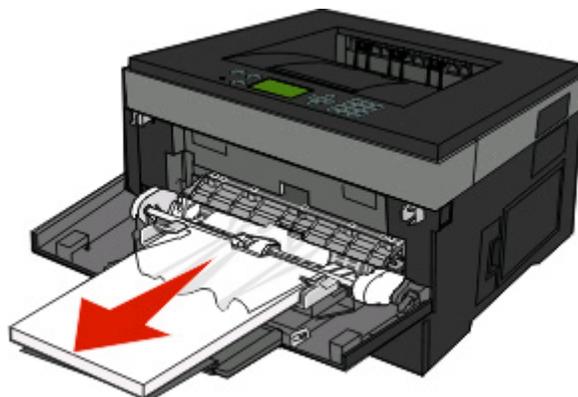


3 オプションのカセットを挿入します。

4  を押します。

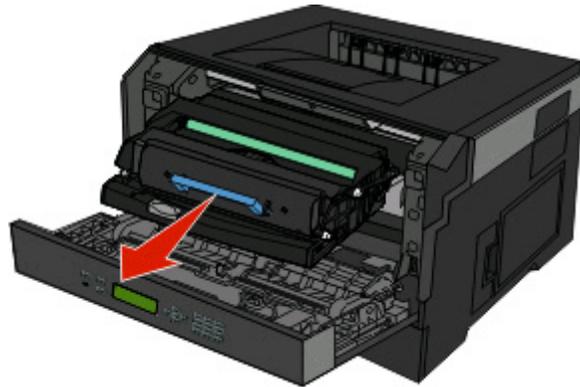
251 紙づまり

1 枚の用紙または専用紙が多目的フィーダから完全に取り込まれませんでした。用紙の一部がまだ見えることがあります。見える場合、つまった用紙を多目的フィーダの前面からゆっくりと引き出します。

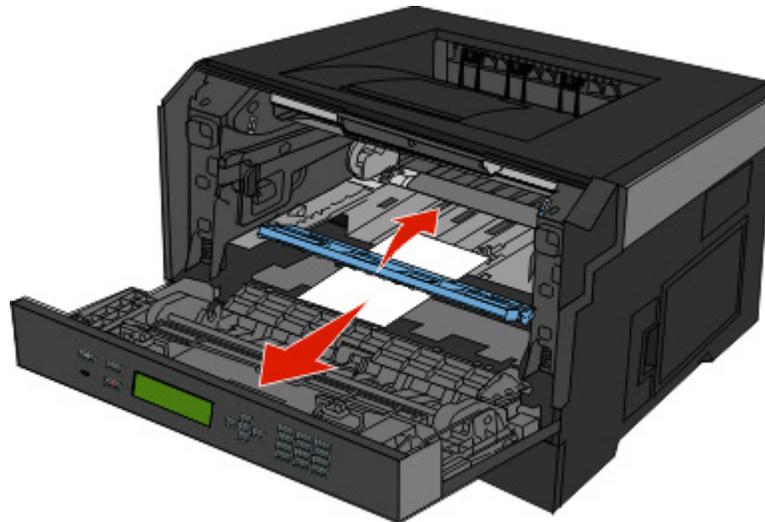


用紙が見えない場合は、以下の手順に従います。

1 前面ドアを開き、ユニットを取り外します。



2 プリンタの前面にあるフラップを持ち上げ、つまった用紙の短い辺をつかんで取り除きます。



3 ユニットの位置を合わせて挿入します。

4 前面ドアを閉じます。

5  を押します。

プリンタのメニューについて

メニュー一覧

プリンタの設定を簡単に変更するための様々なメニューとメニュー項目が用意されています。

用紙メニュー	レポート	ネットワークポート
標準設定給紙源	メニュー設定印刷	有効な NIC
用紙 サイズ/タイプ	デバイス統計	ネットワークメニュー
多目的フィーダ設定	ネットワーク設定	USB メニュー
代替サイズ	プロファイル一覧	パラレルメニュー
用紙表面粗さ	NetWare 設定ページ	SMTP メニュー
用紙重さ	フォント一覧を印刷	
用紙セット方法	ファイルディレクトリを印刷	
ユーザ定義紙タイプ	備品レポート	
グローバル設定		

セキュリティ	設定
その他	一般設定
コンフィデンシャル印刷	セットアップ項目
セキュリティ監査ログ	仕上げメニュー
日時設定	印刷品質メニュー
	ユーティリティメニュー
	XPS メニュー
	PDF メニュー
	PostScript メニュー
	PCL メニュー
	HTML メニュー
	イメージメニュー

[用紙]メニュー

[標準設定給紙源]メニュー

メニュー項目	説明
標準設定給紙源 カセット<x> 多目的フィーダ 手差し用紙 手差し封筒	すべての印刷ジョブに対する標準設定の給紙源を指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none">メニュー設定に[多目的フィーダ]を表示するには、[用紙]メニューで、[多目的フィーダ設定]を[カセット]に設定する必要があります。出荷時の標準設定は[カセット 1 (標準カセット)]です。メニュー設定には、取り付けられている給紙源しか表示されません。印刷ジョブで選択した給紙源は、その印刷ジョブの間は[標準設定給紙源]より優先されます。同じ大きさと種類の用紙を 2 つのカセットにセットし、[用紙の大きさ]と[用紙の種類]設定をその用紙に一致させると、これらのカセットは自動的にリンクされます。一方のカセットが空になると、リンクされているカセットでジョブが印刷されます。

[用紙サイズ/タイプ]メニュー

メニュー項目	説明
カセット<x>サイズ A4 A5 A6 JIS B5 エグゼクティブ フォリオ リーガル レター Oficio(メキシコ) ステートメント ユニバーサル	各カセットにセットした用紙のサイズを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none">米国の出荷時標準設定は[レター]です。米国以外の出荷時標準設定は[A4]です。同じサイズとタイプの用紙を 2 つのカセットにセットし、[用紙サイズ]と[用紙のタイプ]設定をその用紙に一致させると、これらのカセットは自動的にリンクされます。多目的フィーダもリンクすることができます。一方のカセットが空になると、リンクされているカセットから給紙されてジョブが印刷されます。A6 サイズの用紙はカセット 1 および多目的フィーダでのみサポートされます。

メモ: このメニューには、取り付けられているカセットとフィーダのみが表示されます。

メニュー項目	説明
カセット< x >タイプ 普通紙 厚紙 OHP フィルム 再生紙 ラベル ボンド紙 レターヘッド紙 プレプリント紙 色付き紙 軽量紙 重量紙 ラフ/コットン紙 ユーザ定義タイプ < x >	各カセットにセットした用紙のタイプを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • [カセット 1]の出荷時標準設定は[普通紙]です。その他のカセットの出荷時標準設定は[ユーザー定義種 < x >]です。 • ユーザーが定義した名前がある場合は、[ユーザ定義タイプ < x >]に代わってその名前が表示されます。 • このメニュー項目を使用して、自動カセットリンクを設定します。
手差しサイズ A4 A5 A6 エグゼクティブ フォリオ JIS B5 リーガル レター Oficio(メキシコ) ステートメント ユニバーサル	多目的フィーダで手差しでセットする用紙のサイズを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 米国の出荷時標準設定は[レター]です。米国以外の出荷時標準設定は[A4]です。 • このメニュー項目は、[多目的フィーダ]が[手動]に設定されている場合のみ適用されます。[用紙]メニューで、多目的フィーダを[手動]に設定する必要があります。
メモ: このメニューには、取り付けられているカセットとフィーダのみが表示されます。	

メニュー項目	説明
多目的フィーダサイズ A4 A5 A6 エグゼクティブ フォリオ JIS B5 リーガル レター Oficio(メキシコ) ステートメント ユニバーサル 7 3/4 封筒 9 封筒 10 封筒 C5 封筒 B5 封筒 DL 封筒 その他の封筒	多目的フィーダにセットした用紙のサイズを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 米国の出荷時標準設定は[レター]です。米国以外の出荷時標準設定は[A4]です。 • このメニュー項目は、[多目的フィーダ]が[カセット]に設定されている場合のみ適用されます。[用紙]メニューで、多目的フィーダを[カセット]に設定する必要があります。 • 多目的フィーダでは、用紙のサイズが自動で検知されません。用紙のサイズを設定する必要があります。
多目的フィーダタイプ 普通紙 厚紙 OHP フィルム 再生紙 ラベル ボンド紙 封筒 表面の粗い封筒 レターヘッド紙 プレプリント紙 色付き紙 軽量紙 重量紙 ラフ/コットン紙 ユーザ定義タイプ < x >	多目的フィーダにセットした用紙のタイプを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時の標準設定は[普通紙]です。 • メニュー項目に[多目的フィーダ]を表示するには、[用紙]メニューで、[多目的フィーダ設定]を[カセット]に設定する必要があります。
メモ: このメニューには、取り付けられているカセットとフィーダのみが表示されます。	

メニュー項目	説明
手差し用紙タイプ 普通紙 厚紙 OHP フィルム 再生紙 ラベル ボンド紙 レターヘッド紙 プレプリント紙 色付き紙 軽量紙 重量紙 ラフ/コットン紙 ユーザ定義タイプ < x >	多目的フィーダに手動でセットする用紙のタイプを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[普通紙]です。 メニュー項目に[手差し用紙]を表示するには、[用紙]メニューで、[手差し用紙]を[手動]に設定する必要があります。
手差し封筒サイズ 7 3/4 封筒 9 封筒 10 封筒 C5 封筒 B5 封筒 DL 封筒 その他の封筒	多目的フィーダで手差しでセットする封筒のサイズを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 米国の出荷時標準設定は[10 封筒]です。米国以外の出荷時標準設定は[DL 封筒]です。 このメニュー項目は、[多目的フィーダ]が[手動]に設定されている場合のみ適用されます。[用紙]メニューで、多目的フィーダを[手動]に設定する必要があります。
手差し封筒タイプ 封筒 ユーザ定義タイプ < x >	多目的フィーダに手動でセットする封筒のタイプを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[封筒]です。 このメニュー項目は、[多目的フィーダ]が[手動]に設定されている場合のみ適用されます。[用紙]メニューで、多目的フィーダを[手動]に設定する必要があります。
メモ: このメニューには、取り付けられているカセットとフィーダのみが表示されます。	

[多目的フィーダ設定]メニュー

メニュー項目	説明
多目的フィーダ設定 カセット 手動	多目的フィーダから用紙が選択されるタイミングを設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[カセット]です。 [カセット]設定では、多目的フィーダが自動給紙源として設定されます。 [手差し]を選択すると、多目的フィーダは手差しの印刷ジョブでのみ使用できます。

[代替サイズ]メニュー

メニュー項目	説明
代替サイズ オフ ステートメント/A5 レター/A4 一覧の全て	<p>要求したサイズ用の紙を使用できない場合に代替で使用する用紙のサイズを指定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[一覧の全て]です。使用可能な代替サイズの用紙がすべて使用されます。 [オフ]に設定した場合は、代替サイズの用紙は使用されません。 代替サイズを設定すると、ジョブの印刷中に「用紙を変更」メッセージが表示されません。

[用紙表面粗さ]メニュー

メニュー項目	説明
普通紙の粗さ 滑らか 普通 粗い	<p>特定のカセットにセットした用紙の相対的な粗さを指定します。</p> <p>メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。</p>
厚紙の粗さ 滑らか 普通 粗い	<p>特定のカセットにセットした厚紙の相対的な粗さを指定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[普通]です。 この設定は、厚紙がサポートされている場合のみ表示されます。
OHP フィルム粗さ 滑らか 普通 粗い	<p>特定のカセットにセットした OHP フィルムの相対的な粗さを指定します。</p> <p>メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。</p>
再生紙の粗さ 滑らか 普通 粗い	<p>特定のカセットにセットした再生紙の相対的な粗さを指定します。</p> <p>メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。</p>
ラベルの粗さ 滑らか 普通 粗い	<p>特定のカセットにセットしたラベルの相対的な粗さを指定します。</p> <p>メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。</p>
ボンド紙の粗さ 滑らか 普通 粗い	<p>特定のカセットにセットしたボンド紙の相対的な粗さを指定します。</p> <p>メモ: 出荷時の標準設定は[粗い]です。</p>
封筒の粗さ 滑らか 普通 粗い	<p>特定のカセットにセットした封筒の相対的な粗さを指定します。</p> <p>メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。</p>

メニュー項目	説明
表面の粗い封筒の粗さ 粗い	特定のカセットにセットした封筒の相対的な粗さを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[粗い]です。
レターヘッド粗さ 滑らか 普通 粗い	特定のカセットにセットしたレターヘッド紙の相対的な粗さを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。
プレプリント粗さ 滑らか 普通 粗い	特定のカセットにセットしたプレプリント紙の相対的な粗さを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。
色付き紙の粗さ 滑らか 普通 粗い	特定のカセットにセットした色付き紙の相対的な粗さを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。
軽量紙の粗さ 滑らか 普通 粗い	特定のカセットにセットした用紙の相対的な粗さを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。
重量紙の粗さ 滑らか 普通 粗い	特定のカセットにセットした用紙の相対的な粗さを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。
ラフ/コットンの粗さ 粗い	特定のカセットにセットした用紙の相対的な粗さを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[粗い]です。
ユーザー定義< x >粗さ 滑らか 普通 粗い	特定のカセットにセットしたユーザー定義用紙の相対的な粗さを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時の標準設定は[普通]です。 • この設定は、ユーザー定義のタイプがサポートされている場合のみ表示されます。

[用紙重さ(厚さ)]メニュー

メニュー項目	説明
普通紙の重さ 軽い 普通 重い	特定のカセットにセットした用紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。
厚紙の重さ 軽い 普通 重い	特定のカセットにセットした厚紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。

メニュー項目	説明
OHP フィルム重さ 軽い 普通 重い	特定のカセットにセットした OHP フィルムの相対的な重さを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。
再生紙の重さ 軽い 普通 重い	特定のカセットにセットした再生紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。
ラベルの重さ 軽い 普通 重い	特定のカセットにセットしたラベルの相対的な重さを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。
ポンド紙の重さ 軽い 普通 重い	特定のカセットにセットした用紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。
封筒の重さ 軽い 普通 重い	特定のカセットにセットした封筒の相対的な重さを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。
表面の粗い封筒の重さ 軽い 普通 重い	特定のカセットにセットした表面の粗い封筒の相対的な重さを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。
レターヘッド重さ 軽い 普通 重い	特定のカセットにセットした用紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。
プレプリント重さ 軽い 普通 重い	特定のカセットにセットした用紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。
色付き紙の重さ 軽い 普通 重い	特定のカセットにセットした用紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。
軽量紙の重さ 軽い	特定のカセットにセットした用紙の相対的な重さを指定します。
重量紙の重さ 重い	特定のカセットにセットした用紙の相対的な重さを指定します。

メニュー項目	説明
ラフ/コットンの重さ 軽い 普通 重い	特定のカセットにセットした用紙の相対的な重さを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[普通]です。
ユーザ定義< x >重さ 軽い 普通 重い	特定のカセットにセットしたユーザ定義用紙の相対的な重さを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時の標準設定は[普通]です。 • この設定は、ユーザー定義のタイプがサポートされている場合のみ表示されます。

[用紙セット方法]メニュー

メニュー項目	説明
再生紙セット中 両面印刷 オフ	用紙のタイプに[再生紙]を指定したすべてのジョブに対して、両面印刷を実行するかどうかを決定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[オフ]です。
ボンド紙 両面印刷 オフ	用紙のタイプで[ボンド紙]を指定したすべてのジョブに対して、両面印刷を実行するかどうかを決定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[オフ]です。
レターヘッドセット中 両面印刷 オフ	用紙のタイプに[レターヘッド]を指定したすべてのジョブに対して、両面印刷を実行するかどうかを決定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[オフ]です。
プレプリントセット中 両面印刷 オフ	用紙のタイプで[プレプリント]を指定したすべてのジョブに対して、両面印刷を実行するかどうかを決定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[オフ]です。
色付き紙 両面印刷 オフ	用紙のタイプで[色付き紙]を指定したすべてのジョブに対して、両面印刷を実行するかどうかを決定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[オフ]です。
軽量紙セット中 両面印刷 オフ	用紙のタイプで[軽量紙]を指定したすべてのジョブに対して、両面印刷を実行するかどうかを決定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[オフ]です。
重量紙セット中 両面印刷 オフ	用紙のタイプで[重量紙]を指定したすべてのジョブに対して、両面印刷を実行するかどうかを決定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[オフ]です。
メモ: <ul style="list-style-type: none"> • [印刷プロパティ]で片面印刷を選択していない場合、[両面印刷]を選択すると、すべての印刷ジョブが標準設定で両面印刷になります。 • [両面印刷]を選択すると、すべての印刷ジョブ(片面印刷も含む)が両面印刷ユニットに送られます。 	

メニュー項目	説明
ユーザー定義< x > 両面印刷 オフ	<p>用紙のタイプで[ユーザー定義 < x >]を指定したすべてのジョブに対して、両面印刷を実行するかどうかを決定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[オフ]です。 [ユーザー定義< x >セット中]は、ユーザー定義のタイプがサポートされている場合のみ選択できます。
<p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> [印刷プロパティ]で片面印刷を選択していない場合、[両面印刷]を選択すると、すべての印刷ジョブが標準設定で両面印刷になります。 [両面印刷]を選択すると、すべての印刷ジョブ(片面印刷も含む)が両面印刷ユニットに送られます。 	

[ユーザー定義タイプ]メニュー

メニュー項目	説明
ユーザー定義タイプ< x > 用紙 厚紙 OHP フィルム ラベル 封筒 ラフ/コットン紙	<p>用紙または専用紙を出荷時標準設定の[ユーザー定義タイプ< x >]名、または内蔵 Web サーバまたは MarkVision™ Professional から作成されたユーザー定義名に関連付けます。[ユーザー定義タイプ< x >]に代わって、このユーザー定義名が表示されます。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> [ユーザー定義タイプ]の出荷時標準設定は[用紙]です。 選択したカセットやフィーダから印刷する場合は、ユーザー定義の用紙がその給紙源でサポートされている必要があります。
再生紙 用紙 厚紙 OHP フィルム ラベル 封筒 コットン	<p>他のメニューで[再生紙]設定が選択されている場合、用紙のタイプを指定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[用紙]です。 選択したカセットやフィーダから印刷する場合は、再生紙のタイプがその給紙源でサポートされている必要があります。

[ユニバーサルサイズ設定]メニュー

これらのメニュー項目は、[ユニバーサルの用紙サイズ]の長さ、幅、および給紙方向を指定するために使用されます。[ユニバーサルの用紙サイズ]はユーザー定義の用紙サイズです。このサイズは、他の用紙サイズと共に一覧表示され、同様の設定オプションが用意されています。両面印刷や 1 枚に複数ページを印刷することもできます。

メニュー項目	説明
寸法の単位 インチ ミリ	<p>寸法の単位を指定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> アメリカ合衆国での出荷時には[インチ]に設定されています。 アメリカ合衆国以外での出荷時には[ミリ]に設定されています。

メニュー項目	説明
縦長の用紙幅 3 ~ 14.17 インチ 76 ~ 360 ミリ	縦長の用紙の幅を設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 設定した幅が最大値を超えると、プリンタは可能なかぎり最大の幅で印刷します。 アメリカ合衆国での出荷時には[8.5 インチ]に設定されています。0.01 インチずつ増加させることができます。 アメリカ合衆国以外での出荷時には[216 ミリ]に設定されています。1 ミリずつ増加させることができます。
縦長の用紙長さ 3 ~ 14.17 インチ 76 ~ 360 ミリ	縦長の用紙の長さを設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 設定した長さが最大値を超えると、プリンタは可能なかぎり最大の長さで印刷します。 アメリカ合衆国での出荷時には[14 インチ]に設定されています。0.01 インチずつ増加させることができます。 アメリカ合衆国以外での出荷時には[356 ミリ]に設定されています。1 ミリずつ増加させることができます。
給紙方向 縦方向 横方向	給紙の方向を指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時には[縦方向]に設定されています。 [横方向]は、用紙の最長の辺が、トレイでサポートされている最大幅よりも短い場合に表示されます。

[レポート]メニュー

「レポート」メニュー

レポートを印刷するには、矢印ボタンでレポートのタイプを選択し、 を押します。

メニュー項目	説明
メニュー設定印刷	カセットにセットされている用紙、搭載メモリ、総ページカウント、警報設定、時間切れ設定、プリンタの操作パネルの言語、TCP/IP アドレス、消耗品の状況、ネットワーク接続の状況などの各種情報のレポートを印刷します。
デバイス統計	プリンタの統計情報(消耗品情報や印刷したページの詳細など)に関するレポートを印刷します。
ネットワーク設定	ネットワークプリンタ設定(TCP/IP アドレス情報など)に関するレポートを印刷します。 メモ: このメニュー項目は、ネットワークプリンタ、またはプリントサーバーに接続されているプリンタの場合のみ表示されます。
ネットワーク<x>設定	ネットワークプリンタ設定(TCP/IP アドレス情報など)に関するレポートを印刷します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> このメニュー項目は複数のネットワークオプションが取り付けられている場合のみ選択できます。 このメニュー項目は、ネットワークプリンタ、またはプリントサーバーに接続されているプリンタの場合のみ表示されます。

メニュー項目	説明
プロファイル一覧	プリンタに保存されているプロファイルの一覧を印刷します。
NetWare 設定ページ	ネットワーク設定の NetWare 固有の情報に関するレポートを印刷します。 メモ: このメニュー項目は、内蔵プリントサーバが取り付けられている場合にのみ表示されます。
フォント一覧を印刷 PCL フォント PostScript フォント	現在プリンタに設定されているプリンタ言語で使用できるすべてのフォントに関するレポート (英語) を印刷します。 メモ: PCL、PostScript の各エミュレーションの一覧を別々に印刷できます。各エミュレーションレポートには、印刷サンプルと、各言語で使用できるフォントの情報が含まれています。
ファイルディレクトリを印刷	オプションのフラッシュメモリカードに保存されているリソースの一覧を印刷します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 「ジョブバッファサイズ」は 100% に設定する必要があります。 オプションのフラッシュメモリは適切に取り付けられていて正常に動作している必要があります。
備品レポート	プリンタのシリアル番号やモデル名を含む製品情報に関するレポートを印刷します。レポートにはテキストと、スキャンして備品データベースに登録できる UPC バーコードが含まれます。

[ネットワーク/ポート]メニュー

[アクティブ NIC]メニュー

メニュー項目	説明
アクティブ NIC 自動 <使用可能なネットワークカードのリスト>	メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は「Auto(自動)」です。 このメニュー項目は、オプションのハードディスクが取り付けられている場合のみ表示されます。

[標準ネットワーク]または[ネットワーク< x >]メニュー

メニュー項目	説明
PCL SmartSwitch オン オフ	印刷ジョブによって PCL エミュレーションが要求される場合、標準のプリンタ言語に関係なく、プリンタが自動的に PCL エミュレーションに切り替わるように設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[オン]です。 [オフ]に設定すると、プリンタは受信データを検査しません。 [PS SmartSwitch]が[オン]に設定されている場合に[オフ]に設定すると、プリンタは PostScript エミュレーションを使用します。[PS SmartSwitch]が[オフ]に設定されている場合、[セットアップ項目]で指定した標準のプリンタ言語を使用します。

メニュー項目	説明
PS SmartSwitch オン オフ	印刷ジョブによって PS エミュレーションが要求される場合、標準のプリンタ言語に関係なく、プリンタが自動的に PS エミュレーションに切り替わるように設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時の標準設定は[オン]です。 • [オフ]に設定すると、プリンタは受信データを検査しません。 • [PCL SmartSwitch]が[オン]に設定されている場合に[オフ]に設定すると、プリンタは PCL エミュレーションを使用します。[PCL SmartSwitch]が[オフ]に設定されている場合、[セットアップ項目]で指定した標準のプリンタ言語を使用します。
NPA モード オフ 自動	NPA プロトコルで定義されている規則に従って、双方向通信を行うのに必要な特別な処理を実行するようにプリンタを設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時の標準設定は[自動]です。 • プリンタの操作パネルでこの設定を変更し、メニューを終了すると、プリンタが再起動します。メニュー項目が更新されます。
ネットワークバッファ 自動 3 K ~ <許容最大サイズ>	ネットワーク入力バッファのサイズを設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時の標準設定は[自動]です。 • 値は 1 K 単位で変更できます。 • 設定可能な最大サイズは、プリンタのメモリ容量、他のリンクバッファのサイズ、[リソース保存]が[オン]と[オフ]のどちらに設定されているかによって異なります。 • [ネットワークバッファ]の最大サイズを増加させるには、パラレルおよび USB の各バッファを無効にするかサイズを縮小します。 • プリンタの操作パネルでこの設定を変更し、メニューを終了すると、プリンタが再起動します。メニュー項目が更新されます。
Mac バイナリ PS オン オフ 自動	Macintosh バイナリ形式の PostScript 印刷ジョブを処理するようにプリンタを設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時の標準設定は[自動]です。 • [オフ]に設定すると、標準プロトコルを使用して印刷ジョブをフィルタリングします。 • [オン]に設定すると、RAW バイナリの PostScript 印刷ジョブを処理します。

メニュー項目	説明
標準ネットワーク設定 レポート ネットワークカード TCP/IP IPv6 AppleTalk NetWare ネット< x >設定 レポート ネットワークカード TCP/IP IPv6 Apple Talk NetWare	ネットワーク設定メニューの説明と設定については、以下を参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> • 87 ページの「[レポート]メニュー（[ネットワーク/ポート]メニュー内）」 • 87 ページの「[ネットワークカード]メニュー」 • 88 ページの「[TCP/IP]メニュー」 • 89 ページの「[IPv6]メニュー」 • 89 ページの「[AppleTalk]メニュー」 • 90 ページの「[NetWare]メニュー」

[レポート]メニュー（[ネットワーク/ポート]メニュー内）

[レポート]メニューの項目へは、[ネットワーク/ポート]メニューから以下の手順でアクセスできます：

[ネットワーク/ポート] → [標準ネットワーク] または [ネットワーク< x >] → [標準ネットワークセットアップ] または [ネット< x >設定] → [レポート]

メニュー項目	説明
設定ページを印刷 NetWare 設定ページを印刷	現在のネットワーク設定に関する情報を含むレポートを印刷します。 メモ： <ul style="list-style-type: none"> • 設定ページには、ネットワークプリンタに関する詳細情報（TCP/IP アドレス情報など）が含まれます。 • [NetWare 設定ページ]メニュー項目は、NetWare をサポートするモデルでのみ表示され、NetWare 設定に関する情報を表示します。

[ネットワークカード]メニュー

このメニューは、[ネットワーク/ポート]メニューから使用できます。

[ネットワーク/ポート] → [ネットワークメニュー] → [ネットワーク設定] → [ネットワークカード]

メニュー項目	説明
カードの状況を表示 接続済み 切断	ネットワークカードが接続されているかを確認できます。
カード速度を表示	現在有効になっているネットワークカードの速度を表示します。
ネットワークアドレス UAA LAA	ネットワークアドレスを表示できます

メニュー項目	説明
ジョブタイムアウト 0 ~ 225 秒	ネットワークの印刷ジョブをキャンセルするまでにそのジョブの処理にかかる時間(秒)を設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は 90 秒です。 設定が[0]の場合、タイムアウトが無効になります。 [1]~[9]の値を選択した場合、[10]が設定として保存されます。
バナーページ オン オフ	プリンタでバナーページを印刷できます。 メモ: 出荷時の標準設定は[オフ]です。

[TCP/IP]メニュー

メモ: このメニューは、ネットワーク対応の機種またはプリントサーバーに接続されているプリンタの場合のみ使用できます。

このメニューは、[ネットワーク/ポート]メニューから使用できます。

[ネットワーク/ポート] → [ネットワークメニュー] → [ネットワーク設定] → [TCP/IP]

メニュー項目	説明
有効化 オン オフ	TCP/IP を有効にします。 メモ: 出荷時の標準設定は[オン]です。
ホスト名を表示	現在の TCP/IP ホスト名を表示できます。 メモ: これは、内蔵 Web サーバからのみ変更できます。
IP アドレス	現在の TCP/IP アドレス情報を表示または変更できます。 メモ: IP アドレスを手動で設定すると、[DHCP を有効化]および[自動 IP を有効化]設定はオフに設定されます。また、BOOTP および RARP をサポートするシステムでは[BOOTP を有効化]および[RARP を有効化]がオフに設定されます。
ネットマスク	現在の TCP/IP ネットマスク情報を表示または変更できます。
ゲートウェイ	現在の TCP/IP ゲートウェイ情報を表示または変更できます。
DHCP を有効化 オン オフ	DHCP アドレスおよびパラメータ割り当て設定を指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[オン]です。
RARP を有効化 オン オフ	RARP アドレス割り当て設定を指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[オン]です。
BOOTP を有効化 オン オフ	BOOTP アドレス割り当て設定を指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[オン]です。
自動 IP を有効化 はい いいえ	ゼロ構成ネットワーク設定を指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[はい]です。

メニュー項目	説明
FTP/TFTP を有効化 はい いいえ	内蔵 FTP サーバを有効にして、ファイルをプリンタに転送できるようにします。 メモ: 出荷時の標準設定は[はい]です。
HTTP サーバを有効化 はい いいえ	内蔵の Web サーバ(内蔵 Web サーバ)を有効化します。有効になっている場合、Web ブラウザを使用してリモートからプリンタを監視および管理できます。 メモ: 出荷時の標準設定は[はい]です。
WINS サーバアドレス	現在の WINS サーバアドレスを表示または変更できます。
DNS サーバアドレス	現在の DNS サーバアドレスを表示または変更できます。

[IPv6]メニュー

以下のメニュー項目を使用して、IPv6(Internet Protocol version 6)の情報を表示または設定します。

メモ: このメニューは、ネットワーク対応の機種またはプリントサーバーに接続されているプリンタの場合のみ使用できます。

このメニューは、[ネットワーク/ポート]メニューから使用できます。

[ネットワーク/ポート] → [ネットワークメニュー] → [ネットワーク設定] → [IPv6]

メニュー項目	説明
IPv6 を有効化 オン オフ	プリンタの IPv6 を有効にします。 メモ: 出荷時の標準設定は[オン]です。
自動構成設定 オン オフ	ルーターから送信される自動 IPv6 アドレス構成エントリをネットワークアダプタで受信するかどうかを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[オン]です。
ホスト名を表示 アドレスを表示 ルーター アドレスを表示	現在の設定を表示できます。 メモ: これらの設定は、内蔵 Web サーバからのみ変更できます。
DHCPv6 を有効化 オン オフ	プリンタの DHCPv6 を有効にします。 メモ: 出荷時の標準設定は[オン]です。

[AppleTalk]メニュー

このメニューは、[ネットワーク/ポート]メニューから使用できます。

[ネットワーク/ポート] → [ネットワークメニュー] → [ネットワーク設定] → [AppleTalk]

メニュー項目	説明
有効化 オン オフ	AppleTalk サポートを有効化または無効化します。 メモ: 出荷時の標準設定は[オン]です。

メニュー項目	説明
名前を表示	割り当てられた AppleTalk 名を表示します。 メモ: 名前は、内蔵 Web サーバからのみ変更できます。
アドレスを表示	割り当てられた AppleTalk アドレスを表示します。 メモ: アドレスは、内蔵 Web サーバからのみ変更できます。
ゾーンを設定 ＜ネットワークで使用可能なゾーンの一覧＞	ネットワークで使用可能な AppleTalk ゾーンの一覧を指定します。 メモ: 標準設定は、ネットワークの標準ゾーンです。標準ゾーンが存在しない場合は、「*」マークの付いたゾーンが標準設定です。

[NetWare]メニュー

このメニューは、[ネットワーク/ポート]メニューから使用できます。

[ネットワーク/ポート] → [ネットワークメニュー] → [ネットワーク設定] → [NetWare]

メニュー項目	説明
有効化 はい いいえ	NetWare サポートを有効化または無効化します。 メモ: 出荷時の標準設定は[いいえ]です。
ログイン名を表示	割り当てられた NetWare ログイン名を表示します。 メモ: これは、内蔵 Web サーバからのみ変更できます。
印刷モード	割り当てられた NetWare 印刷モードを表示します。 メモ: これは、内蔵 Web サーバからのみ変更できます。
ネットワーク番号	割り当てられた NetWare ネットワーク番号を表示します。 メモ: これは、内蔵 Web サーバからのみ変更できます。
SAP フレームを選択 Ethernet 802.2 Ethernet 802.3 Ethernet Type II Ethernet SNAP	Ethernet フレームタイプ設定を有効化します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> すべてのメニュー項目で、出荷時の標準設定は[オン]です。 各 Ethernet フレームタイプ設定の値は[オン]と[オフ]です。
パケットバースト はい いいえ	NetWare サーバに対して複数のデータパケットの転送および応答を可能にすることで、ネットワークのトラフィックを軽減します。 メモ: 出荷時の標準設定は[はい]です。
NSQ/GSQ モード はい いいえ	NSQ/GSQ モード設定を指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[はい]です。

USB メニュー

メニュー項目	説明
PCL SmartSwitch オン オフ	<p>USB ポート経由で受信した印刷ジョブによって PCL エミュレーションが要求される場合、標準のプリンタ言語に関係なく、プリンタが自動的に PCL エミュレーションに切り替わるように設定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[オン]です。 [オフ]に設定すると、プリンタは受信データを検査しません。 [PS SmartSwitch]が[オン]に設定されている場合に[オフ]に設定すると、プリンタは PostScript エミュレーションを使用します。[PS SmartSwitch]が[オフ]に設定されている場合、[セットアップ項目]で指定した標準のプリンタ言語を使用します。
PS SmartSwitch オン オフ	<p>USB ポート経由で受信した印刷ジョブによって PS エミュレーションが要求される場合、標準のプリンタ言語に関係なく、プリンタが自動的に PS エミュレーションに切り替わるように設定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[オン]です。 [オフ]に設定すると、プリンタは受信データを検査しません。 [PCL SmartSwitch]が[オン]に設定されている場合に[オフ]に設定すると、プリンタは PCL エミュレーションを使用します。[PCL SmartSwitch]が[オフ]に設定されている場合、[セットアップ項目]で指定した標準のプリンタ言語を使用します。
NPA モード オン オフ 自動	<p>NPA プロトコルで定義されている規則に従って、双方向通信を行うのに必要な特別な処理を実行するようにプリンタを設定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[自動]です。 この設定を変更するとプリンタが再起動します。
USB バッファ 無効 自動 3 K ~ <許容最大サイズ>	<p>USB 入力バッファのサイズを設定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[自動]です。 [無効]に設定すると、ジョブバッファがオフになります。既にディスクにバッファ済みのジョブは、通常の処理が再開される前に印刷されます。 USB バッファサイズの値は、1K 単位で変更できます。 設定可能な最大サイズは、プリンタのメモリ容量、他のリンクバッファのサイズ、[リソース保存]が[オン]と[オフ]のどちらに設定されているかによって異なります。 [USB バッファ]の最大サイズを増加させるには、パラレルおよびネットワークのバッファを無効にするかサイズを縮小します。 この設定を変更するとプリンタが再起動します。

メニュー項目	説明
Mac バイナリ PS オン オフ 自動	Macintosh バイナリ形式の PostScript 印刷ジョブを処理するようにプリンタを設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[自動]です。 [オフ]に設定すると、標準プロトコルを使用して印刷ジョブをフィルタリングします。 [オン]に設定すると、RAW バイナリの PostScript 印刷ジョブを処理します。
ENA アドレス < xxx > . < xxx > . < xxx > . < xxx >	USB ケーブルを使用してプリンタに接続されている外付けプリントサーバのネットワークアドレス情報を設定します。 メモ: このメニュー項目は、プリンタが USB ポート経由で外付けプリントサーバに接続されている場合にのみ使用できます。
ENA ネットマスク < xxx > . < xxx > . < xxx > . < xxx >	USB ケーブルを使用してプリンタに接続されている外付けプリントサーバのネットマスク情報を設定します。 メモ: このメニュー項目は、プリンタが USB ポート経由で外付けプリントサーバに接続されている場合にのみ使用できます。
ENA ゲートウェイ < xxx > . < xxx > . < xxx > . < xxx >	USB ケーブルを使用してプリンタに接続されている外付けプリントサーバのゲートウェイ情報を設定します。 メモ: このメニュー項目は、プリンタが USB ポート経由で外付けプリントサーバに接続されている場合にのみ使用できます。

[パラレル]メニュー

メニュー項目	説明
PCL SmartSwitch オン オフ	USB ポート経由で受信した印刷ジョブによって PCL エミュレーションが要求される場合、標準のプリンタ言語に関係なく、プリンタが自動的に PCL エミュレーションに切り替わるように設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[オン]です。 [オフ]に設定すると、プリンタは受信データを検査しません。 [PS SmartSwitch]が[オン]に設定されている場合に[オフ]に設定すると、プリンタは PostScript エミュレーションを使用します。[PS SmartSwitch]が[オフ]に設定されている場合、[セットアップ項目]で指定した標準のプリンタ言語を使用します。 PCL SmartSwitch は、PostScript レベルがゼロ以外になっている場合のみ表示されます。

メニュー項目	説明
PS SmartSwitch オン オフ	USB ポート経由で受信した印刷ジョブによって PS エミュレーションが要求される場合、標準のプリンタ言語に関係なく、プリンタが自動的に PS エミュレーションに切り替わるように設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時の標準設定は[オン]です。 • [オフ]に設定すると、プリンタは受信データを検査しません。 • [PCL SmartSwitch]が[オン]に設定されている場合に[オフ]に設定すると、プリンタは PCL エミュレーションを使用します。[PCL SmartSwitch]が[オフ]に設定されている場合、[セットアップ項目]で指定した標準のプリンタ言語を使用します。 • PS SmartSwitch は、PostScript レベルがゼロ以外の場合のみ表示されます。
NPA モード オン オフ 自動	NPA プロトコルで定義されている規則に従って、双方向通信を行うのに必要な特別な処理を実行するようにプリンタを設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時の標準設定は[自動]です。 • プリンタの操作パネルでこの設定を変更し、メニューを終了すると、プリンタが再起動します。メニュー項目が更新されます。
パラレルバッファ 無効 自動 3 K ~ <許容最大サイズ>	パラレル入力バッファのサイズを設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時の標準設定は[自動]です。 • [無効]に設定すると、ジョブバッファがオフになります。既にディスクにバッファ済みのジョブは、通常の処理が再開される前に印刷されます。 • パラレルバッファサイズの設定は、1K 単位で変更できます。 • 設定可能な最大サイズは、プリンタのメモリ容量、他のリンクバッファのサイズ、[リソース保存]が[オン]と[オフ]のどちらに設定されているかによって異なります。 • [パラレルバッファ]の最大サイズを増加させるには、USB およびネットワークのバッファを無効にするかサイズを縮小します。 • プリンタの操作パネルでこの設定を変更し、メニューを終了すると、プリンタが再起動します。メニュー項目が更新されます。
詳細ステータス オフ オン	パラレルポート経由の双方向通信を有効にします。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時の標準設定は[オン]です。 • [オフ]に設定すると、パラレルポートネゴシエーションが無効になります。
プロトコル 標準 Fastbytes	パラレルポートプロトコルを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時の標準設定は[Fastbytes]です。これは既存の多くのパラレルポートとの互換性を保つ推奨設定です。 • [標準]に設定すると、パラレルポート通信の問題解決を試行します。

メニュー項目	説明
初期化要求を許可 オン オフ	コンピュータからのプリンタハードウェアの初期化要求をプリンタが受け入れるかどうかを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[オフ]です。 コンピュータは、パラレルポートから初期化信号を送信することによって初期化を要求します。多くのパーソナルコンピュータは、コンピュータの電源を入れるたびに初期化信号を送信します。
パラレルモード 2 オン オフ	パラレルポートのデータをストローブのリーディングエッジまたはトレーリングエッジのどちらでサンプリングするかを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[オン]です。
Mac バイナリ PS オン オフ 自動	Macintosh バイナリ形式の PostScript 印刷ジョブを処理するようにプリンタを設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[自動]です。 [オフ]に設定すると、標準プロトコルを使用して印刷ジョブをフィルタリングします。 [オン]に設定すると、RAW バイナリの PostScript 印刷ジョブを処理します。
パラレル(ENA あり) ENA アドレス ENA ネットマスク ENA ゲートウェイ	<ul style="list-style-type: none"> ENA アドレスでは、パラレルケーブルを使用してプリンタに接続されている外付けプリントサーバのネットワークアドレス情報を設定します。 ENA ネットマスクでは、パラレルケーブルを使用してプリンタに接続されている外付けプリントサーバのネットマスク情報を設定します。 ENA ゲートウェイでは、パラレルケーブルを使用してプリンタに接続されている外付けプリントサーバのゲートウェイ情報を設定します。 メモ: [パラレル(ENA あり)]は、プリンタがパラレルポート経由で外付けプリントサーバに接続されている場合にのみ使用できます。

[SMTP 設定]メニュー

以下のメニューを使用して SMTP サーバを設定します。

メニュー項目	説明
SMTP ゲートウェイ(一次) SMTP ゲートウェイポート(一次) SMTP ゲートウェイ(二次) SMTP ゲートウェイポート(二次)	SMTP サーバとポート情報を指定します。 メモ: 各 SMTP ゲートウェイポートメニュー項目の出荷時標準設定は 25 です。
SMTP タイムアウト 5 ~ 30	サーバが E メールを送信を停止するまでの時間(秒)を指定します メモ: 出荷時の標準設定は 30 秒です。
返信アドレス	サーバ情報を指定します。これは必須項目です。 メモ: このメッセージボックスには 512 文字まで入力できます。

メニュー項目	説明
SSL を使用 無効 交渉 必須	SMTP サーバに接続したときのセキュリティを高めるために SSL を使用するようプリンタを設定します メモ: <ul style="list-style-type: none"> • [SSL を使用]の出荷時標準設定は[無効]です。 • [交渉]設定を使用すると、SSL を使用するかどうかを SMTP サーバ が判断します。
SMTP サーバの認証 なし 標準(簡易) CRAM MD5 ダイジェスト MD5 NTLM Kerberos 5	スキャンから E メール送信の権限に必要なユーザ認証タイプを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[なし]です。
デバイスから送信される E メール なし デバイスの証明書を使用 ユーザから送信される E メール なし デバイスの SMTP 証明書を使用 デバイスユーザ ID デバイスパスワード Kerberos 5 レルム NTLM ドメイン	サーバ情報を指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • このメッセージボックスには 512 文字まで入力できます。 • [デバイスから送信される E メール]および[ユーザから送信される E メール]の出荷時標準設定は[なし]です。

[セキュリティ]メニュー

その他のメニュー

メニュー項目	説明
パネルログイン ログイン失敗 失敗時間枠 ロックアウト時間 ログインタイムアウト	プリンタ操作パネルでログインの失敗を許可する回数と時間枠を制限(この制限を超えるとすべてのユーザがロックアウトされる) メモ: <ul style="list-style-type: none">• [ログイン失敗]には、ログインの失敗を許可する回数を指定します(これを超えるとユーザはロックアウトされる)。設定範囲は 1 ~ 50 です。出荷時標準設定での試行回数は 3 回です。• [失敗時間枠]には、ログインの失敗を許可する時間枠を指定します(これを超えるとユーザはロックアウトされる)。設定範囲は 1 ~ 60 分です。出荷時の標準設定は 5 分です。• [ロックアウト時間]には、ログインの失敗の制限を超えた後にユーザがロックアウトされる時間を指定します。設定範囲は 0 ~ 60 分です。出荷時の標準設定は 5 分です。[0]に設定すると、プリンタはロックアウト時間を設定しません。• [ログインタイムアウト]には、ホーム画面上でプリンタの待機状態がどのくらい継続するとユーザが自動的にログオフされるかを指定します。設定範囲は 1 ~ 900 秒です。出荷時の標準設定は 300 秒です。
リモートログイン ログイン失敗 失敗時間枠 ロックアウト時間 ログインタイムアウト	コンピュータでログインの失敗を許可する回数と時間枠を制限(この制限を超えるとすべてのユーザがロックアウトされる) メモ: <ul style="list-style-type: none">• [ログイン失敗]には、ログインの失敗を許可する回数を指定します(これを超えるとユーザはロックアウトされる)。設定範囲は 1 ~ 50 です。出荷時標準設定での試行回数は 3 回です。• [失敗時間枠]には、ログインの失敗を許可する時間枠を指定します(これを超えるとユーザはロックアウトされる)。設定範囲は 1 ~ 60 分です。出荷時の標準設定は 5 分です。• [ロックアウト時間]には、ログインの失敗の制限を超えた後にユーザがロックアウトされる時間を指定します。設定範囲は 0 ~ 60 分です。出荷時の標準設定は 5 分です。[0]に設定すると、プリンタはロックアウト時間を設定しません。• [ログインタイムアウト]には、ホーム画面上でプリンタの待機状態がどのくらい継続するとユーザが自動的にログオフされるかを指定します。設定範囲は 1 ~ 900 秒です。出荷時の標準設定は 300 秒です。

[コンフィデンシャル印刷]メニュー

メニュー項目	説明
無効暗証許容回数 オフ 2 ~ 10	無効な暗証番号を入力できる回数を制限します。 メモ: <ul style="list-style-type: none">• 出荷時の標準設定は[オフ]です。• 制限回数に達すると、そのユーザ名と暗証番号のジョブは削除されます。

メニュー項目	説明
ジョブ期限切れ オフ 1 時間 4 時間 24 時間 1 週間	コンフィデンシャルジョブが削除されるまでにプリンタ内に残る時間を制限します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[オフ]です。 コンフィデンシャルジョブがプリンタの RAM 上にある間に[ジョブ期限切れ]設定が変更された場合、これらの印刷ジョブの有効期限は新しい標準設定値に変更されません。 プリンタの電源をオフにすると、プリンタの RAM 内にあるコンフィデンシャルジョブはすべて削除されます。

[セキュリティ監査ログ]メニュー

メニュー項目	説明
ログをエクスポート	承認されたユーザはセキュリティログをエクスポートできます。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> プリンタの操作パネルからログをエクスポートするには、プリンタにフラッシュドライブが取り付けられている必要があります。 内蔵 Web サーバから、コンピュータにログをダウンロードできます。
ログを削除 今すぐ削除 削除しない	印刷ジョブの監査レポートを削除するかどうかを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[今すぐ削除]です。

メニュー項目	説明
ログを構成 監査を有効化 はい いいえ リモート Syslog を有効化 いいえ はい リモート Syslog 機能 0 ~ 23 ログ記録するイベントの重大度 0 ~ 7	印刷ジョブの監査ログを作成するかどうかとその方法について指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [監査を有効化]では、イベントをセキュリティ監査ログおよびリモート Syslog に記録するかどうかを指定します。 • [リモート Syslog を有効化]は、記録したイベントをプリンタからリモートサーバに送信するかどうかを指定します。 • [リモート Syslog 機能]は、リモート Syslog サーバにイベントを送信する際にプリンタが使用する機能値を指定します。 • [ログ記録するイベントの重大度]では、記録するイベントの重要度を指定します。このログを有効にすると、プリンタは設定した値以下の重要度に該当する各イベントを記録します。 <ul style="list-style-type: none"> 0 は緊急 1 は警戒 2 は重要 3 はエラー 4 は警告 5 は注意 6 は情報 7 はデバッグ <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • [監査を有効化]の出荷時標準設定は[はい]です。 • [リモート Syslog を有効化]の出荷時標準設定は[いいえ]です。[監査を有効化]を[いいえ]に設定した場合、[リモート Syslog を有効化]を[はい]に設定しても記録は送信されません。 • [リモート Syslog 機能]の出荷時標準設定は[4 - セキュリティ]です。 • [ログ記録するイベントの重大度]の出荷時標準設定は[4]です。

[日時設定]メニュー

メニュー項目	説明
日時を表示	プリンタの現在の日時設定を表示できます。日時の形式は、YYYY-MM-DD HH:MM です。 YYYY は 4 桁の年 MM は 2 桁の月 DD は 2 桁の日 HH は 2 桁の時 MM は 2 桁の分
日時設定	日時を入力できます。 メモ: 日時は YYYY-MM-DD HH:MM 形式で設定されます。
時間帯 <時間帯のリスト>	時間帯を選択できます。 メモ: 出荷時の標準設定は[GMT]です。
DST を順守 オン オフ	プリンタの[時間帯]設定に関連付けられている該当する夏時間(DST)の開始時期と終了時期をプリンタに設定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[オン]です。

メニュー項目	説明
NTPを有効化 オン オフ	ネットワーク上のデバイスの時計を同期する、ネットワークタイムプロトコルを有効化します。 メモ: 出荷時の標準設定は[オン]です。

[設定]メニュー

[一般設定]メニュー

メニュー項目	説明
表示言語 英語 フランス語 ドイツ語 イタリア語 スペイン語 デンマーク語 ノルウェー語 オランダ語 スウェーデン語 ポルトガル語 フィンランド語 ロシア語 ポーランド語 マジャール語 トルコ語 チェコ語 簡体中国語 繁体中国語 韓国語 日本語	画面に表示されるテキストの言語を設定します。 メモ: すべてのプリンタですべての言語が表示されるわけではありません。
エコモード オフ 電力 電力/用紙 用紙	電力、用紙、または専用紙の使用を最小限に抑えます メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[オフ]です。[オフ]にすると、出荷時の標準設定にリセットされます。 [電力]設定では、プリンタによる電力の使用量が最小限に抑えられます。パフォーマンスが低下することがありますが、印刷品質には影響しません。 [用紙]に設定すると、両面印刷が実行され、印刷時の用紙および専用紙の使用量が最小限に抑えられます。パフォーマンスが低下することがありますが、印刷品質には影響しません。 [電力/用紙]では、電力および用紙や専用紙の使用量が最小限に抑えられます。

メニュー項目	説明
静音モード オフ オン	プリンタの動作音を抑えます メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[オフ]です。 [オン]にすると、プリンタの動作音が最小限に抑えられます。
初期セットアップの実行 はい いいえ	プリンタでセットアップウィザードを実行します メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[はい]です。 国の選択画面で[終了]を選択してセットアップウィザードを完了すると、標準設定が[いいえ]になります。
用紙サイズ 米国 メートル法	用紙サイズを、米国の一般的なサイズ(他の国でも使用されている場合があります)、またはメートルサイズに設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[米国]です。 この設定を変更すると、[グローバル設定]メニューの[単位]設定、および[用紙 サイズ/タイプ]メニューの各給紙源(トレイまたはフィーダ)の標準設定も変更されます。
警報 カートリッジアラーム オフ 1 回	プリンタがユーザの操作を要求する場合に警報を鳴らします。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> [カートリッジアラーム]の出荷時の標準設定は[オフ]です。[オフ]では警報が鳴りません。「カートリッジ残少」と表示されます。 [1 回]では、短いビープ音が 3 回鳴ります。「88 カートリッジ残少」と表示されます。
時間切れ 電力節約 1 分 ~ 240 分	プリンタがジョブの印刷後に省電力状態になるまでの待機時間を設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は 30 分です。 設定を低くすると消費電力を節約できますが、ウォームアップ時間が長くなる場合があります。 室内照明と電気回路を共有している場合や、室内照明のちらつきがある場合は、最も低い設定を選択します。 プリンタを常時使用する場合は、高い設定を選択します。これによりほとんどの場合、最も短いウォームアップ時間で印刷できるようになります。
時間切れ 画面タイムアウト 15 秒 ~ 300 秒	プリンタの表示が「 準備完了 」状態に戻るまでの待機時間(秒)を設定します。 メモ: 出荷時の標準設定は 30 秒です。
時間切れ 印刷時間切れ 無効 1 秒 ~ 255 秒	残りの印刷ジョブをキャンセルするまでに、プリンタがジョブ終了メッセージの受信を待つ時間(秒)を設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は 90 秒です。 時間切れになった場合、プリンタはプリンタ内に残っている一部印刷済みのページをすべて印刷したあと、新しい印刷ジョブが待機しているかどうかを確認します。

メニュー項目	説明
時間切れ 待ち時間切れ 無効 15 秒 ~ 65535 秒	印刷ジョブをキャンセルするまでに、プリンタが追加データを待つ時間(秒)を設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は 40 秒です。 [待ち時間切れ]は、プリンタが PostScript エミュレーションを使用している場合のみ設定できます。この設定は、PCL または PPDS エミュレーションの印刷ジョブには影響しません。
印刷リカバリー 自動継続 無効 5 秒 ~ 255 秒	指定した時間内に特定のオフライン状況が解決しない場合に、印刷を自動継続するようにプリンタを設定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[無効]です。
印刷リカバリー 紙づまり回復 オン オフ 自動	紙づまりが発生したページを再印刷するかどうかを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[自動]です。紙づまりが発生したページは、ページの保持に必要なメモリが他の印刷タスクで必要とされない場合に限り、再印刷されます。 [オン]に設定すると、紙づまりが発生したページは常に再印刷されます。 [オフ]に設定すると、紙づまりが発生したページは再印刷されません。
印刷リカバリー ページ保護 オフ オン	別の方法では印刷されない可能性があるページを正常に印刷できるように設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[オフ]です。ページ全体を印刷するためのメモリが不足している場合、[オフ]に設定するとページの一部が印刷されます。 [オン]に設定すると、プリンタはページ全体を処理するため、ページ全体が印刷されます。
出荷時標準設定 復元しない 復元する	プリンタの設定を出荷時の標準設定に戻します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[復元しない]です。[復元しない]は、ユーザ定義の設定を維持します。 [復元する]に設定すると、[ネットワーク/ポート]メニュー設定を除くすべてのプリンタ設定が出荷時の標準設定に戻ります。RAM に保存されているダウンロード物はすべて削除されます。フラッシュメモリに保存されているダウンロード物には影響しません。
カスタムホームメッセージ オフ IP アドレス ホスト名 担当者名 場所 ゼロ構成名 ユーザ定義テキスト 1	「準備完了」の横に表示される、事前に設定されたメッセージまたはユーザ定義メッセージを設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[オフ]です。 IP アドレスおよびホスト名は、事前に設定されたメッセージです。 担当者名、場所、ゼロ構成名、およびユーザ定義テキスト 1 は、システムサポート担当者がユーザ定義できます。

[セットアップ]メニュー

メニュー項目	説明
プリンタ言語 PCL エミュレーション PS エミュレーション	標準のプリンタ言語を設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • PCL エミュレーションでは、印刷ジョブの処理に PCL インタプリタを使用します。PostScript エミュレーションでは、印刷ジョブの処理に PS インタプリタを使用します。 • 出荷時の標準プリンタ言語は PCL です。 • あるプリンタ言語を標準設定として設定しても、ソフトウェアプログラムから別のプリンタ言語を使用する印刷ジョブを送信できます。
印刷領域 普通 用紙全体	論理的および物理的な印刷可能領域を設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • プリンタの[設定]メニューで[フチなし]が有効になっている場合、このメニューは表示されません。 • 出荷時の標準設定は[普通]です。[普通]設定で定義される印刷可能領域外にデータを印刷しようとする、イメージが境界でクリッピングされます。 • [用紙全体]設定では、イメージを[普通]設定で定義される印刷可能領域外まで拡大することができます。ただし、イメージは[普通]設定の境界でクリッピングされます。 • [用紙全体]は、PCL 5e インタプリタを使用して印刷されるページにのみ影響します。この設定は、PCL XL または PostScript インタプリタを使用して印刷されるページには影響しません。
ダウンロード先 RAM フラッシュ	ダウンロード物の保存先を設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時の標準設定は[RAM]です。 • ダウンロード物をフラッシュメモリに保存するということは、恒久的な記憶媒体に格納することです。プリンタの電源を切っても、ダウンロード物はフラッシュメモリに残ります。 • ダウンロード物の RAM への保存は一時的な保存になります。 • このメニューは、オプションのフラッシュメモリが取り付けられている場合のみに表示されます。
リソース保存 オン オフ	プリンタの使用可能なメモリ容量を超えるメモリを必要とするジョブを受信した場合の、RAM に保存されているフォントやマクロなどの一時的なダウンロード物の処理方法を指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時の標準設定は[オフ]です。[オフ]に設定すると、メモリが必要になるまでダウンロード物が保持されます。印刷ジョブを処理するためにダウンロード物は削除されます。 • [オン]に設定すると、言語変更時やプリンタリセット時にもダウンロード物が保持されます。メモリが不足すると、「38 メモリがいっぱい」と表示されます。ただし、ダウンロード物は削除されません。
全て印刷の順序 アルファベット順 新しい順 古い順	[全て印刷]が選択されているときに保持およびコンフィデンシャルジョブが印刷される順序を指定します メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時の標準設定は[アルファベット順]です。 • 印刷ジョブはプリンタの操作パネルには常にアルファベット順で表示されます。

[仕上げ]メニュー

メニュー項目	説明
両面印刷 両面 片面	すべての印刷ジョブの標準設定として、両面印刷を指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[片面]です。 ソフトウェアプログラムから両面印刷を設定するには、次の手順に従います。Windowsの場合は、[ファイル]→[印刷]をクリックし、[プロパティ]、[設定]、[オプション]、または[セットアップ]をクリックして設定を調整します。Macintoshの場合は、「ファイル」>「プリント」をクリックし、「プリント」ダイアログおよびポップアップメニューから設定を調整します。
両面印刷綴じ 長辺 短辺	両面印刷されたページの綴じ方と、表面の印刷に対する裏面の印刷方向を定義します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[長辺]です。 [長辺]では、縦長のページの左綴じおよび横長のページの上綴じを指定します。 [短辺]では、縦長のページの上綴じおよび横長のページの左綴じを指定します。
部数 1 ~ 999	各印刷ジョブの標準設定の部数を指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[1]です。
空白ページ 印刷しない 印刷	印刷ジョブに空白ページを挿入するかどうかを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[印刷しない]です。
部単位印刷 オフ(1,1,1,2,2,2) オン(1,2,1,2,1,2)	複数部を印刷する場合に、印刷ジョブのページをページ順に積み重ねます。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[オフ]です。ページは丁合されません。 [オン]設定では、印刷ジョブを順番に積み重ねます。 どちらの設定も、[部数]メニューの設定で指定した回数だけジョブ全体を印刷します。
区切り紙 なし 各部の間 各ジョブの間 各ページの間	区切り紙を挿入するかどうかを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[なし]です。 [各部の間]は、[部単位印刷]が[オン]に設定されている場合に印刷ジョブの各部の間に白紙を挿入します。[部単位印刷]が[オフ]に設定されている場合、1 ページ目の束の後、2 ページ目の束の後のように、印刷した各ページの束の間に空白ページを挿入します。 [各ジョブの間]は、印刷ジョブの間に白紙を挿入します。 [各ページの間]は、印刷ジョブの各ページの間に白紙を挿入します。この設定は、OHP フィルムに印刷する場合や、ドキュメントにメモ用の空白ページを挿入する場合に便利です。

メニュー項目	説明
区切り紙給紙源 カセット<x> 多目的フィーダ	区切り紙をセットする給紙源を指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[カセット 1 (標準カセット)]です。 メニュー設定に[多目的フィーダ]を表示するには、[用紙]メニューで、[多目的フィーダ設定]を[カセット]に設定する必要があります。
N アップ(片面に複数ページ) オフ 2 アップ 3 アップ 4 アップ 6 アップ 9 アップ 12 アップ 16 アップ	複数のページ像を 1 枚の用紙の片面に印刷するように指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[オフ]です。 選択した数字が、用紙の片面に印刷するページの数になります。
N アップ順序 横方向(左から) 横方向(右から) 縦方向(右から) 縦方向(左から)	[N アップ(片面に複数ページ)]を使用する場合に、複数ページの配置方法を指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[横方向(左から)]です。 配置方法は、ページの数およびページの向きが縦向きか横向きかによって異なります。
用紙の向き 自動 ランドスケープ ポートレート	複数ページを印刷する用紙の向きを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[自動]です。縦か横かはプリンタによって選択されます。 ランドスケープでは[長辺]を使用します。 ポートレートでは[短辺]を使用します。
N アップの枠 なし 塗り潰し	[N アップ(片面に複数ページ)]を使用する場合に、各ページの周囲に枠を印刷します。 メモ: 出荷時の標準設定は[なし]です。

[印刷品質]メニュー

メニュー項目	説明
印刷解像度 300 dpi 600 dpi 1200 dpi 1200 IQ 2400 IQ	印刷結果の解像度を指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[600 dpi]です。
トナーの濃さ 1 ~ 10	印刷結果の濃淡を調整します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[8]です。 小さい数を選択するほど、トナーを節約できます。

メニュー項目	説明
細かい線を強調 オン オフ	<p>意匠図、地図、電気回路図、フローチャートなどのファイルに適した印刷モードを有効にします。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[オフ]です。 ソフトウェアプログラムで[細かい線を強調]を設定するには、次の手順に従います。Windows の場合は、[ファイル] → [印刷]をクリックし、[プロパティ]、[設定]、[オプション]、または [セットアップ]をクリックして設定を調整します。Macintosh ユーザの場合は、「ファイル」>「プリント」をクリックし、「プリント」ダイアログおよびポップアップメニューから設定を調整します。 内蔵 Web サーバを使用して[細かい線を強調]に設定するには、ネットワークプリンタの IP アドレスをブラウザウィンドウに入力して、[印刷設定]から[印刷品質メニュー]をクリックします。
グレー補正 自動 オフ	<p>イメージに適用されるコントラスト補正を自動的に調整します。</p> <p>メモ: 出荷時の標準設定は[自動]です。</p>
ピクセルブースト オフ フォント 横方向 縦方向 両方向	<p>特定領域のピクセル数を増やして鮮明度を高めることで、写真を縦または横方向に拡大したり、フォントを見やすくしたりできます。</p> <p>メモ: 出荷時の標準設定は[オフ]です。</p>
明るさ -6 ~ 6	<p>印刷結果の明暗を調整します。印刷結果を明るくするほど、トナーを節約できます。</p> <p>メモ: 出荷時の標準設定は[0]です。</p>
コントラスト 0 ~ 5	<p>印刷オブジェクトのコントラストを調整します。</p> <p>メモ: 出荷時の標準設定は[0]です。</p>

[ユーティリティ]メニュー

メニュー項目	説明
フラッシュ初期化 はい いいえ	<p>フラッシュメモリをフォーマットします。フラッシュメモリとは、プリンタに取り付けられたオプションのフラッシュメモリのことです。</p> <p>警告！破損の恐れあり: フラッシュメモリをフォーマットしている間は、プリンタの電源を切らないでください。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> このメニュー項目を使用するには、オプションのフラッシュメモリカードがプリンタに取り付けられ、正常に動作している必要があります。フラッシュメモリカードは、絶対に読み取り/書き込み保護または書き込み保護しないでください。故障の原因となります。 [いいえ]を選択すると、フォーマットリクエストがキャンセルされます。 [はい]を選択すると、フラッシュメモリに保存されているデータがすべて削除されます。

メニュー項目	説明
フラッシュ デフラグ いいえ はい	<p>失われた領域を回収して、フラッシュメモリが新しいデータを受信できるようにします。</p> <p>警告！ 破損の恐れあり：フラッシュメモリを最適化している間は、プリンタの電源を切らないでください。</p> <p>メモ：</p> <ul style="list-style-type: none"> このメニュー項目を使用するには、オプションのフラッシュメモリカードがプリンタに取り付けられ、正常に動作している必要があります。フラッシュメモリカードは、絶対に読み取り/書き込み保護または書き込み保護しないでください。故障の原因となります。 [いいえ]を選択すると、最適化リクエストがキャンセルされます。 [はい]を選択すると、すべてのダウンロード物がプリンタのメモリに転送され、フラッシュメモリが再フォーマットされます。フォーマットが終了すると、ダウンロード物がフラッシュメモリに戻されます。
ダンプリスト 有効化	<p>印刷ジョブで発生した問題の原因を特定するために使用します。</p> <p>メモ：</p> <ul style="list-style-type: none"> [有効化]を選択すると、プリンタに送信されたすべてのデータが、16 進数と文字表現で印刷され、制御コードは実行されません。 ダンプリストモードを終了するには、プリンタの電源を切るかリセットします。
印刷比率の推定 オフ オン	<p>1 ページに使用されたブラックの着色面率の推定値を計算します。着色面率の推定値は別のページに印刷されます。</p> <p>メモ：出荷時の標準設定は[オフ]です。</p>

[XPS]メニュー

メニュー項目	説明
エラーページの印刷 オフ オン	<p>XML マークアップエラーを含め、エラーに関する情報を含むページを印刷します。</p> <p>メモ：出荷時の標準設定は「Off(オフ)」です。</p>

[PDF]メニュー

メニュー項目	説明
用紙に合わせて拡縮 はい いいえ	<p>選択した用紙サイズに合わせてページの内容を拡大/縮小します。</p> <p>メモ：出荷時の標準設定は[いいえ]です。</p>
注釈 印刷しない 印刷	<p>PDF 内の注釈を印刷します。</p> <p>メモ：出荷時の標準設定は[印刷しない]です。</p>

[PostScript]メニュー

メニュー項目	説明
PS エラーを印刷 オン オフ	PostScript エラーを含むページを印刷します。 メモ: 出荷時の標準設定は[オフ]です。
フォント優先順位 常駐 フラッシュ	フォントの検索順序を設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時の標準設定は[常駐]です。 • このメニュー項目を使用するには、オプションのフォーマット済みフラッシュメモリカードがプリンタに取り付けられ、正常に動作している必要があります。 • オプションのフラッシュメモリカードは、読み取り/書き込み保護、書き込み保護、またはパスワード保護にできません。 • [ジョブバッファサイズ]は 100% に設定しないでください。

[PCL]メニュー

メニュー項目	説明
フォントソース 常駐 ダウンロード フラッシュ すべて	使用できるフォントセットを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時の標準設定は[常駐]です。RAM にダウンロードされた出荷時の標準フォントセットを表示します。 • [ダウンロード]は、ダウンロードされたフォントがある場合のみ表示されます。RAM にダウンロードされたすべてのフォントを表示します。 • [フラッシュ]は、フォントを格納したオプションのフラッシュメモリカードが装着されている場合のみ表示されます。 • オプションのフラッシュメモリオプションは適切にフォーマットする必要があります。また、フラッシュメモリオプションは読み取り/書き込み保護、書き込み保護、パスワード保護にできません。 • [すべて]は、各オプションで使用できるすべてのフォントを表示します。
フォント名 <フォントの一覧>	一覧から設定を表示または変更できます。
シンボルセット <シンボルセットの一覧>	一覧から設定を表示または変更できます。
PCL 設定 ポイントサイズ 1.00 ~ 1008.00	スケーラブルな印刷フォントのポイントサイズを変更します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時の標準設定は[12]です。 • ポイントサイズとは、フォント文字の高さのことです。1 ポイントは約 1/72 インチです。 • ポイントサイズは 0.25 ポイント単位で増減できます。

メニュー項目	説明
PCL 設定 ピッチ 0.08 ~ 100	スケーラブルな等幅フォントのフォントピッチを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[10]です。 ピッチとは、1 インチあたりの固定スペース文字の数(cpi)のことです。 ピッチは 0.01 cpi 単位で増減できます。 スケーラブルでない等幅フォントの場合、ピッチは画面に表示されますが、変更できません。
PCL 設定 用紙の向き ポートレート ランドスケープ	ページ上のテキストおよびグラフィックスの向きを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[ポートレート]です。 [ポートレート]は、ページの短辺と平行にテキストおよびグラフィックスを印刷します。 [ランドスケープ]は、ページの長辺と平行にテキストおよびグラフィックスを印刷します。
PCL 設定 1 ページ当りの行数 1 ~ 255	各ページに印刷する行数を指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 米国の出荷時標準設定は[60]です。米国以外の出荷時標準設定は[64]です。 プリンタは、[1 ページ当りの行数]、[用紙サイズ]、[用紙の向き]の各設定に基づいて行間のスペースを設定します。[用紙サイズ]および[用紙の向き]を選択してから[1 ページ当りの行数]を設定します。
PCL 設定 A4 サイズの幅 198 mm 203 mm	A4 サイズの用紙に印刷するようにプリンタを設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[198 mm]です。 [203 mm]は、10 ピッチの文字を 80 個印刷できるページ幅を設定します。
PCL 設定 LF 後に自動 CR オン オフ	プリンタで、ラインフィード(LF)制御コマンドのあとにキャリッジリターン(CR)を自動的に実行するかどうかを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[オフ]です。
PCL 設定 CR 後に自動 LF オン オフ	プリンタで、キャリッジリターン(CR)制御コマンドのあとにラインフィード(LF)を自動的に実行するかどうかを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[オフ]です。

メニュー項目	説明
カセット番号変更 多目的フィーダ割当て オフ なし 0 ~ 199 カセット< x >割り当て オフ なし 0 ~ 199 手差し用紙割当て オフ なし 0 ~ 199 手差し封筒割り当て オフ なし 0 ~ 199	カセットとフィーダの給紙源割り当てが異なるプリンタソフトウェアまたはプログラムで動作するようにプリンタを設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • 出荷時の標準設定は[オフ]です。 • [なし]は選択できません。PCL 5 インタプリタで選択された場合のみ表示されます。 • [なし]は用紙フィーダの選択コマンドを無視します。 • 0 ~ 199 では、ユーザー定義の設定を割り当てることができます。
カセット番号変更 出荷時設定を表示 多目的フィーダの標準設定 = 8 カセット 1 の標準設定 = 1 カセット 2 の標準設定 = 4 カセット 3 の標準設定 = 5 カセット 4 の標準設定 = 20 カセット 5 の標準設定 = 21 封筒の標準設定 = 6 手差し用紙の標準設定 = 2 手差し封筒の標準設定 = 3	各カセットまたはフィーダに割り当てられている出荷時標準設定を表示します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • このプリンタは、標準の 250 枚カセットに対応しており、オプションで 250 枚または 550 枚のドロワーを 1 つだけ取付けることができます。したがって、プリンタで使用されるのは、カセット 1 およびカセット 2 の値のみです。 • 出荷時の標準設定は、給紙源がセットされていない場合でも表示されます。
カセット番号変更 標準設定に復元 はい いいえ	すべてのカセットおよびフィーダの割り当てを出荷時標準設定に戻します。

[HTML]メニュー

メニュー項目		説明
フォント名 Albertus MT Antique Olive Apple Chancery Arial MT Avant Garde Bodoni Bookman Chicago Clarendon Cooper Black Copperplate Coronet Courier Eurostile Garamond Geneva Gill Sans Goudy Helvetica Hoefler Text	Intl CG Times Intl Courier Intl Univers Joanna MT Letter Gothic Lubalin Gothic Marigold MonaLisa Recut Monaco New CenturySbk New York Optima Oxford Palatino StempelGaramond Taffy Times TimesNewRoman Univers Zapf Chancery	HTML ドキュメントの標準フォントを設定します。 メモ: フォントを指定しない HTML ドキュメントには、Times フォントが使用されます。

メニュー項目	説明
フォントサイズ 1 ~ 255 pt	HTML ドキュメントの標準フォントサイズを設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[12 pt]です。 フォントサイズは、1 ポイント単位で増加できます。
拡大縮小 1 ~ 400%	HTML ドキュメントの標準フォントを拡大/縮小します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[100%]です。 拡大/縮小率は、1% 単位で増加できます。
印刷方向 縦長 横長	HTML ドキュメントのページの印刷方向を設定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[縦長]です。
余白 8 ~ 255 mm	HTML ドキュメントのページの余白を設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[19 mm]です。 余白は、1 mm 単位で増加できます。

メニュー項目	説明
背景 印刷しない 印刷	HTMLドキュメントの背景を印刷するかどうかを指定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[印刷]です。

[イメージ]メニュー

メニュー項目	説明
自動合せ オン オフ	最適な用紙サイズ、拡大/縮小率、印刷方向を選択します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[オン]です。 [オン]に設定すると、一部のイメージの拡大/縮小率および印刷方向の設定がこのメニューの設定に変更されます。
反転 オン オフ	モノクロ 2 階調のイメージを反転します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[オフ]です。 フォントサイズは、1 ポイント単位で増加できます。 この設定は、GIF または JPEG イメージには適用されません。
拡大縮小 左上隅を固定 最も近いもの 中央を固定 高さ/幅を合せる 高さを合せる 幅を合せる	選択した用紙サイズに合わせてイメージを拡大/縮小します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 出荷時の標準設定は[最も近いもの]です。 [自動合せ]を[オン]に設定すると、[拡大縮小]は自動的に[最も近いもの]に設定されます。
印刷方向 縦長 横長 逆縦長 逆横長	イメージの印刷方向を設定します。 メモ: 出荷時の標準設定は[縦長]です。

プリンタのメッセージについて

画面に「手差しフィーダ」が表示されたら、それは多目的フィーダのことです。

状況メッセージとエラーメッセージの一覧

メニュー変更を有効化中

メッセージが消えるまで待ちます。

ビジー

メッセージが消えるまで待ちます。

ビジー...

メッセージが消えるまでお待ちください。

較正中

メッセージが消えるまで待ちます。

キャンセルは使用不能

メッセージが消えるまで待ちます。

キャンセル処理中

メッセージが消えるまでお待ちください。

カートリッジ残少

トナーカートリッジのトナーが残り少なくなっています。

以下のいずれかの手順に従います。

- トナーカートリッジを取り外してから振って、再び取り付けます。✔️を押してメッセージを消去し、印刷を続行します。
- トナーカートリッジを取り外してから、新しいカートリッジを取り付けます。✔️を押してメッセージを消去し、印刷を続行します。

カートリッジほぼ残り僅か

トナーの残量が少ないため、トナーカートリッジの残量警告が作動しています。

以下の方法をいくつか試します。

- トナーカートリッジを取り外してから振って、再び取り付けます。✔️を押してメッセージを消去し、印刷を続行します。
- トナーカートリッジを取り外してから、新しいカートリッジを取り付けます。✔️を押してメッセージを消去し、印刷を続行します。

カートリッジの寿命切れ

トナーカートリッジが空になりました。

- 1 使用済みのトナーカートリッジを取り外してから、新しいカートリッジを取り付けます。
- 2  を押してメッセージを消去します。

< src >を< x >に変更

- 用紙を変更した場合は、 [継続]が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 現在プリンタにセットされている用紙に印刷するには、 [現在の用紙を使用]が表示されるまで矢印ボタンを押してから、下矢印ボタンを押します。
- 現在の印刷ジョブをキャンセルします。
- 詳細を参照するには、[表示]を選択します。

ジョブ統計情報をクリア中

メッセージが消えるまで待ちます。

前面ドアを閉じる

プリンタの前面ドアを閉じます。

フラッシュメモリのデフラグ中 電源を切らないこと

メッセージが消えるまでお待ちください。

警告！ 破損の恐れあり：画面にこのメッセージが表示されている間は、プリンタの電源を切らないでください。

削除が完了しました

メッセージが消えるまでお待ちください。

削除に失敗しました

ファイルの削除に失敗しました。

- 1 メッセージが消えるまでお待ちください。
- 2 もう一度ファイルの削除を試みます。

保持ジョブの削除中

メッセージが消えるまでお待ちください。

メニューを無効化中

メッセージが消えるまでお待ちください。

メモ：メニューが無効になっている間は、プリンタの操作パネルからプリンタの設定を変更することはできません。

手を触れないでください、フラッシュデータを読み込み中です、電源を切らないでください

このメッセージには、完了した処理時間の割合を示す水平バーが画面上に表示されます。

メッセージが消えるまでお待ちください。このメッセージは、すべてのコードを受信して処理が完了されるまで表示されます。

警告！破損の恐れあり：プリンタが USB ケーブルでコンピュータに接続されている場合、このメッセージが表示されている間はプリンタ操作パネルに触れないでください。このメッセージが表示されている間は、プリンタの電源を切らないでください。

メニューを有効化中

メッセージが消えるまで待ちます。

バッファのクリア中

メッセージが消えるまで待ちます。

フラッシュメモリーのフォーマット中電源を切らないこと

メッセージが消えるまで待ちます。

警告！破損の恐れあり：プリンタがフラッシュメモリをフォーマットしている間は電源を切らないでください。

ダンプリスト

プリンタがダンプリストモードになっている。

ダンプリスト準備完了

プリンタが「準備完了」状態で、ダンプリストが有効になっています。ダンプリストを使用して、プリンタの問題のトラブルシューティングを行います。

無効なエンジンコード

プリンタの有効なエンジンコードをダウンロードする必要があります。

メモ：操作パネルにこのメッセージが表示されている間に、エンジンコードがダウンロードされる場合があります。

無効なネットワークコード

内蔵プリントサーバーの有効なネットワークコードをダウンロードする必要があります。内蔵プリントサーバーとは、プリンタ内部に取り付けられているハードウェアオプションです。

メモ：操作パネルにこのメッセージが表示されている間に、ネットワークコードがダウンロードされる場合があります。

手差しフィーダに下記をセット< x >

以下の方法をいくつか試します。

- 指定された用紙を多目的フィーダにセットします。
- 現在のジョブをキャンセルします。

< src >に下記< x >

以下の方法をいくつか試します。

- カセットまたはその他の給紙源に、適切なサイズとタイプの用紙をセットします。
- 現在のジョブをキャンセルします。

保守作業が必要

メンテナンス部品を交換し、必要に応じてプリンタのメンテナンスカウンタをリセットします。

消耗品の購入については、127 ページの「消耗品を注文する」を参照してください。

システム管理者によってメニューアクセスが切断されました

プリンタのメニューはシステムサポート担当者によって無効になったため、アクセスできません。メッセージが消えるまでお待ちください。

今メニューは無効です

プリンタのメニューが無効です。プリンタの操作パネルからプリンタの設定を変更することはできません。システムサポート担当者に問い合わせてください。

メモ: プリンタのメニューが無効になっている場合でも、印刷ジョブのキャンセル、コンフィデンシャルジョブの印刷、保持ジョブの印刷は可能です。

メニューを表示するには[準備完了]状態になっている必要があります

プリンタ操作パネルに「準備完了」メッセージが表示されていないため、現時点ではメニューにアクセスできません。プリンタの処理が完了するまでお待ちください。「準備完了」と表示されたら、を押します。

幅の狭い用紙が有効です

[設定]メニューの[ハードウェアの無効化]メニューで幅の狭い用紙が有効になっています。プリンタは幅の狭いメディアに関するセンサを無視します。

このメッセージを消去するには、[ハードウェアの無効化]メニューで幅の狭い用紙を無効にします。必要に応じてシステムサポート担当者に問い合わせてください。

ネットワーク/ネットワーク< x >/ネットワーク< x >、< y >

プリンタがネットワークに接続されているので、有効な通信リンクはネットワークインターフェイスです。

- 「ネットワーク」は、プリンタがシステムボードに組み込まれた標準ネットワークポートを使用していることを示しています。
- 「ネットワーク< x >」は、内蔵プリントサーバがプリンタ内部にインストールされているか、またはプリンタが外付けプリントサーバに接続されていることを示しています。
- 「ネットワーク< x >、< y >」は、有効な通信リンクがネットワークインターフェイスであることを示しています。< x >、< y >は、有効なインターフェイスが PCI コネクタ x のチャンネル y を通じてプリンタに接続されていることを示しています。x が 0 の場合、標準のネットワークインターフェイスが有効になっています。

メモ: 現在のインターフェイスはメニュー設定ページに表示されます。

メッセージが消えるまでお待ちください。

キャンセルするジョブがありません

メッセージが消えるまで待ちます。

準備中

プリンタは、データを受信または処理する準備が整っていないか、プリンタポートがオフラインです。

パラレル/パラレル< x >

プリンタはパラレルポートに接続されています。有効な通信リンクはパラレルインターフェイスです。「**パラレル**」は、プリンタがパラレルポートに接続されていることを示しています。「**パラレル< x >**」は、有効なインターフェイスが PCI コネクタ x を通じてプリンタに接続されていることを示しています。

メモ: 現在のインターフェイスはメニュー設定ページに表示されます。

メッセージが消えるまでお待ちください。

感光体ユニット寿命近し

これは感光体キットの最終警告メッセージです。感光体キットの寿命が近づいています。[カートリッジアラーム]の値をプリンタ操作パネルで変更するか、消耗品通知 Web ページ(内蔵 Web サーバ上)で[オン]に設定しない限り、印刷を続行します。

この設定を[オン]にすると、プリンタは印刷を中止します。🗲️を押して[続行]を選択します。感光体キットが完全に寿命に達するまで、プリンタは印刷を続行します。感光体キットが寿命に達したら、感光体キットを交換してください。

[PJL RDYMSG]

これは Printer Job Language(PJL)の準備完了メッセージです。「**準備完了**」または「**電力節約**」メッセージの後に表示されます。メッセージの文字列が長い場合は途中まで表示されます。

メッセージが消えるまでお待ちください。

電力節約

次の印刷ジョブが来るまで電力を節約しています。ジョブを送信するとプリンタは電力節約モードを解除します。

印刷中

メッセージが消えるまで待ちます。

フラッシュメモリーのプログラム中、電源を切らないこと

メッセージが消えるまで待ちます。

警告！破損の恐れあり:「**フラッシュメモリーのプログラム中**」が画面に表示されている間は、プリンタの電源を切らないでください。

システムコードをプログラム中、電源を切らないこと

メッセージが消えるまで待ちます。

警告！破損の恐れあり：「システムコードをプログラム中」が画面に表示されている間は、プリンタの電源を切らないでください。

レディ

プリンタは、印刷ジョブを受信する準備ができました。

リモート管理有効、電源を切らないこと

プリンタ設定を構成中です。メッセージが消えるまで待ちます。

警告！破損の恐れあり：「リモート管理有効」が画面に表示されている間は、プリンタの電源を切らないでください。

標準トレイから用紙を取除く

用紙の量が標準排紙トレイの容量に達しています。メッセージを消去して印刷を継続するには、標準排紙トレイから用紙を取り除きます。

排紙トレイから用紙を取除く

標準排紙トレイにたまった用紙を取り除きます。

カートリッジを交換

トナーカートリッジが空になりました。

- 1 使用済みのトナーカートリッジを取り外してから、新しいカートリッジを取り付けます。
- 2  を押してメッセージを消去します。

感光体キット交換

これは感光体キットの早期警告メッセージです。[カートリッジアラーム]の値をプリンタ操作パネルで変更するか、消耗品通知 Web ページ(内蔵 Web サーバ上)で[オン]に設定しない限り、印刷を続行します。

この設定を[オン]にすると、プリンタは印刷を中止します。 を押して[続行]を選択し、印刷を続行します。

「感光体ユニット寿命近し」が表示されたら、新しい感光体キットを注文してください。

プリンタのリセット中

メッセージが消えるまで待ちます。

交換せずにリセットすると印刷の品質に影響する

[交換した感光体ユニットを確認]画面で[いいえ]を選択しました。メッセージが消えるまでお待ちください。

出荷時標準設定に復元中

メッセージが消えるまでお待ちください。

出荷時の標準設定が復元されると、次のようになります。

- プリンタメモリにダウンロードされたすべてのリソースが削除される。これには、フォント、マクロ、シンボルセットが含まれます。
- [セットアップ項目]の[表示言語]と、[シリアル < x >]メニュー、[ネットワーク]メニュー、[赤外線]メニュー、[LocalTalk]メニュー、[USB]メニューのカスタム設定を除くすべての設定が出荷時の標準設定に戻ります。

定期メンテナンスが必要

標準排紙先、満杯

メッセージを消去するには、排紙トレイにたまった用紙を取り除きます。

中止

メッセージが消えるまでお待ちください。

選択内容を送信中

メッセージが消えるまでお待ちください。

パネルからのログインに規定回数以上失敗する

プリンタは以下の理由でロックアウトモードになりました。

- 正しくない PIN で規定回数以上のログインを行った。
- アクセス権のないプリンタ機能、設定、メニューにアクセスするために正しくないパスワード番号でログインした。

メモ: ログイン試行の回数には上限が指定されています。上限に達するとこのメッセージが表示され、プリンタはロックアウトモードになります。指定された時間が経過するまでは、このメッセージがプリンタ操作パネルに表示されてメニューにアクセスすることができません。この時間はシステムサポート担当者が設定します。

指定時間だけ待ち、メッセージが消えてから、以下の手順に従います。

- 正しい PIN を入力して保持ジョブにアクセスします。
- パスワード番号の入力が必要な特定のプリンタ機能、設定、メニューを利用する場合は、システムサポート担当者にパスワードを問い合わせてください。

カセット < x > が無効

指定されたカセットが[設定]メニューの[ハードウェアの無効化]メニューで無効になっています。このメッセージを消去するには、同メニューで指定されたカセットを有効にします。システムサポート担当者に問い合わせてください。

カセット < x > 不明

プリンタに指定されたカセットを挿入します。

USB/USB < x >

有効な通信リンクは USB ポートです。指定した USB ポート経由でデータを処理中です。

メッセージが消えるまでお待ちください。

待機中、イベントが多過ぎます…、電源を切らないでください

プリンタの受信した情報量が多過ぎます。このメッセージは、プリンタが受信した情報を並べ替えたり処理したりしている間に表示されます。メッセージが消えるまでお待ちください。

警告！破損の恐れあり：「待機中、イベントが多過ぎます…、電源を切らないでください」が画面に表示されている間は、プリンタの電源を切らないでください。

30.yy 無効な再充填、カートリッジを交換

サポートしていない再充填トナーカートリッジが取り付けられています。トナーカートリッジを取り外してから、新しいカートリッジを取り付けます。

31.yy 不良または無いカートリッジを交換

トナーカートリッジが無いか正常に機能していません。

以下の方法をいくつか試します。

- トナーカートリッジを取り外してから、再び取り付けます。
- トナーカートリッジを取り外してから、新しいカートリッジを取り付けます。

32.yy デバイスがサポートしていないカートリッジ品番

トナーカートリッジを取り外してから、サポートされているトナーカートリッジを取り付けます。

34 用紙が短すぎます

以下の方法をいくつか試します。

- カセットに適切な用紙をセットします。
- [続行]の横に✓が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、を押して、メッセージを消去します。そのあと、他の給紙カセットを使用してジョブを印刷します。
- カセットの長さガイドおよび幅ガイドを確認して、用紙がカセットに合っていることを確認します。
- Windows の場合、[印刷プロパティ]を確認して、印刷ジョブが適切な用紙のサイズとタイプを要求していることを確認します。
Machintosh の場合、「プリント」ダイアログ設定を確認して、印刷ジョブが適切な用紙のサイズとタイプを要求していることを確認します。
- 用紙のサイズが正しく設定されていることを確認します。たとえば、[多目的フィーダサイズ]が[ユニバーサル]に設定されている場合、印刷するデータに対して用紙のサイズが十分であることを確認してください。
- 現在の印刷ジョブをキャンセルします。

35 リソース保存機能を使うにはメモリー不足です

プリンタのメモリーが不足しているため設定を保存できません。メモリーを増設するか、を押してリソース保存機能を無効にして印刷を続行します。

37 フラッシュメモリーのデフラグにはメモリー不足です

以下の方法をいくつか試します。

- [続行]の横に✓が表示されるまで下矢印ボタンを押して、🔴を押してデフラグを中止し、印刷を続行します。
- プリンタメモリ内のフォント、マクロ、その他のデータを削除します。
- プリンタメモリを増設します。

37 丁合印刷にはメモリ不足です

以下の方法をいくつか試します。

- [続行]の横に✓が表示されるまで下矢印ボタンを押して、🔴を押して、保存済みのジョブを印刷してから、残りの印刷ジョブを丁合印刷します。
- 現在の印刷ジョブをキャンセルします。

37 メモリー不足、保持されたジョブは幾つか削除されました

現在のジョブを処理するために、保持されたジョブの一部が削除されました。[続行]の横に✓が表示されるまで下矢印ボタンを押して、🔴を押してメッセージを消去します。

38 メモリー フル

以下の方法をいくつか試します。

- [続行]の横に✓が表示されるまで下矢印ボタンを押して、🔴を押してメッセージを消去します。
- 現在の印刷ジョブをキャンセルします。
- プリンタメモリを増設します。

39 複雑なページ、印刷されない箇所があります

以下の方法をいくつか試します。

- [続行]の横に✓が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、🔴を押してメッセージを消去し、印刷を続行します。
- 現在の印刷ジョブをキャンセルします。
- プリンタメモリを増設します。

42.xy カートリッジの地域設定が不一致

プリンタの地域番号に一致するトナーカートリッジを取り付けます。x はプリンタの地域を示しています。y はカートリッジ地域の値を示しています。x および y は以下に示す値になります。

1	北米
2	EMEA(ヨーロッパ、中東、アフリカ)
3	アジア
4	中南米
9	定義されていない地域

50 PPDS フォントエラー

以下の方法をいくつか試します。

- [続行]の横に✓が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、🔴を押してメッセージを消去し、印刷を続行します。
- 要求されたフォントが見つかりません。PPDS メニューで、[最適に調整]を選択し、[オン]を選択します。類似のフォントを探し出し、該当するテキストに適用します。
- 現在の印刷ジョブをキャンセルします。

51 フラッシュメモリ不良

以下の方法をいくつか試します。

- [続行]の横に✓が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、🔴を押してメッセージを消去し、印刷を続行します。
- 現在の印刷ジョブをキャンセルします。

52 リソースのためのフラッシュメモリの空き領域が不足

以下の方法をいくつか試します。

- [続行]の横に✓が表示されるまで下矢印ボタンを押して、🔴を押してデフラグを中止し、印刷を続行します。フラッシュメモリに保存されていないダウンロード済みのフォントおよびマクロは削除されます。
- フラッシュメモリに保存されているフォント、マクロ、その他のデータを削除します。
- より容量の大きなフラッシュメモリカードにアップグレードします。

53 フラッシュメモリーが初期化されていません

以下の方法をいくつか試します。

- [続行]の横に✓が表示されるまで下矢印ボタンを押して、🔴を押してデフラグを中止し、印刷を続行します。
- フラッシュメモリをフォーマットします。エラーメッセージが表示され続ける場合、フラッシュメモリが不良の可能性があるので交換する必要があります。

54 標準ネットワークソフトウェアエラー

以下の方法をいくつか試します。

- [続行]の横に✓が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、🔴を押して印刷を続行します。
- プリンタの電源をいったん切り、再びオンにして、プリンタをリセットします。
- プリンタまたはプリントサーバのネットワークファームウェアをアップグレード(フラッシュ)します。

56 標準パラレルポート無効です

以下の方法をいくつか試します。

- プリンタがパラレルポートから受信したデータは破棄されます。🔴を押してメッセージを消去し、印刷を続行します。
- [パラレルバッファ]メニュー項目が[無効]に設定されていないことを確認します。

56 標準 USB ポートが無効です

以下の方法をいくつか試します。

- プリンタが USB ポートから受信したデータは破棄されます。🔴を押してメッセージを消去し、印刷を続行します。
- [USB バッファ]メニュー項目が[無効]に設定されていないことを確認します。

58 フラッシュオプションが多過ぎます

以下の方法をいくつか試します。

- プリンタの電源を切り、余分なフラッシュオプションを取り除きます：
 - 1 プリンタの電源を切ります。
 - 2 コンセントから電源コードを抜きます。
 - 3 不要なフラッシュメモリを取り外します。
 - 4 電源コードを正しく接地されたコンセントに接続します。
 - 5 プリンタの電源を入れます。
- 🔴を押してメッセージを消去し、印刷を続行します。

80 定期メンテナンスが必要

プリンタの定期メンテナンスを実施する必要があります。フューザおよび転写ローラーを含むメンテナンスキットを注文します。カスタマサポートに問い合わせ、メッセージを報告してください。

84 感光体ユニット寿命近し

感光体キットの寿命が近づいています。

以下の方法をいくつか試します。

- 感光体キットを交換します。
- 🔴を押してメッセージを消去し、印刷を続行します。

84 感光体キット交換

この感光体キットは寿命に達しています。新しい感光体キットを取り付けてください。

88.yy カートリッジ残少

トナーカートリッジを交換してから、🔴を押してメッセージを消去し、印刷を続けます。

88.yy カートリッジほぼ残り僅か

トナー残量が少なくなっています。トナーカートリッジを交換してから、🔴を押してメッセージを消去し、印刷を続けます。

88.yy カートリッジを交換

トナーカートリッジが空になりました。

- 1 トナーカートリッジを取り付けます。
- 2  を押してメッセージを消去します。

200.yy 紙づまり

このメッセージは用紙がつまっている場所またはつまっているページ数を示します。

- 1 紙づまり箇所にアクセスするには、以下の方法をいくつか試します。
 - カセット 1 を取り外します。
 - 前面ドアを開き、感光体キットとトナーカートリッジユニットを取り外します。
- 2 紙づまりを除去します。
- 3 感光体キットおよびトナーカートリッジを取り外した場合はそれらを取り付けます。
- 4 開いているドアまたはカセットをすべて閉じます。
- 5  を押して印刷を続行します。

201.yy 紙づまり

このメッセージは用紙がつまっている場所またはつまっているページ数を示します。

- 1 前面ドアを開き、感光体キットとトナーカートリッジユニットを取り外します。
- 2 紙づまりを除去します。
- 3 感光体キットおよびトナーカートリッジユニットを取り付けます。
- 4 前面ドアを閉じます。
- 5  を押して印刷を続行します。

202.yy 紙づまり

このメッセージは用紙がつまっている場所またはつまっているページ数を示します。

- 1 前面ドアを開きます。
- 2 背面ドアを開きます。
- 3 紙づまりを除去します。
- 4 両方のドアを閉じます。
- 5  を押して印刷を続行します。

231.yy 紙づまり

このメッセージは用紙がつまっている場所またはつまっているページ数を示します。

- 1 前面ドアを開きます。
- 2 背面ドアを開きます。

- 3 紙づまりを除去します。
- 4 両方のドアを閉じます。
- 5  を押して印刷を続行します。

233.yy 紙づまり

このメッセージは用紙がつまっている場所またはつまっているページ数を示します。

- 1 紙づまり箇所にアクセスするには、以下の方法をいくつか試します。
 - カセット 1 を取り外して、レバーを押し下げます。
 - 前面ドアを開いてから、背面ドアを開きます。
- 2 紙づまりを除去します。
- 3 開いているドアまたはカセットをすべて閉じます。
- 4  を押して印刷を続行します。

234.yy 紙づまり

このメッセージは用紙がつまっている場所またはつまっているページ数を示します。

- 1 紙づまり箇所にアクセスするには、以下の方法をいくつか試します。
 - 前面ドアを開いてから、背面ドアを開きます。
 - カセット 1 を取り外して、レバーを押し下げます。
- 2 紙づまりを除去します。
- 3 開いているドアまたはカセットをすべて閉じます。
- 4  を押して印刷を続行します。

235.yy 紙づまり

このメッセージは用紙がつまっている場所またはつまっているページ数を示します。

- 1 標準排紙トレイから紙づまりを取り除きます。
- 2 用紙のサイズがプリンタでサポートされているサイズか確認します。
- 3  を押して印刷を続行します。

24x.yy 紙づまり

このメッセージは用紙がつまっている場所またはつまっているページ数を示します。

- 1 紙づまり箇所にアクセスするには、以下の方法をいくつか試します。
 - カセット 1 を取り外します。
 - 前面ドアを開き、感光体キットとトナーカートリッジユニットを取り外します。
 - カセット 2 を取り外します。
- 2 紙づまりを除去します。
- 3 感光体キットおよびトナーカートリッジを取り外した場合はそれらを取り付けます。

- 4 開いているドアまたはカセットをすべて閉じます。
- 5  を押して印刷を続行します。

251.yy 紙づまり

このメッセージは用紙がつまっている場所またはつまっているページ数を示します。

- 1 多目的フィーダから紙づまりを取り除きます。
- 2  を押して印刷を続行します。

900 ~ 999 サービス<メッセージ>

- 1 プリンタの電源を切ります。
- 2 コンセントから電源コードを抜きます。
- 3 すべてのケーブルのアースを確認します。
- 4 電源コードを正しくアースされたコンセントに接続します。
- 5 プリンタの電源を入れます。

サービスメッセージが再び表示される場合は、カスタマサポートに問い合わせ、このメッセージを報告してください。

1565 エミュレーションエラー、オプションを読み込む

メッセージは 30 秒後に消え、ファームウェアカードのダウンロードエミュレータが無効になります。

プリンタのメンテナンス

最高の印刷品質を維持するために、定期的に行わなければならない作業があります。

プリンタの表面を清掃する

1 プリンタの電源をオフにし、電源コードを壁のコンセントから抜いたことを確認します。

 **危険！感電の恐れあり：**プリンタの表面を清掃する場合は、感電しないように、作業を始める前に電源コードを壁のコンセントから抜き、プリンタに接続されたすべてのケーブルを抜いてください。

2 プリンタから用紙をすべて取り除きます。

3 清潔で糸くずの出ない布を水で湿らせます。

警告！破損の恐れあり：プリンタの表面を傷める可能性がありますので、家庭用洗剤は使用しないでください。

4 拭くのはプリンタの外側だけにしてください。

警告！破損の恐れあり：湿った布で内部を拭くと、プリンタが破損する可能性があります。

5 新しい印刷ジョブを開始する前に、プリンタのすべての部分が乾いていることを確認してください。

消耗品の保管

プリンタの消耗品は、清潔で涼しい場所に保管する必要があります。また、使用するまでは梱包から出さずに正しい面を上にして保管してください。

以下の環境は避けてください。

- 直射日光の当たる場所
- 気温が 35°C (95° F) 以上の場所
- 湿度が 80% 以上の場所
- 潮風の当たる場所
- 有害ガスが当たる場所
- ほこりの多い場所

消耗品を節約する

プリンタ操作パネルを使用して消耗品を節約する

トナーと用紙を節約するためにプリンタの操作パネルから変更できる設定があります。詳細については、以下の表を参照してください。

消耗品	使用するメニュー項目	メニュー項目の目的
トナー	[設定] → [印刷品質]メニュー → [トナーの濃さ]	用紙または専用紙に散布するトナーのレベルを調整します。値の範囲は 1 (最も薄い設定) ~ 10 (最も濃い設定) です。出荷時の標準設定は「8」です。
用紙または専用紙	[設定] → [仕上げ]メニュー → [N アップ]	複数のページ像を 1 枚の用紙の片面に印刷できます。N アップの値は、2 アップ、3 アップ、4 アップ、6 アップ、9 アップ、12 アップ、16 アップがあります。
	[設定] → [仕上げ]メニュー → [両面印刷]	両面印刷では、1 枚の用紙の両面に印刷します

プリンタソフトウェアを使用して消耗品を節約する

複数部印刷する場合は、確認印刷ジョブを送信して用紙または専用紙を節約できます。確認印刷ジョブでは、複数印刷ジョブの最初の 1 部を印刷し、間違いがないかどうかを確認してから残りの部数を印刷できます。間違いがある場合は、ジョブをキャンセルできます。ジョブに間違いがない場合は、残りの部数の印刷を続行できます(⇒「58 ページの「コンフィデンシャルジョブおよびその他の保持ジョブを印刷する」)。

ネットワーク上のコンピュータから消耗品の状況を確認する

メモ: コンピュータがプリンタと同じネットワークに接続されている必要があります。

- 1 お使いの Web ブラウザのアドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ: プリンタの IP アドレスがわからない場合は、ネットワーク設定ページを印刷して[TCP/IP]セクションの IP アドレスを確認します。

- 2 [デバイス状況]をクリックします。[デバイス状況]ページが表示され、消耗品残量の概要が表示されます。

消耗品を注文する

ネットワークに接続されたプリンタ

- 1 Web ブラウザにプリンタの IP アドレスを入力して、デルプリンタ構成設定 Web ツールを起動します。
- 2 www.dell.com/supplies をクリックします。

コンピュータにローカル接続されたプリンタ

1 Windows Vista™ 以降の場合は、以下の手順に従います。

a  → [プログラム]の順にクリックします。

b [Dell Printers(デルプリンタ)]をクリックします。

c [Dell 3330dn Laser Printer(デル 3330dn レーザープリンタ)]をクリックします。

Windows®XP および 2000 の場合は、以下の手順に従います。

[スタート]→ [プログラム]または[すべてのプログラム]→ [Dell Printers(デルプリンタ)]→ [Dell 3330dn Laser Printer(デル 3330dn レーザープリンタ)]の順にクリックします。

2 [デルプリンタ消耗品再注文アプリケーション]をクリックします。

[トナーカートリッジの注文]ウィンドウが表示されます。

3 一覧からお使いのプリンタモデルを選択します。

4 デルプリンタサービスタグナンバーを入力します。

メモ: サービスタグナンバーは、プリンタの前面カバーの内側に記載されています。

5 [デルのカートリッジ注文 Web サイトを表示]をクリックします。

消耗品を交換する

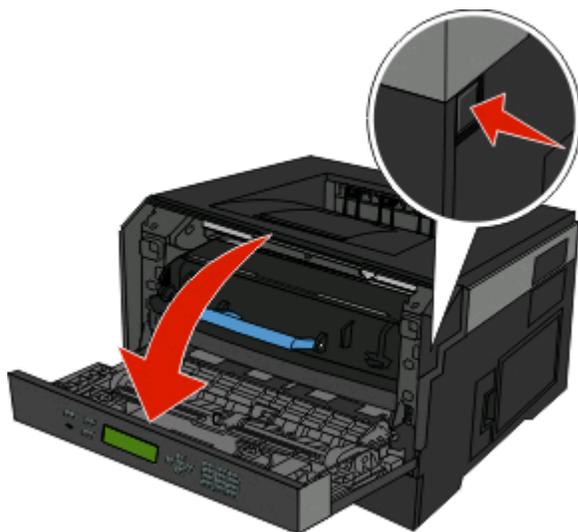
トナーカートリッジを交換する

「88 トナー残り僅か」メッセージが表示されたり、印刷の色が薄くなり始めたら、トナーカートリッジを取り出します。カートリッジを前後左右に数回よく振ってトナーの偏りをなくしてから、再度印刷カートリッジを取り付け、印刷を続けます。トナーカートリッジを振っても印刷品質が改善されない場合は、トナーカートリッジを交換します。

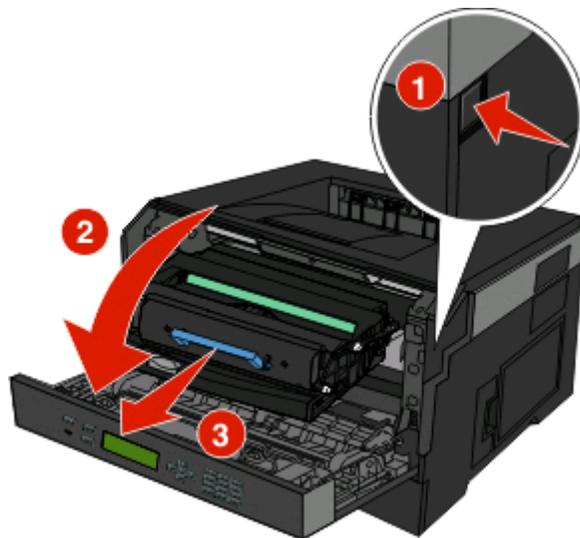
メモ: カートリッジトナーのおおよその残量は、メニュー設定ページを印刷して確認することができます。

トナーカートリッジを交換するには

1 プリンタの左側にあるボタンを押し、前面ドアを下ろして開きます。



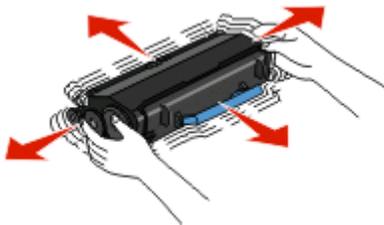
2 感光体キットの底部にあるボタンを押し、ハンドルを持ってトナーカートリッジを引き出します。



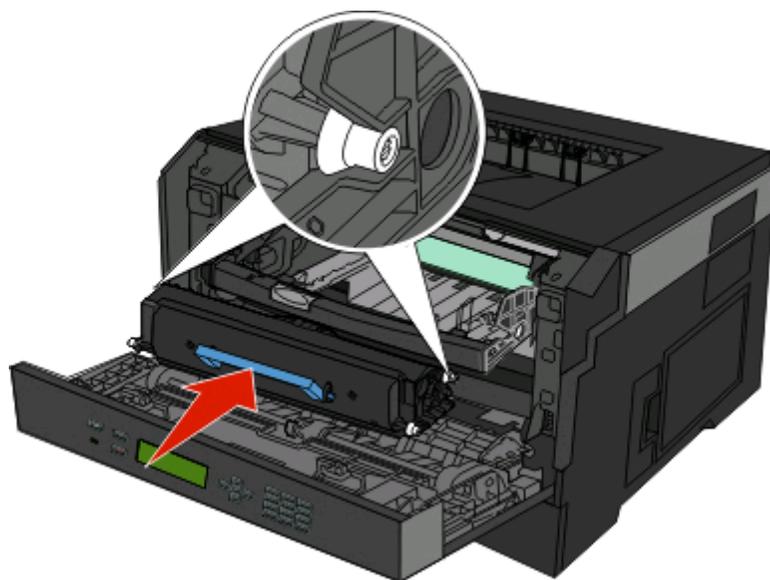
3 新しいトナーカートリッジを包装から取り出します。

警告！破損の恐れあり：トナーカートリッジの交換の際には、感光体キットを長時間直接光にさらさないようにしてください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になります。

4 カートリッジを前後左右に回し、トナーを行きわたらせます。



- 5 新しいトナーカートリッジのローラーを感光体キットのガイドレールの矢印に合わせ、トナーカートリッジを取り付けます。トナーカートリッジを奥まで押し込みます。カートリッジが所定の位置に収まると、カチッと音がします。



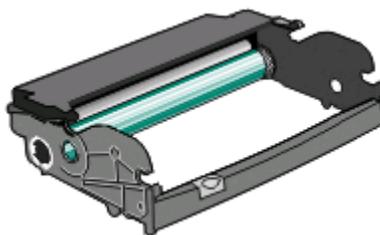
- 6 前面ドアを閉じます。

感光体キットを交換する

プリンタは、感光体キットが耐用枚数に近づくと、画面に「84 感光体キット寿命近し」または「84 感光体キットを交換」を表示して、自動的に通知します。また、感光体キットの状況は、メニュー設定ページを印刷して確認することもできます。

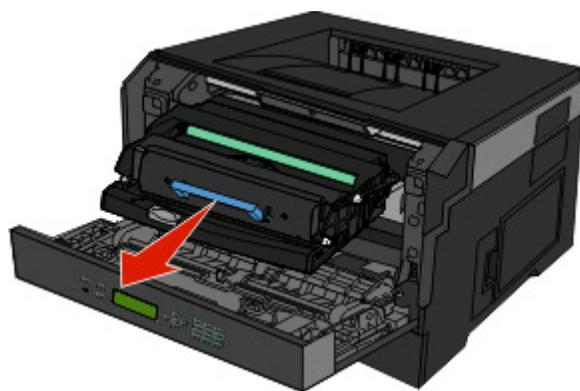
「84 感光体キット寿命近し」または「84 感光体キットを交換」と初めて表示されたら、すぐに新しい感光体をキットを注文してください。プリンタは感光体キットが耐用枚数に達してからも正常に動作しますが、印刷品質は著しく低下します。

メモ: 感光体キットは単品です。



- 1 プリンタの左側にあるボタンを押し、前面ドアを下ろして開きます。
- 2 トナーカートリッジのハンドルを持って、感光体キットとトナーカートリッジを一緒にプリンタから引き出します。

メモ: 感光体キットとトナーカートリッジで1つのユニットになっています。



ユニットを平らできれいな場所に置きます。



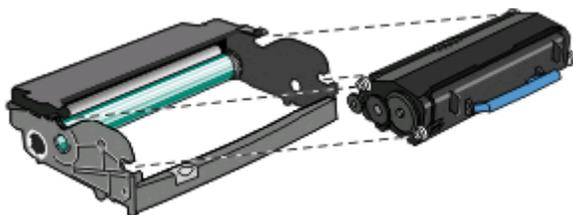
3 感光体キットの底部にあるボタンを押します。ハンドルを持ってトナーカートリッジを持ち上げて引き出します。



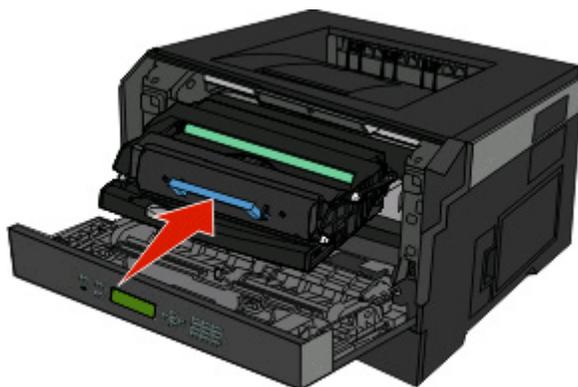
4 新しい感光体キットを梱包から取り出します。感光体ドラムに触れないように注意してください。



5 トナーカートリッジのローラーをガイドレールに合わせ、トナーカートリッジを感光体キットに挿入します。トナーカートリッジを押して、カチッと音がするまで所定の位置にしっかりと取り付けます。



6 ユニットのガイドの矢印とプリンタの矢印を合わせ、ユニットをプリンタに取り付けます。ユニットを奥まで押し込みます。



7 感光体キットを交換したら、感光体カウンタをリセットします。カウンタをリセットするには、新しい感光体キットに同梱されている説明書類を参照してください。

警告！破損の恐れあり：感光体を交換せずに感光体カウンタをリセットすると、プリンタの故障の原因になるおそれがあり、保証の対象外となります。

8 前面ドアを閉じます。

プリンタを移動する

プリンタを別の場所に移動する

 **危険！ケガの恐れあり：**プリンタを移動する前に、ケガやプリンタの破損を避けるため、以下のガイドラインに従ってください。

- プリンタの電源スイッチをオフにしてから、電源コードをコンセントから抜きます。
- プリンタを移動する前に、プリンタからすべてのコードやケーブルを取り外します。
- プリンタを持ち上げてオプションドロワーから取り外し、横に置きます。ドロワーとプリンタは同時に持ち上げないようにしてください。

メモ：プリンタの両側にある取っ手に手をかけて持ち上げ、オプションドロワーから取り外します。

プリンタとオプションを別の場所に安全に移動するために、以下の注意事項を守ってください。

- プリンタの移動には、プリンタの底がはみ出さない大きさの台車を使用してください。オプションの移動には、オプションがはみ出さない大きさの台車を使用してください。
- プリンタを傾けないでください。
- 激しく揺らしたりしないでください。

内蔵 Web サーバを使用する

プリンタがネットワークに接続されている場合、内蔵 Web サーバでは次のようなさまざまな機能を使用できます。

- プリンタ操作パネルのバーチャル画面の表示
- プリンタ消耗品の状態の確認
- プリンタ設定の構成
- ネットワークの構成設定
- レポートの表示

内蔵 Web サーバにアクセスするには、プリンタの IP アドレスを Web ブラウザのアドレスフィールドに入力します。

メモ: お使いのプリンタの IP アドレスがわからない場合は、ネットワーク設定ページを印刷し、TCP/IP のセクションに記載されている IP アドレスを確認してください。

仮想ディスプレイを確認する

内蔵 Web サーバが開いている場合、画面の上部左隅に仮想ディスプレイが表示されます。仮想ディスプレイは、プリンタのコントロールパネルで動作する実際のディスプレイと同じように動作し、プリンタのメッセージを表示します。

内蔵 Web ブラウザにアクセスするには、お使いの Web ブラウザのアドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ: プリンタの IP アドレスがわからない場合は、ネットワーク設定ページを印刷して[TCP/IP]セクションの IP アドレスを確認します。

仮想ディスプレイは画面の上部左隅に表示されます。

デバイス状況をチェックする

内蔵 Web サーバを使用して、用紙カセットの設定、印刷カートリッジのトナーのレベル、メンテナンスキットの寿命の割合、特定のプリンタ部品の容量を表示できます。デバイス状況を表示するには:

- 1 お使いの Web ブラウザのアドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ: プリンタの IP アドレスがわからない場合は、ネットワーク設定ページを印刷して[TCP/IP]セクションの IP アドレスを確認します。

- 2 [デバイス状況]をクリックします。

レポートの表示

内蔵 Web サーバから一部のレポートを表示できます。これらのレポートは、プリンタ、ネットワーク、消耗品の状態を確認するのに役立ちます。

ネットワークプリンタからレポートを表示するには：

- 1 お使いの Web ブラウザのアドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ： プリンタの IP アドレスがわからない場合は、ネットワーク設定ページを印刷して[TCP/IP]セクションの IP アドレスを確認します。

- 2 [レポート]をクリックし、表示するレポートの種類をクリックします。

消耗品通知を設定する

消耗品の残量が少なくなったり、なくなったりした場合に通知する方法を決定できます。

内蔵 Web サーバを使用して消耗品通知を設定するには次のようにします。

- 1 お使いの Web ブラウザのアドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ： プリンタの IP アドレスがわからない場合は、ネットワーク設定ページを印刷して[TCP/IP]セクションの IP アドレスを確認します。

- 2 [設定]をクリックします。
- 3 [印刷設定]をクリックします。
- 4 [消耗品通知]をクリックします。
- 5 各消耗品のドロップダウンボックスから、通知のオプションを選択します。各オプションの説明が表示されます。
- 6 選択を保存するには[送信]をクリックします。

コンフィデンシャル印刷の設定を変更する

内蔵 Web サーバを使用して、コンフィデンシャル印刷の設定を変更できます。暗証番号の最大入力試行回数を設定できます。ユーザが指定回数を超えて暗証番号の入力を試行した場合は、そのユーザのすべてのジョブが削除されます。

コンフィデンシャル印刷ジョブの有効期限を設定できます。ユーザが指定の期間内にジョブを印刷しなかった場合は、そのユーザのすべてのジョブが削除されます。

メモ： この機能は、ネットワークプリンタでのみ使用できます。

コンフィデンシャル印刷の設定を変更するには、以下の手順に従います。

- 1 Web ブラウザのアドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ： お使いのプリンタの IP アドレスがわからない場合は、ネットワーク設定ページを印刷し、TCP/IP のセクションに記載されている IP アドレスを確認してください。

- 2 [設定]をクリックします。
- 3 [その他の設定]で、[セキュリティ]をクリックします。
- 4 [コンフィデンシャル印刷設定]をクリックします。

電力節約を調整する

設定可能な範囲は 1 ～ 240 分です。出荷時の標準設定は[30 分]です。

プリンタが節電モードに入るまでの分数を増減するには、以下のいずれかを行います。

内蔵 Web サーバを使用する

1 お使いの Web ブラウザのアドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ: プリンタの IP アドレスがわからない場合は、ネットワーク設定ページを印刷して[TCP/IP]セクションの IP アドレスを確認します。

2 [設定]をクリックし、[一般設定]をクリックします。

3 [時間切れ]をクリックします。

4 [電力節約]ボックスで、プリンタが節電モードに入るまでの時間を増やす、または減らします。

5 [送信]をクリックします。

プリンタ操作パネルの使用

1 プリンタの電源が入った状態で、「準備完了」と表示されていることを確認します。

2 を押します。

3  [設定]が表示されるまで矢印ボタンを押してから、を押します。

4  [一般設定]が表示されるまで矢印ボタンを押してから、を押します。

5  [時間切れ]が表示されるまで矢印ボタンを押してから、を押します。

6  [電力節約]が表示されるまで矢印ボタンを押してから、を押します。

7 矢印ボタンを押して、プリンタが節電モードになるまでの時間を増やす、または減らしてから、を押します。

E メール警告を設定する

消耗品の残量が少なくなってきたり、用紙の変更、追加、詰りの解消が必要な場合、プリンタから E メールを送信することができます。

E メール警告を設定するには次の手順を実行します。

1 お使いの Web ブラウザのアドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ: プリンタの IP アドレスがわからない場合は、ネットワーク設定ページを印刷して[TCP/IP]セクションの IP アドレスを確認します。

2 [設定]をクリックします。

3 [その他の設定]で[E メール警告セットアップ]をクリックします。

4 通知する項目を選択し、E メールアドレスを入力します。

5 [送信]をクリックします。

メモ: E メールサーバを設定するには、システムサポート担当者にお問い合わせください。

出荷時標準設定を復元する

参照のために現在のメニュー設定のリストを保持したい場合は、出荷時標準設定を復元する前にメニュー設定ページを印刷しておきます(⇒「30 ページの「メニュー設定ページを印刷する」」)。

警告！破損の恐れあり： [復元する] に設定するとプリンタのほとんどの設定が元の出荷時標準設定に戻ります。表示言語、カスタムサイズおよびメッセージ、[ネットワーク/ポート]メニュー設定は変更されません。RAM に保存されているダウンロード物はすべて削除されます。フラッシュメモリに保存されているダウンロード物には影響しません。

- 1 プリンタ操作パネルで  を押します。
- 2 [設定] の横に  が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 3 [一般設定] の横に  が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 4 [出荷時標準設定] の横に  が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 5 [復元する] 横に  が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。
「選択内容を送信中」が短く表示され、次に、「出荷時標準設定に復元中」が表示されてから、プリンタは「準備完了」に戻ります。

トラブルシューティング

プリンタで発生する基本的な問題を解決する

プリンタで基本的な問題が発生した場合、またはプリンタが応答しない場合は、以下を確認します。

- 電源コードをプリンタおよび正しくアースしたコンセントに接続している。
- コンセントをスイッチやブレーカーなどでオフにしていない。
- プリンタを、サージ保護器、UPS、または延長コードに接続していない。
- コンセントに接続した別の電気装置が稼働している。
- プリンタの電源が入っている。プリンタの電源スイッチを確認します。
- プリンタケーブルをプリンタおよびホストコンピュータ、プリントサーバ、オプション、またはその他のネットワークデバイスにしっかりと接続している。
- オプションがすべて適切に取り付けられている。
- プリンタドライバが正しく設定されている。

これらの可能性をすべて確認したら、プリンタの電源を切り、約 10 秒待ってから、再びプリンタの電源を入れます。多くの場合、これで問題が解決します。

プリンタ操作パネルの画面に何も表示されないか、ひし形の記号のみが表示される

プリンタの自己診断が失敗した。プリンタの電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。

[自己診断を実行中]と[準備完了]が表示されない場合は、プリンタの電源を切ってカスタマサポートに問い合わせてください。

印刷の問題を解決する

ジョブが印刷できない

ここでは解決方法を示しています。以下の方法をいくつか試します。

プリンタの印刷準備が完了していることを確認する

印刷するジョブを送信する前に、「Ready(準備完了)」または「Power Saver(電力節約)」が画面に表示されていることを確認します。

標準排紙トレイが満杯かどうかを確認する

標準排紙トレイにたまった用紙を取り除きます。

給紙カセットが空かどうかを確認する

カセットに用紙をセットします。

正しいプリンタソフトウェアがインストールされていることを確認する

対応するプリンタソフトウェアを使用していることを確認します。

内蔵プリントサーバーが正しくインストールされ、動作していることを確認する

- 内蔵プリントサーバーが正しくインストールされ、プリンタがネットワークに接続されていることを確認します。
- ネットワーク設定ページを印刷し、ステータスが「**Connected (接続)**」となっていることを確認します。ステータスが「**Not Connected (未接続)**」となっている場合は、ネットワークケーブルを確認してから、再度ネットワーク設定ページを印刷します。ネットワークが正常に動作していることをシステムサポート担当者に問い合わせてください。
- プリンタソフトウェアは、デルのホームページ(www.dell.com)からも入手できます。

推奨する USB ケーブルまたは ETHERNET ケーブルを使用していることを確認する

詳細については、デルのホームページ(www.Dell.com)を参照してください。

プリンタのケーブルがしっかりと接続されていることを確認する

ケーブルがプリンタとプリントサーバーにしっかりと接続されていることを確認します。

詳細については、プリンタに同梱のセットアップ説明書類を参照してください。

コンフィデンシャルジョブまたはその他の保持ジョブが印刷できない

ここでは解決方法を示しています。以下の方法をいくつか試します。

ジョブが一部しかない、ジョブがない、または空白ページを印刷している

印刷ジョブに、フォーマットエラーまたは無効なデータが含まれている可能性があります。

- 印刷ジョブを削除し、もう一度印刷します。
- PDF ドキュメントの場合は、PDF を作成しなおしてもう一度印刷します。

プリンタに十分なメモリ容量があることを確認します。

保持ジョブのリストをスクロールしてジョブをいくつか削除し、プリンタメモリの空き容量を増やします。

複数言語の PDF が印刷されない

文書に使用できないフォントが含まれている。

- 1 印刷する文書を Adobe Acrobat で開きます。
- 2 プリンタアイコンをクリックします。
[印刷]ダイアログボックスが表示されます。
- 3 [画像として印刷]を選択します。
- 4 [OK]をクリックします。

ジョブの印刷に予想以上の時間がかかる

ここでは解決方法を示しています。以下の方法をいくつか試します。

印刷ジョブを簡素化する

ジョブで使用するフォントの数とサイズ、イメージの数と複雑さ、またはページ数を減らします。

[ページ保護]設定をオフにする

- 1 プリンタ操作パネルで  を押します。
- 2 [設定]の横に  が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 3 [一般設定]の横に  が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 4 [印刷リカバリー]の横に  が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 5 [ページ保護]の横に  が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 6 [オフ]の横に  が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。

ジョブが誤ったカセットまたは用紙に印刷される

[用紙の種類]設定を確認する

[用紙の種類]設定がカセットにセットした用紙の種類と一致していることを確認します。

印刷される文字が正しくない

プリンタがダンプリストモードになっていないか確認します。画面に「16 進トレース」と表示されている場合は、ジョブを印刷する前にダンプリストモードを終了する必要があります。プリンタの電源を切ってから再び入れて、ダンプリストモードを終了します。

カセットがリンクしない

各カセットに同じサイズとタイプ of 用紙をセットする

- 1 各カセットに同じサイズとタイプ of 用紙をセットします。
- 2 各カセットにセットした用紙のサイズに合った正しい位置まで用紙ガイドを移動します。

各カセットで[用紙サイズ]と[用紙のタイプ]の設定が同じであることを確認する

- 1 メニュー設定ページを印刷し、各カセットの設定を比較します。
- 2 必要に応じて、[用紙サイズ/タイプ]メニューで設定を調整します。

メモ: 給紙源、カセットまたはフィーダのいずれもが用紙サイズを自動的に検知することはできません。プリンタ操作パネルか内蔵 Web サーバの[用紙サイズ/タイプ]メニューでサイズを設定する必要があります。

大きなジョブで丁合ができない

ここでは解決方法を示しています。以下の方法をいくつか試します。

[丁合印刷]が[オン]に設定されていることを確認する

[印刷プロパティ]またはプリンタ操作パネルの[仕上げ]メニューで、[丁合印刷]を[オン]に設定します。

メモ: ソフトウェアで[丁合印刷]を[オフ]に設定すると、[仕上げ]メニューの設定が変更されます。

印刷ジョブを簡素化する

フォントの数とサイズ、イメージの数と複雑性、ジョブのページ数を減らして、印刷ジョブを簡素化します。

プリンタのメモリが十分であることを確認する

プリンタメモリを増設します。

予期せずに印刷が中断する

以下の手順に従って[印刷時間切れ]の値を増やします。

- 1 プリンタ操作パネルで  を押します。
- 2 [設定]の横に  が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 3 [一般設定]の横に  が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 4 [時間切れ]の横に  が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 5 [印刷時間切れ]の横に  が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 6 希望の設定値が表示されるまで左または右矢印ボタンを押してから、 を押します。

印刷時に封筒の封がされる

湿度や熱のために印刷処理中に封筒の封がされる場合があります。このような場合は、プリンタの背面ドアを開けて、封筒をそこから排出されるようにしてください。

オプションの問題を解決する

オプションが正しく動作しないか、取り付け後に停止する

ここでは解決方法を示しています。以下の方法をいくつか試します。

プリンタをリセットする

プリンタの電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。

オプションがプリンタに接続されているか確認する

- 1 プリンタの電源を切ります。
- 2 プリンタの電源コードを抜きます。
- 3 オプションとプリンタ間の接続を確認します。

オプションが取り付けられていることを確認する

メニュー設定ページを印刷して、問題のオプションがインストールオプションの一覧に含まれているか確認します。オプションが一覧に含まれていない場合は、取り付け直します。

オプションが選択されていることを確認する

使用しているプログラムで、オプションを選択します。Mac OS 9 ユーザーの場合は、「セレクト」でプリンタが設定されていることを確認します。

ドローワー

以下の点を調べて、いずれかを試してみてください。

用紙が正しくセットされていることを確認する

- 1 トレイを引き出して取り外します。
- 2 紙詰まりまたは給紙不良がないか確認します。
- 3 ガイドを調整して、用紙の両端にそろえます。
- 4 トレイを取り付けます。

プリンタをリセットする

プリンタの電源をオフにし、約 10 秒間待ってから電源をオンにします。

フラッシュメモリカード

フラッシュメモリカードがプリンタのシステムボードにしっかりと取り付けられていることを確認します。

メモリカード

メモリカードがプリンタのシステムボードにしっかりと取り付けられていることを確認します。

給紙の問題を解決する

紙づまりが頻繁に発生する

ここでは解決方法を示しています。以下の方法をいくつか試します。

カセットまたはフィーダの用紙をぱらぱらめくったり、ほぐしたりしてから端を揃える



可能であれば、カセットまたはフィーダに用紙を再度セットする際に、用紙を裏返します。

用紙を確認する

カセットの用紙の量が多すぎないことを確認する

セットした用紙の高さが、カセットまたは多目的フィーダに示されている上限を超えていないことを確認します。

ガイドを確認する

セットした用紙のサイズに合った正しい位置までカセットのガイドを移動します。

開封直後のパッケージから用紙をセットする

湿度が高いため、用紙が湿気を吸収した可能性があります。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。

紙詰りを除去した後も紙詰りのメッセージが表示されている

用紙経路に紙詰りが発生しています。用紙経路全体から紙詰りを除去して、を押します。

紙づまりを除去した後で紙づまりが発生したページが再印刷されない

[設定]メニューで[紙づまり回復]が[オフ]に設定されています。[紙づまり回復]を[自動]または[オン]に設定します。

- 1 を押します。
- 2 [設定]の横に  が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 3 [一般設定]の横に  が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。
- 4 [印刷リカバリー]の横に  が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。

5 [紙づまり回復]の横に ✓ が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。

6 [オン]の横に ✓、または[自動]の横に ✓ が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。

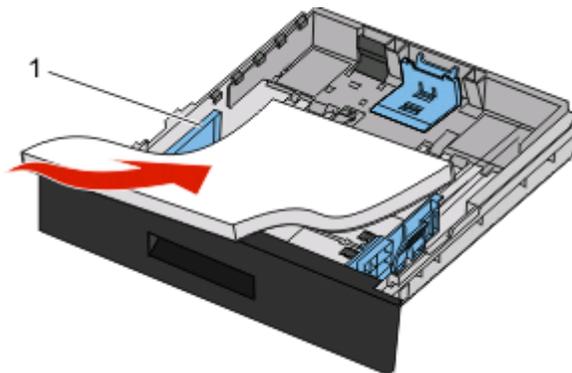
印刷品質の問題を解決する

以下のトピックには、印刷品質の問題を解決する際に役立つ情報が含まれています。これらの対処方法で問題が解決しない場合は、カスタマサポートにお問い合わせください。プリンタ部品の調整や交換が必要な場合があります。

印刷品質に関する問題を特定する

印刷品質に関する問題の原因を特定するには、印刷品質テストページを印刷します。印刷する前に標準カセットに用紙がセットされていることを確認します：

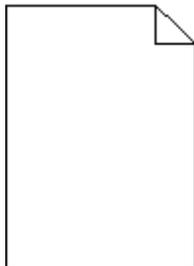
- 1 プリンタの電源を切ります。
- 2 標準カセットにレターまたは A4 サイズの用紙をセットします。図に示すように、用紙の束は、推奨される印刷面を下にしてカセットの背面の方にセットします。カセット側面の高さ制限ラインに注意してください。カセットに用紙を入れすぎないでください。



印刷品質テストページを印刷する

- 1 プリンタの電源を切ります。
- 2 プリンタ操作パネルで、 と右矢印ボタンを押しながら、プリンタの電源を入れます。
- 3 時計が表示されたらボタンを放し、[構成設定メニュー]が表示されるのを待ちます。
- 4 [印刷品質ページ]の横に ✓ が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。
印刷品質テストページが印刷されます。
- 5 [設定メニュー終了]の横に ✓ が表示されるまで下矢印ボタンを押してから、 を押します。
「プリンタのリセット中」と短く表示された後で時計が表示され、次に「準備完了」と表示されます。

空白のページが出力される



いずれかを試してみてください。

- トナーカートリッジを取り外して、取り付けなおします。
- フォトコンダクターキットを取り外して、取り付けなおします。

それでもまだ空白のページが出力される場合は、修理が必要な可能性があります。詳細については、カスタマサポートにお問い合わせください。

文字の端がぎざぎざしている



ダウンロードしたフォントを使用している場合は、そのフォントがプリンタ、ホストコンピュータ、ソフトウェアプログラムによってサポートされていることを確認します。

イメージがクリッピングされる

ここでは解決方法を示しています。以下の方法をいくつか試します。

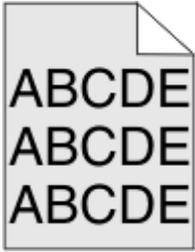
ガイドを確認する

セットした用紙のサイズに合った正しい位置まで、カセットの幅ガイドと長さガイドを移動します。

[用紙サイズ]設定を確認する

[用紙サイズ]設定がカセットにセットした用紙のタイプと一致していることを確認します。

背景が薄いグレーになる



- Windows の場合：ジョブを送信して印刷する前に、[印刷プロパティ]で[Toner Darkness(トナーの濃さ)]設定を変更します。
- Macintosh の場合：印刷オプションの「Copies & Pages(印刷部数と印刷ページ)」または「General(一般)」ポップアップメニューで「Printer Features(プリンタの機能)」を選択し、「Toner Darkness(トナーの濃さ)」ポップアップメニューで必要な設定を選択します。
- ジョブを送信して印刷する前に、プリンタ操作パネルの[印刷品質]メニューで[トナーの濃さ]設定を変更します。

ゴースト



ここでは解決方法を示しています。以下の方法をいくつか試します。

感光体キットに欠陥がある

感光体キットを交換します。

[用紙のタイプ]設定を確認する

- Windows の場合：[印刷プロパティ]で[Media Type(用紙のタイプ)]設定がカセットにセットした用紙のタイプと一致していることを確認します。
- Macintosh の場合：「プリント」ダイアログボックスで「Paper Type(用紙のタイプ)」設定がカセットにセットした用紙のタイプと一致していることを確認します。
- プリンタ操作パネルの[用紙]メニューで[用紙のタイプ]設定がカセットにセットした用紙のタイプと一致していることを確認します。

余白が正しくない



ここでは解決方法を示しています。以下の方法をいくつか試します。

ガイドを確認する

セットした用紙のサイズに合った正しい位置まで、カセットの幅ガイドと長さガイドを移動します。

[用紙サイズ]設定を確認する

[用紙サイズ]設定がカセットにセットした用紙のタイプと一致していることを確認します。

[用紙のサイズ]設定を確認する

印刷ジョブを送信する前に、[印刷プロパティ]、[プリント]ダイアログまたはソフトウェアプログラムで、用紙のサイズを適切に指定します。

用紙のカール

ここでは解決方法を示しています。以下の方法をいくつか試します。

[用紙のタイプ]設定を確認する

- Windows の場合: [印刷プロパティ]で[Media Type(用紙のタイプ)]設定がカセットにセットした用紙のタイプと一致していることを確認します。
- Macintosh の場合: 「プリント」ダイアログボックスで「Paper Type(用紙のタイプ)」設定がカセットにセットした用紙のタイプと一致していることを確認します。
- プリンタ操作パネルの[用紙]メニューで[用紙のタイプ]設定がカセットにセットした用紙のタイプと一致していることを確認します。

湿度が高いため、用紙が湿気を吸収した

- 開封直後のパッケージから用紙をセットします。
- 用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。

印刷が濃すぎる



ここでは解決方法を示しています。以下の方法をいくつか試します。

濃さ、明度、コントラストの設定を確認する

トナーの濃さ設定が濃すぎる、明るさ設定が暗すぎる、またはコントラスト設定が高すぎます。

- Windows の場合：[印刷プロパティ]でこれらの設定を変更します。
- Macintosh の場合：
 - 1 「ファイル」>「プリント」の順に選択します。
 - 2 用紙の向きを示した図の下にあるドロップダウンリストの下矢印ボタンをクリックします。
 - 3 「Printer Features(プリンタの機能)」をクリックします。
 - 4 「Toner Darkness(トナーの濃さ)」、「Brightness(明るさ)」、および「Contrast(コントラスト)」の設定を変更します。
- プリンタ操作パネルの[印刷品質]メニューでこれらの設定を変更します。

湿度が高いため、用紙が湿気を吸収した

- 開封直後のパッケージから用紙をセットします。
- 用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。

用紙を確認する

きめの粗い用紙は使用しないようにします。

[用紙のタイプ]設定を確認する

- Windows の場合：[印刷プロパティ]で[Media Type(用紙のタイプ)]設定がカセットにセットした用紙のタイプと一致していることを確認します。
- Macintosh の場合：「プリント」ダイアログボックスで「Paper Type(用紙のタイプ)」設定がカセットにセットした用紙のタイプと一致していることを確認します。
- プリンタ操作パネルの[用紙]メニューで[用紙のタイプ]設定がカセットにセットした用紙のタイプと一致していることを確認します。

トナーカートリッジに欠陥がある

トナーカートリッジを取り付けます。

印刷が薄すぎる



ここでは解決方法を示しています。以下の方法をいくつか試します。

濃さ、明度、コントラストの設定を確認する

[トナーの濃さ]設定が薄すぎる、[明るさ]設定が明るすぎる、または[コントラスト]設定が低すぎます。

- プリンタ操作パネルで、[印刷品質]メニューのこれらの設定を変更します。
- Windows の場合、[印刷プロパティ]でこれらの設定を変更します。
- Macintosh の場合、「プリント」ダイアログボックスとポップアップメニューでこれらの設定を変更します。

湿度が高いため、用紙が湿気を吸収した

- 開封直後のパッケージから用紙をセットします。
- 用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。

用紙を確認する

きめの粗い用紙は使用しないようにします。

用紙のタイプ設定を確認する

用紙のタイプ設定がカセットにセットした用紙のタイプと一致していることを確認する

- 1 プリンタ操作パネルで、[用紙]メニューの[用紙のタイプ]設定を確認します。
- 2 ジョブを送信して印刷する前に、正しいタイプ設定を指定してください。
 - Windows の場合、[印刷プロパティ]でタイプを指定します。
 - Macintosh の場合、「プリント」ダイアログボックスでタイプを指定します。

トナー残量が少ない

「88 カートリッジ残り僅か」と表示された場合は、新しい印刷カートリッジを注文してください。

印刷カートリッジに欠陥がある

印刷カートリッジを交換します。

印刷が傾く

用紙ガイドを確認する

セットした用紙の大きさに合った正しい位置までカセットのガイドを移動します。

用紙を確認する

プリンタの仕様に合った用紙を使用していることを確認します。

ページ上にトナーフォグ(背景のシェーディング)が出る

以下の点を調べて、いずれかを試してみてください。

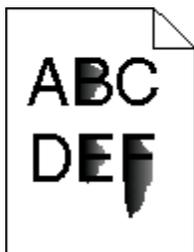
トナーカートリッジが不良品の可能性がある

トナーカートリッジを交換してください。

用紙の経路にトナーがこぼれている

カスタマサポートに連絡します。

トナーが剥がれ落ちる



以下の点を調べて、いずれかを試してみてください。

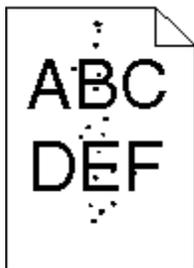
[用紙の種類]の設定を確認する

[用紙の種類]の設定とトレイにセットされている用紙が一致していることを確認します。

[用紙の表面仕上げ]の設定を確認する

[用紙の表面仕上げ]の設定とトレイにセットされている用紙が一致していることを確認します。

トナーの汚れ



以下の点を調べて、いずれかを試してみてください。

トナーカートリッジが不良品の可能性がある

トナーカートリッジを交換してください。

用紙の経路にトナーがこぼれている

カスタマサポートに連絡します。

OHP フィルムの印刷品質が悪い

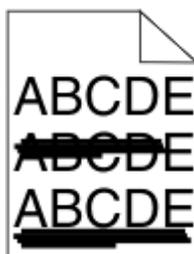
OHP フィルムを確認する

プリンタの製造元が推奨する OHP フィルムのみを使用します。

[用紙の種類]設定を確認する

OHP フィルムをセットし、[用紙の種類]が[OHP フィルム]に設定されていることを確認します。

横方向のすじ



ここでは解決方法を示しています。以下の方法をいくつか試します。

特定の給紙源から給紙すると、トナーの染みが発生する

[印刷プロパティ]、「プリント」ダイアログボックス、またはプリンタ操作パネルから、印刷ジョブに対して別のカセットまたはフィーダを選択して給紙します。

トナーカートリッジに欠陥がある

トナーカートリッジを取り付けます。

用紙経路に紙づまりがないことを確認する

感光体キットとフューザの間に用紙がつまっている可能性があります。フューザ領域周辺の用紙経路を確認します。

⚠ 危険！表面は高温です：フューザとプリンタ内部でフューザに近い部分は高温になっている場合があります。高温になったコンポーネントで火傷などを負わないように、表面が冷えてからここにある用紙を取り除いてください。

用紙を取り除きます。

用紙経路に過剰なトナーがある

カスタマサポートに問い合わせてください。

縦方向のすじ



ここでは解決方法を示しています。以下の方法をいくつか試します。

特定の給紙源から給紙すると、トナーの染みが発生する

[印刷プロパティ]、「プリント」ダイアログボックス、またはプリンタ操作パネルから、印刷ジョブに対して別のカセットまたはフィーダを選択して給紙します。

トナーカートリッジが不良

トナーカートリッジを取り付けます。

用紙経路に紙づまりがないことを確認する

感光体キットとフューザの間に用紙がつまっている可能性があります。フューザ領域周辺の用紙経路を確認します。

警告！破損の恐れあり：感光体キットの底部にある感光体には触れないでください。カートリッジを持つときは、必ずカートリッジハンドルを使用してください。

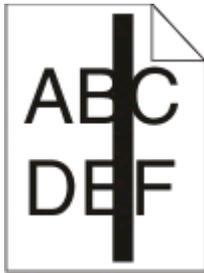
⚠ 危険！表面は高温です：フューザとプリンタ内部でフューザに近い部分は高温になっている場合があります。高温になったコンポーネントで火傷などを負わないように、表面が冷えてからここにある用紙を取り除いてください。

用紙を取り除きます。

用紙経路に過剰なトナーがある

カスタマサポートに問い合わせてください。

OHP フィルムや用紙で、黒または白のすじが入る



以下の点を調べて、いずれかを試してみてください。

塗りのパターンが正しいか確認する

塗りのパターンが正しくない場合は、アプリケーションで別の塗りのパターンを選択します。

[用紙の種類]を確認する

- 別の種類の用紙にしてみてください。
- OHP フィルムは、プリンタの製造元が推奨する製品以外使用しないでください。
- [用紙の種類]の設定とトレイまたはフィーダーにセットされている用紙が一致していることを確認します。
- [用紙の表面仕上げ]の設定が、トレイまたはフィーダーにセットされている(特殊)用紙に適切どうかを確認します。

トナーがトナーカートリッジの内部で均等に配分されていることを確認する

トナーカートリッジを取り外します。カートリッジの寿命を延ばすため、左右に振ってトナーを均等に配分します。カートリッジを元通り取り付けます。

トナーカートリッジが不良品、またはトナーが少なくなっている可能性がある

使用中のカートリッジを新しいカートリッジに交換します。

内蔵 Web サーバが開かない

ここでは解決方法を示しています。以下の方法をいくつか試します。

ネットワークの接続を確認します

コンピュータとプリンタの電源が入っていて、同じネットワークに接続されていることを確認します。

ネットワーク設定を確認します

内蔵 Web サーバにアクセスするには、ネットワーク設定により、プリンタ IP アドレスの前に `http://` ではなく `https://` と入力する必要がある場合があります。詳細は、システム管理者に問い合わせてください。

デル テクニカルサポートのご利用条件

技術者によるテクニカルサポートをお受けいただくには、トラブルシューティングに対するお客様のご協力とご自身での操作が必要となります。サポートでは、オペレーティングシステム、ソフトウェア、ハードウェア用ドライバなどの出荷時の設定への復元と、プリンタおよびデルが取り付けを行ったすべてのハードウェアの機能の適正についての確認を行います。技術者によるこのテクニカルサポートのほかに、デル カスタマーサービスでのオンラインテクニカルサポートもご利用いただけます。また、テクニカルサポートの追加オプションをご購入いただくことができます。

デルでは、プリンタおよびデルがインストールまたは取り付けを行ったすべてのソフトウェアと周辺機器に対して、限定テクニカルサポートを提供しています。Software & Peripherals (DellWare)、ReadyWare、Custom Factory Integration (CFI/DellPlus) などから購入およびインストールされたものを含む、サードパーティ製ソフトウェアおよび周辺機器に対するサポートは、それらの製造元により提供されます。

デルへのお問い合わせ

デルサポートには、support.jp.dell.com からアクセスできます。最初に表示されるページで地域を選択し、要求される詳細に記入すると、ヘルプツールおよび情報にアクセスできます。

オンラインでのデルへのお問い合わせには、次のアドレスをご利用ください。

- インターネット

www.dell.com/

www.dell.com/ap/ (アジア太平洋諸国のみ)

www.dell.com/jp/ (日本のみ)

www.euro.dell.com (ヨーロッパのみ)

www.dell.com/la/ (中南米諸国のみ)

www.dell.ca (カナダのみ)

- 匿名 FTP (ファイル転送プロトコル)

[ftp.dell.com](ftp://ftp.dell.com)

ログインユーザー名 : anonymous、パスワードにはお客様の E メールアドレスを入力してください。

- E メールサポートサービス

mobile_support@us.dell.com

support@us.dell.com

la-techsupport@dell.com (中南米諸国のみ)

apsupport@dell.com (アジア太平洋諸国のみ)

support.jp.dell.com (日本のみ)

support.euro.dell.com (ヨーロッパのみ)

- E メール見積もりサービス

apmarketing@dell.com (アジア太平洋諸国のみ)

sales_canada@dell.com (カナダのみ)

保証および返品条件

Dell Inc. (以下「デル」といいます)は、ハードウェア製品の製造のために、新品、または業界標準の慣例に従い新品と同等とみなされる部品およびコンポーネントを使用しています。お使いのプリンタに対するデルの保証については、『製品情報ガイド』を参照してください。

索引

数字

1565 エミュレーションエラー、オプションを読み込む 125
200.yy 紙づまり 123
201.yy 紙づまり 123
202.yy 紙づまり 123
231.yy 紙づまり 123
233.yy 紙づまり 124
234.yy 紙づまり 124
235.yy 紙づまり 124
24x.yy 紙づまり 124
251.yy 紙づまり 125
30.yy 無効な再充填、カートリッジを交換 119
31.yy 不良または無いカートリッジを交換 119
32.yy デバイスがサポートしていないカートリッジ品番 119
34 用紙が短すぎます 119
35 リソース保存機能を使うにはメモリー不足です 119
37 フラッシュメモリーのデフラグにはメモリー不足です 120
37 メモリー不足、保持されたジョブは幾つか削除されました 120
37 丁合印刷にはメモリー不足です 120
38 メモリー フル 120
39 複雑なページ、印刷されない箇所があります 120
42.xy カートリッジの地域設定が不一致 120
50 PPDS フォントエラー 121
51 フラッシュメモリー不良 121
52 リソースのためのフラッシュメモリーの空き領域が不足 121
53 フラッシュメモリーが初期化されていません 121
54 標準ネットワークソフトウェアエラー 121
550 枚ドロワー
インストール 25
56 標準パラレルポート無効です 121
56 標準 USB ポートが無効です 122
58 フラッシュオプションが多過ぎます 122

80 定期メンテナンスが必要 122
84 感光体キット交換 122
84 感光体ユニット寿命近し 122
88.yy カートリッジほぼ残り僅か 122
88.yy カートリッジを交換 123
88.yy カートリッジ残少 122
900 ~ 999 サービス<メッセージ> 125

アルファベット

[AppleTalk]メニュー 89
Ethernet ネットワーク
Macintosh 27
Windows 27
Ethernet ポート 26
E メール
紙づまりの通知 136
消耗品残量少の通知 136
必要な用紙の通知 136
別の用紙が必要であることの通知 136
[HTML]メニュー 110
[IPv6]メニュー 89
[NetWare]メニュー 90
OHP フィルム
セット 38
ヒント 56
[PCL]メニュー 107
[PDF]メニュー 106
[PJL RDYMSG] 116
[PostScript]メニュー 107
[SMTP 設定]メニュー 94
< src >に下記< x > 115
< src >を< x >に変更 113
[TCP/IP]メニュー 88
USB/USB < x > 118
USB ポート 26
USB メニュー 91
Web サイト
入手 11
XPS ドライバ
インストール 52
[XPS]メニュー 106

あ行

[アクティブ NIC]メニュー 85

厚紙

セット 38
ヒント 58
安全に関する情報 9
[一般設定]メニュー 99
移動、プリンタ 133
今メニューは無効です 115
[イメージ]メニュー 111
印刷 116
Macintosh から 54
Windows から 54
印刷品質テストページ 61
インストール、プリンタソフトウェア 29
ディレクトリリスト 61
ネットワーク設定ページ 30
フォントのサンプルリスト 60
メニュー設定ページ 30
印刷、コンフィデンシャルジョブおよびその他の保持ジョブ
Macintosh の場合 59
Windows の場合 59
印刷ステータスウィンドウ 53
印刷のトラブルシューティング
印刷される文字が正しくない 140
大きなジョブで丁合ができない 141
カセットがリンクしない 140
紙づまりが頻繁に発生する 143
ジョブが誤ったカセットで印刷される 140
ジョブが誤った用紙に印刷される 140
ジョブが印刷できない 138
ジョブに予想以上の時間がかかる 140
複数言語の PDF が印刷されない 139
保持ジョブが印刷できない 139
用紙のコール 147
予期せずに印刷が中断する 141
余白が正しくない 147
印刷品質テストページ
印刷 61
印刷品質のトラブルシューティング
OHP フィルムの印刷品質が悪い 151

イメージがクリッピングされる 145
印刷が薄すぎる 149
印刷が傾く 150
印刷が濃すぎる 148
印刷品質テストページ 144
空白ページが印刷される 145
ゴースト 146
縦方向のすじ 152
トナーの染み 151
トナーのはがれ 150
トナーフォグまたは背景のシェーディング 150
背景が薄いグレーになる 146
文字の端がぎざぎざしている 145
横方向のすじが発生する 151
黒いすじ 153
白いすじ 153
[印刷品質]メニュー 104
印刷品質、悪い
用紙と専用紙を選択して対処する 46
インジケータライト 14
インストール
プリンタソフトウェア 29
応答しないプリンタの確認 138
オプション
550 枚ドロワー 25
オプションのドロワー 25
ファームウェアカード 23, 20
フラッシュメモリカード 23
メモリカード 21, 20
オプションのドロワー
オプションのドロワーの取り付け 25

か行

確認印刷ジョブ 58
Macintosh での印刷 59
Windows での印刷 59
カセット
セット 33
リンク 42, 43
リンクの解除 42, 43
カセット<x>がありません 118
カセット<x>が無効 118
カセットのリンク 43
カセットのリンクの解除 43
仮想ディスプレイ
アクセス方法 134

仮想ディスプレイの確認
内蔵 Web サーバー 134
カートリッジ残少 112
カートリッジの寿命切れ 113
カートリッジほぼ残り僅か 112
カートリッジを交換 117
紙づまり
アクセス、紙づまり箇所 64
防止 63
構成
プリンタ 12
紙づまりの除去
200 65
201 66
202 67
231 69
233 70
234 70
235 71
242 71
251 72
紙づまりの防止
用紙および専用紙の切断 46
用紙および専用紙の選択 46
画面、操作パネル 14
画面のトラブルシューティング
画面に何も表示されない 138
画面にひし形の記号のみが表示される 138
感光体キット
交換 130
感光体キット交換 117
感光体ユニット寿命近し 116
機密印刷ジョブ 58
Macintosh での印刷 59
Windows での印刷 59
キャンセル処理中 112
キャンセルするジョブがありません 116
キャンセルは使用不能 112
給紙のトラブルシューティング
紙づまりが発生したページが再印刷されない 143
紙づまりを除去した後もメッセージが表示されている 143
繰り返し印刷ジョブ 58
Macintosh での印刷 59
Windows での印刷 59
[グローバル設定]メニュー 83
ケーブル
Ethernet 26
USB 26

パラレル 26
交換
感光体キット 130
トナーカートリッジ 128
交換せずにリセットすると印刷の品質に影響する 117
[コンフィデンシャル印刷]メニュー 96
コンフィデンシャルジョブ
印刷設定の変更 135

さ行

再生紙
使用 47
削除が完了しました 113
削除に失敗しました 113
[仕上げ]メニュー 103
システム管理者によってメニューアクセスが切断されました 115
システムボード
アクセス 20
システムをロード中 117
出荷時標準設定に復元中 117
出荷時標準設定の復元
プリンタ操作パネルメニュー 137
準備完了 117
準備中 116
状況監視センター 51
状況の確認、消耗品 127
情報の入手 11
消耗品
状況 127
節約 127
保管 126
消耗品通知
設定 135
消耗品通知の設定 135
消耗品の節約 127
ジョブ統計情報をクリア中 113
ジョブの印刷
キャンセル、Macintosh から 61
キャンセル、Windows 61
キャンセル、プリンタの操作パネルから 61
ジョブのキャンセル
Macintosh から 61
Windows から 61
プリンタの操作パネルから 61
推奨印刷面 46
清掃
プリンタの外観 126

セキュリティ
コンフィデンシャル印刷設定の変更 135
[セキュリティ監査ログ]メニュー
ー 97
接続、ケーブル 26
設定
TCP/IP アドレス 88
ユニバーサル用紙のサイズ 32
用紙のサイズ 32
用紙のタイプ 32
セット
カセット 33
多目的フィーダ 38
[セットアップ]メニュー 102
説明書類の入手 11
選択内容を送信中 118
前面ドアを閉じる 113
専用紙
推奨印刷面 46
選択 46
操作パネル、プリンタ 14
出荷時標準設定の復元 137
その他のメニュー 96
ソフトウェア
XPS ドライバ 52
印刷ステータスウィンドウ 53
状況監視センター 51
ドライバプロファイル 51
プリンタ警告ユーティリティ 51
プリンタ消耗品再注文アプリケーション 53

た行

待機中、イベントが多過ぎます…、
電源を切らないでください 119
[代替サイズ]メニュー 79
多目的フィーダ
セット 38
[多目的フィーダ設定]メニュー 78
ダンプリスト 114
ダンプリスト準備完了 114
中止 118
注文、消耗品
コンピュータにローカル接続された
プリンタ 128
ネットワークに接続されたプリン
タ 127
調節中 112
定期メンテナンスが必要 118

ディレクトリリスト
印刷 61
手差しフィーダに下記をセット<x
> 114
デバイス状況の確認
内蔵 Web サーバー 134
手を触れないでください、フラッシュ
データを読み込み中です、電源を切
らないでください 114
電力節約 116
調整 135
ドキュメントの印刷
Macintosh から 54
Windows から 54
トナーカートリッジ
交換 128
ドライバプロファイル 51
トラブルシューティング
応答しないプリンタの確認 138
プリンタの基本的な問題を解決す
る 138
トラブルシューティング、印刷
印刷される文字が正しくない 140
大きなジョブで丁合ができない
141
カセットがリンクしない 140
紙づまりが頻繁に発生する 143
ジョブが誤ったカセットで印刷され
る 140
ジョブが誤った用紙に印刷され
る 140
ジョブが印刷できない 138
ジョブに予想以上の時間がかか
る 140
封筒の封処理 141
複数言語の PDF が印刷されな
い 139
保持ジョブが印刷できない 139
用紙のカール 147
予期せずに印刷が中断する 141
余白が正しくない 147
トラブルシューティング、印刷品質
OHP フィルムの印刷品質が悪
い 151
イメージがクリッピングされ
る 145
印刷が薄すぎる 149
印刷が傾く 150
印刷が濃すぎる 148
印刷品質テストページ 144
空白ページが印刷される 145
黒いすじ 153

ゴースト 146
白いすじ 153
縦方向のすじ 152
トナーの染み 151
トナーのはがれ 150
トナーフォグまたは背景のシェーデ
ィング 150
背景が薄いグレーになる 146
文字の端がぎざぎざしてい
る 145
横方向のすじが発生する 151
トラブルシューティング、画面
画面に何も表示されない 138
画面にひし形の記号のみが表示さ
れる 138
トラブルシューティング、給紙
紙づまりが発生したページが再印
刷されない 143
紙づまりを除去した後もメッセージ
が表示されている 143
トラブルシューティング、プリンタオプ
ション
オプションが動作しない 141
カセット 142
フラッシュメモ리카ード 142
メモ리카ード 142

な行

内蔵 Web サーバ 134
E メール警告の設定 136
コンフィデンシャル印刷設定の変
更 135
デバイス状況の確認 134
開かない 153
[日時設定]メニュー 98
入手
Web サイト 11
情報 11
説明書類 11
ネットワーク 115
ネットワーク<x> 115
ネットワーク<x>、<y> 115
[ネットワーク<x>]メニュー 85
[ネットワークカード]メニュー 87
ネットワーク設定ページ 30

は行

排紙トレイから用紙を取除く 117
バッファのクリア中 114
パネルからのログインに規定回数以
上失敗する 118

- 幅の狭い用紙が有効です 115
- パラレル 116
- パラレル<x> 116
- パラレルポート 26
- [パラレル]メニュー 92
- 光ファイバー
 - ネットワーク設定 27
- ビジー... 112
- ビジー 112
- 表示
 - レポート 134
- [標準設定給紙源]メニュー 75
- 標準トレイから用紙を取除く 117
- [標準ネットワーク]メニュー 85
- 標準排紙トレイが満杯 118
- 標準排紙トレイの使用 17
- ヒント
 - OHP フィルム 56
 - 厚紙 58
 - 封筒 56
 - ラベル、用紙 57
 - レターヘッド紙 55
- ファームウェアカード
 - インストール 23
- 封筒
 - セット 38
 - ヒント 56
- 封筒の封処理
 - 印刷時 141
- フォントのサンプルリスト
 - 印刷 60
- フラッシュのフォーマット中 114
- フラッシュメモリカード
 - インストール 23
 - トラブルシューティング 142
- フラッシュメモリのデフラグ中 113
- フラッシュメモリーのプログラム
 - 中 116
- プリンタ
 - 移動 133
 - 基本機種 12
 - 構成 12
 - 最小クリアランス 19
 - 場所の選択 19
- プリンタオプションのトラブルシューティング
 - オプションが動作しない 141
 - カセット 142
 - フラッシュメモリカード 142
 - メモリカード 142
- プリンタ警告ユーティリティ 51
- プリンタ消耗品再注文アプリケーション 53
- プリンタ操作パネル 14
 - 出荷時標準設定の復元 137
- プリンタの外観
 - 清掃 126
- プリンタの状況
 - [PJL RDYMSG] 116
 - 準備中 116
 - ダンプリスト準備完了 114
- プリンタの設定
 - 有線ネットワーク上 (Macintosh) 27
 - 有線ネットワーク上 (Windows) 27
- プリンタの問題、基本的な問題の解決 138
- プリンタのリセット中 117
- プリンタメッセージ
 - 1565 エミュレーションエラー、オプションを読み込む 125
 - 200.yy 紙づまり 123
 - 201.yy 紙づまり 123
 - 202.yy 紙づまり 123
 - 231.yy 紙づまり 123
 - 233.yy 紙づまり 124
 - 234.yy 紙づまり 124
 - 235.yy 紙づまり 124
 - 24x.yy 紙づまり 124
 - 251.yy 紙づまり 125
 - 30.yy 無効な再充填、カートリッジを交換 119
 - 31.yy 不良または無いカートリッジを交換 119
 - 32.yy デバイスがサポートしていないカートリッジ品番 119
 - 34 用紙が短すぎます 119
 - 35 リソース保存機能を使うにはメモリ不足です 119
 - 37 フラッシュメモリーのデフラグにはメモリ不足です 120
 - 37 メモリー不足、保持されたジョブは幾つか削除されました 120
 - 37 丁合印刷にはメモリ不足です 120
 - 38 メモリー フル 120
 - 39 複雑なページ、印刷されない箇所があります 120
 - 42.xy カートリッジの地域設定が不一致 120
 - 50 PPDS フォントエラー 121
 - 51 フラッシュメモリ不良 121
- 52 リソースのためのフラッシュメモリの空き領域が不足 121
- 53 フラッシュメモリーが初期化されていません 121
- 54 標準ネットワークソフトウェアエラー 121
- 56 標準パラレルポート無効です 121
- 56 標準 USB ポートが無効です 122
- 58 フラッシュオプションが多過ぎます 122
- 80 定期メンテナンスが必要 122
- 84 感光体キット交換 122
- 84 感光体ユニット寿命近し 122
- 88.yy カートリッジほぼ残り僅か 122
- 88.yy カートリッジを交換 123
- 88.yy カートリッジ残少 122
- 900 ~ 999 サービス<メッセージ> 125
- [PJL RDYMSG] 116
 - < src >に下記<x> 115
 - < src >を<x>に変更 113
 - USB/USB <x> 118
 - 今メニューは無効です 115
 - 印刷中 116
 - カセット<x>がありません 118
 - カセット<x>が無効 118
 - カートリッジ残少 112
 - カートリッジの寿命切れ 113
 - カートリッジほぼ残り僅か 112
 - カートリッジを交換 117
 - 感光体ユニット寿命近し 116
 - 感光体キット交換 117
 - キャンセル処理中 112
 - キャンセルするジョブがありません 116
 - キャンセルは使用不能 112
 - 交換せずにリセットすると印刷の品質に影響する 117
 - 削除が完了しました 113
 - 削除に失敗しました 113
 - システム管理者によってメニューアクセスが切断されました 115
 - システムをロード中 117
 - 出荷時標準設定に復元中 117
 - 準備完了 117
 - 準備中 116
 - ジョブ統計情報をクリア中 113
 - 選択内容を送信中 118
 - 前面ドアを閉じる 113

待機中、イベントが多過ぎます…、
電源を切らないでください 119
ダンプリスト 114
ダンプリスト準備完了 114
中止 118
調節中 112
定期メンテナンスが必要 118
手差しフィーダに下記をセット< x
> 114
手を触れないでください、フラッシュ
データを読み込み中です、電源を
切らないでください 114
電力節約 116
ネットワーク 115
ネットワーク< x > 115
ネットワーク< x >、< y > 115
排紙トレイから用紙を取除く 117
バッファのクリア中 114
パネルからのログインに規定回数
以上失敗する 118
幅の狭い用紙が有効です 115
パラレル 116
パラレル< x > 116
ビジー 112
ビジー... 112
標準トレイから用紙を取除く 117
標準排紙トレイが満杯 118
フラッシュのフォーマット中 114
フラッシュメモリのデフラグ
中 113
フラッシュメモリーのプログラム
中 116
プリンタのリセット中 117
保持ジョブの削除中 113
保守作業が必要 115
無効なエンジンコード 114
無効なネットワークコード 114
メニューの変更を有効化中 112
メニューを表示するには[準備完
了]状態になっている必要があり
ます 115
メニューを無効化中 113
メニューを有効化中 114
リモート管理実行中 117
保管
消耗品 126
用紙 47
保持ジョブ 58
Macintosh での印刷 59
Windows での印刷 59
保持ジョブの削除中 113

ま行

無効なエンジンコード 114
無効なネットワークコード 114
メニュー
AppleTalk 89
HTML 110
IPv6 89
NetWare 90
PCL 107
PDF 106
PostScript 107
[SMTP 設定]メニュー 94
TCP/IP 88
USB 91
XPS 106
アクティブ NIC 85
一覧 74
一般設定 99
イメージ 111
印刷品質 104
グローバル設定 83
コンフィデンシャル印刷 96
仕上げ 103
セキュリティ監査ログ 97
セットアップ 102
その他 96
代替サイズ 79
多目的フィーダ設定 78
日時設定 98
ネットワーク< x > 85
ネットワークカード 87
パラレル 92
標準設定給紙源 75
標準ネットワーク 85
ユーザ定義紙タイプ 83
ユーティリティ 105
用紙重さ 80
用紙 サイズ/タイプ 75
用紙セット方法 82
用紙表面粗さ 79
レポート 84, 87
メニュー設定ページ
印刷 30
メニューの変更を有効化中 112
メニューを表示するには[準備完
了]状態になっている必要がありま
す 115
メニューを無効化中 113
メニューを有効化中 114
メモリカード
インストール 21

トラブルシューティング 142

や行

有線ネットワーク
Macintosh の使用 27
有線ネットワークのセットアップ
Windows の使用 27
ユーザ定義タイプ< x >
名前の変更 43
[ユーザ定義タイプ]メニュー 83
ユーザー定義の用紙のタイプ
割り当て 43
[ユーティリティ]メニュー 105
ユニバーサル用紙のサイズ 83
設定 32
用紙
重さの選択 80
サイズの設定 32
再生紙 47
使用できない 46
推奨印刷面 46
セット、多目的フィーダ 38
選択 46
タイプの設定 32
特性 45
プレプリントフォーム 46
保管 47
ユニバーサルのサイズ設定 32
ユニバーサル用紙のサイズ 83
レターヘッド紙 46
[用紙重さ(厚さ)]メニュー 80
[用紙サイズ/タイプ]メニュー 75
用紙サイズ
プリンタでサポートされている用紙
サイズ 48
用紙ストッパーの使用 17
[用紙セット方法]メニュー 82
用紙のタイプ
セットする場所 49
プリンタに対応 49
両面印刷サポート 49
用紙の容量
カセット 50
多目的フィーダ 50
[用紙表面粗さ]メニュー 79
予約印刷ジョブ 58
Macintosh での印刷 59
Windows での印刷 59
ら行
ライト、インジケータ 14

ラベル、用紙
 ヒント 57
リモート管理実行中 117
リンク、カセット 42
リンクの解除、カセット 42
レターヘッド紙
 セット 38
 ヒント 55
レポート
 表示 134
[レポート]メニュー 84, 87